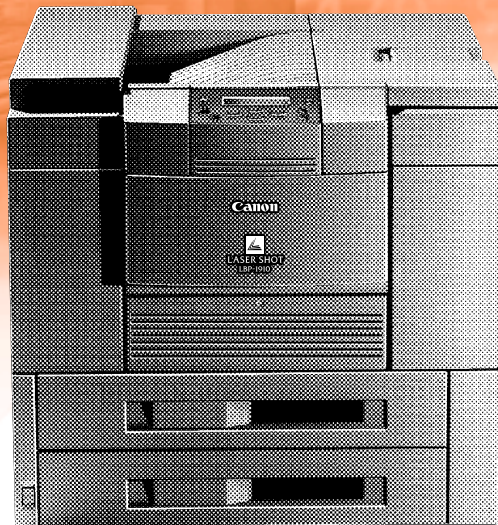
Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1910

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド（本書）

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- **プリントサーバの取り付けかたを知るには**
- **TCP/IP ネットワーク（Windows）の設定方法を知るには**

ネットワークガイド／スタート編

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

ネットワークガイド／本編

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品に付属されております取扱説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと併せてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱説明書をお読みください。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

設置ガイドの構成について

各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを掲載しています。

設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い求めの販売店などへ依頼してください。

また、本製品に７ビンソータ用ペディスタルと７ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用のペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本製品をお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

目次

第 1 章　設置する前に

第 4 章　プリンタの動作と機能を確認する

第５章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP-1910 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告
- 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意
- 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要
- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ
- 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー .... [オンライン]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system を Windows と表記しています。

LASER SHOT LBP-1910 を LBP-1910 と表記しています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Flash Buddy、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery、LASER SHOT は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、EtherTalk、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PS/55 シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Novell、NetWare® は、米国 Novell, Inc. の商標です。

UNIX は、 The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズ、PC-PR201/80A は、日本電気株式会社の商標です。

FMR シリーズは、富士通株式会社の商標です。

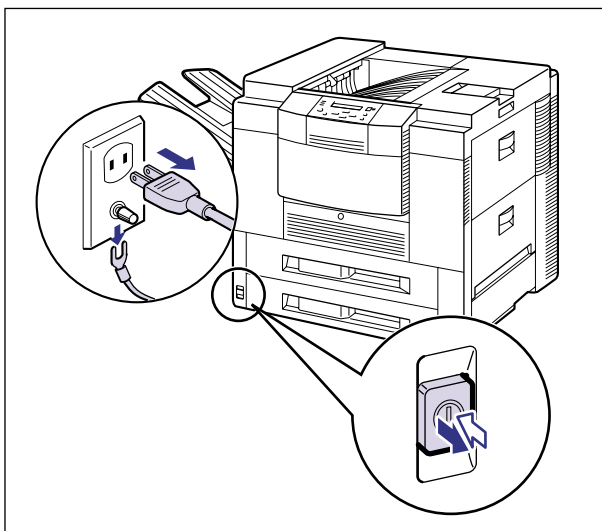
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

⚠ 安全にお使いいただくために

設置について

⚠ **警告**

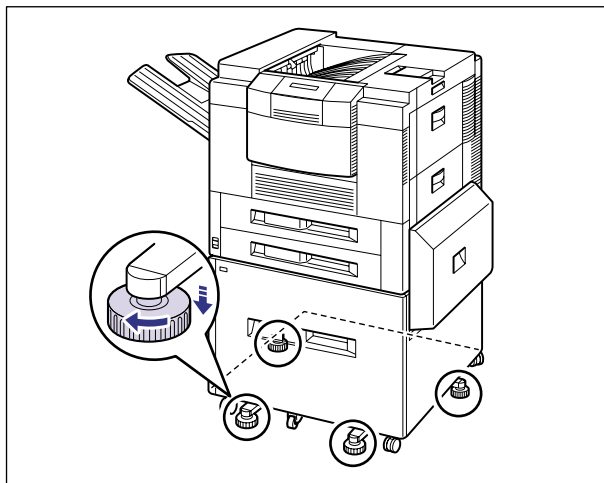
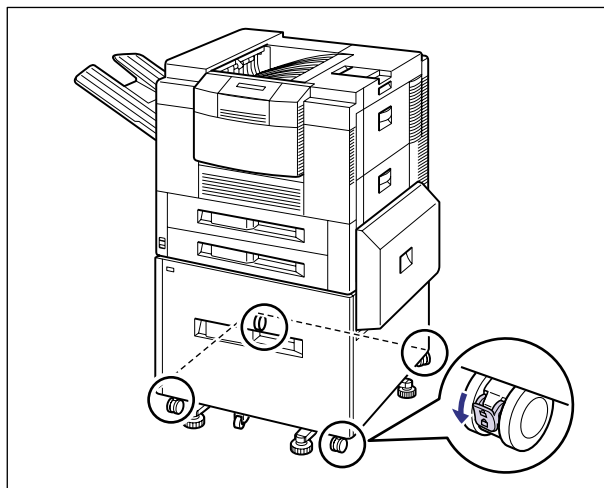
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に次のような物を置かないでください。
  機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

⚠ **注意**

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所

・高温になる場所

・火気に近い場所

- 機器を設置する場合は、機器と床面、機器と機器の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、機器の故障や感電の原因になることがあります。
- 設置したあとは、機器固定用のアジャスタは外さないでください。機器が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- キャスター付きの製品の場合は、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 機器を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。機器を落としたりして、けがの原因になることがあります。(→設置場所に運ぶ：P.2-4)

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

⚠ 注意

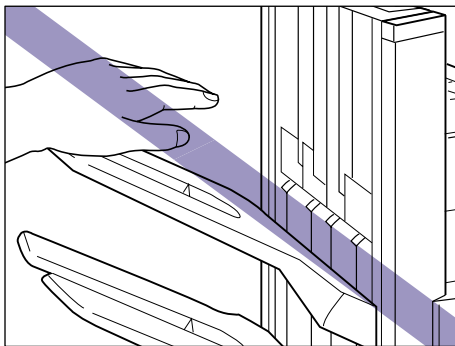
- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、機械内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが機器内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

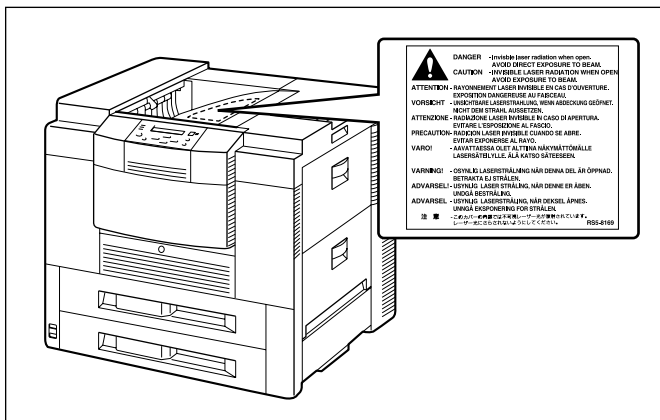
⚠ 注意

- 機器の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- プリント中は、ステイプルスタッカのビンに触れたりしないでください。ステイプルスタッカのビンは、プリント中に位置が移動するため、けがの原因になることがあります。

- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。

- ステイプルスタッカを装着しているときは、ビン内のステイプルされる場所に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

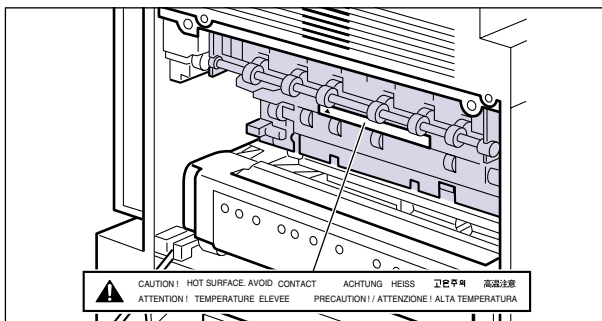
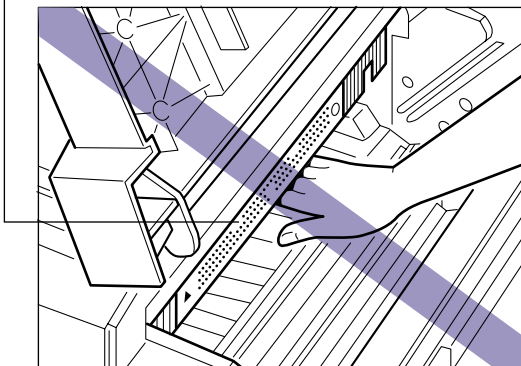
  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

保守／点検について

警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 注意

- 機器内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

設置する前に

1
CHAPTER

この章では、本プリンタに装着可能なオプション品の紹介と取り付け手順、設置場所の決めかたについて説明しています。

オプション品について

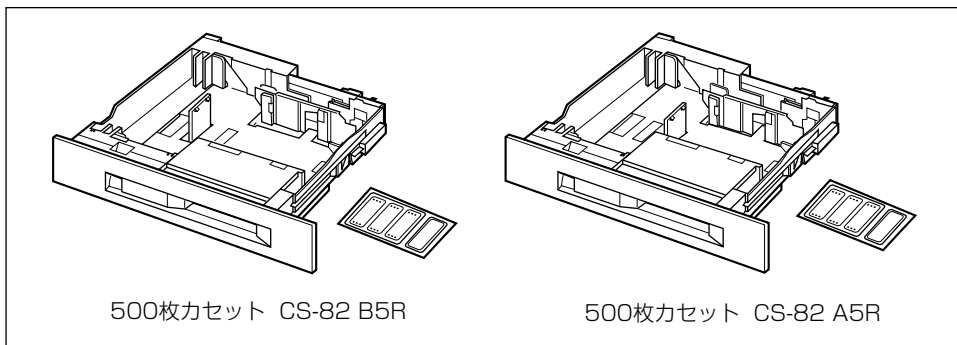
本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

給紙カセット

給紙カセットには、500 枚カセットと、500 枚ユニバーサルカセットの 2 種類があり、定形サイズの普通紙をセットできます。

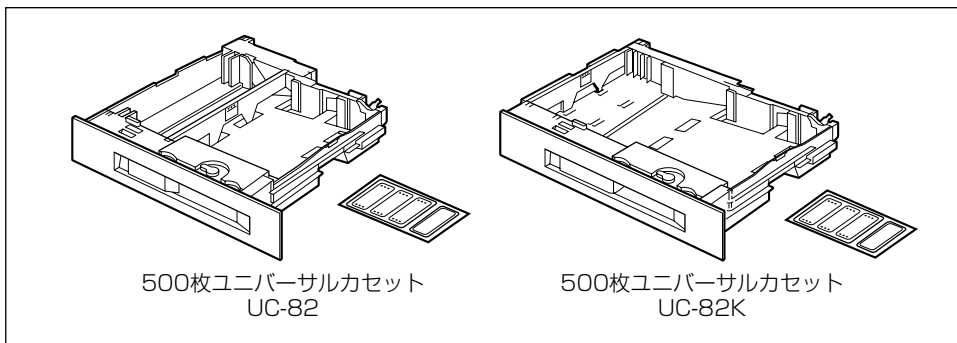
500 枚カセット

500 枚カセットは、B5 または A5 の用紙を縦送りするための給紙カセットです。用紙サイズごとに 2 種類の専用給紙カセットが用意されています。普通紙を最大で約 500 枚（64g/m^2）までセットできます。

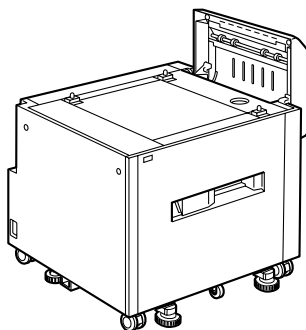
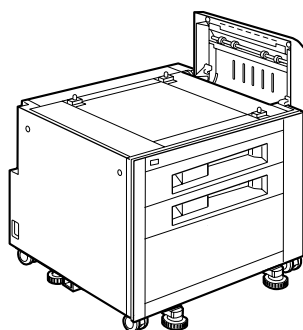
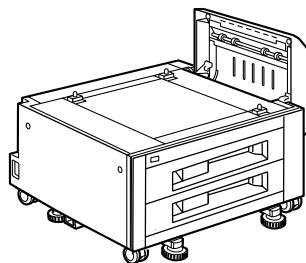
プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）と差し替えて使用します。また、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L の上段カセット（カセット 3）と差し替えて使用することもできます。

500枚カセット　CS-82 B5R　　500枚カセット　CS-82 A5R

- 500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体のカセット 1、および 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 3 用です。プリンタ本体のカセット 2 や 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 4 に取り付けることはできません。

500 枚ユニバーサルカセット

500 枚ユニバーサルカセットは、標準カセットと同等の用紙サイズ変更が可能な給紙カセットです。500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）と同じ B4、A4、リーガル、レターサイズの普通紙、500 枚ユニバーサルカセット UC-82K は、プリンタ本体の下段カセット（カセット 2）と同じ A3、B4、A4、レジャー、リーガル、レターサイズの普通紙を最大で約 500 枚（64g/m^2）までセットできます。

メモ
- 給紙カセットの取り付けかたについては、「500 枚カセット」（→ P.3-2）を参照してください。

ペーパーデッキ

ペーパーデッキは、給紙元を増設するためのユニットです。2000 枚ペーパーデッキ -N1 と 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L の 3 種類があり、いずれか 1 つを取り付けることができます。2000 枚ペーパーデッキ -N1 を取り付けると、A3、B4、A4、レジャー、リーガル、レターサイズの普通紙を最大で約 2000 枚（64g/m^2）までセットできます。2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1 または 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L を取り付けると、500 枚カセットを 2 つ追加することができます。ペーパーデッキはプリンタ本体の底面に取り付けます。ペーパーデッキには、移動用のキャスタと固定するためのアジャスタおよび転倒防止脚が付いています。

重要

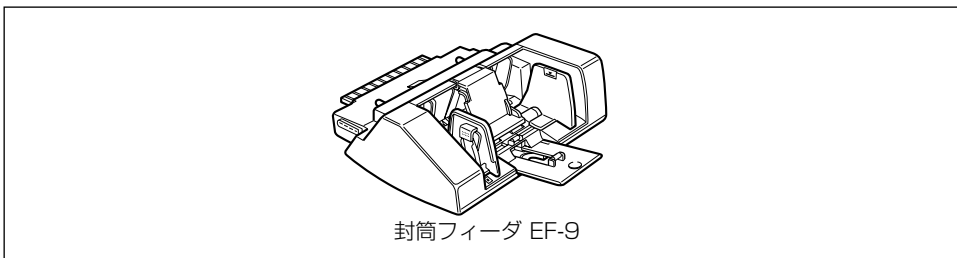
- 2×500枚ペーパーデッキ-C1Lと以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - ･7 ビンソータ
  - ･ステイプルスタッカ
- ペーパーデッキを使用するときは、オプションのオプションコントローラボードの取り付けが必要です。

メモ

- 2×500枚ペーパーデッキ-C1や2×500枚ペーパーデッキ-C1Lのカセット3（上段）を、オプションの 500 枚カセット CS-82 B5R または 500 枚カセット CS-82 A5R と差し替えて、B5 や A5 サイズの用紙をセットすることもできます。
- ペーパーデッキの取り付けかたについては、「ペーパーデッキ」（→ P.3-5）を参照してください。

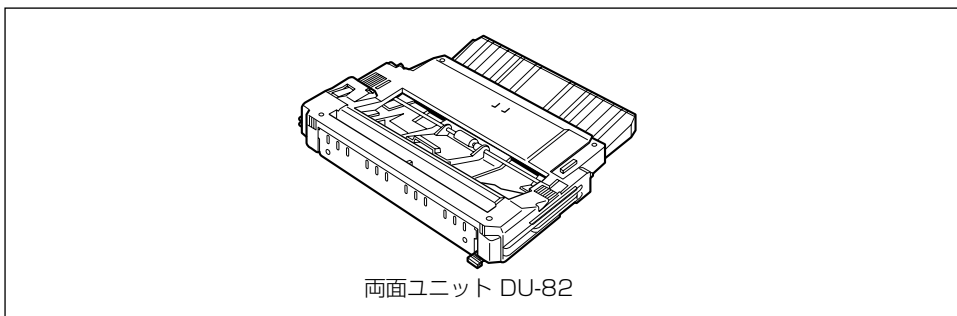
封筒フィーダ

封筒フィーダは、封筒に連続してプリントするためのフィーダです。98.4mm× 190.5mm ～ 176mm × 250mm までのサイズの封筒を最大で約 100 枚までセットできます。封筒フィーダはプリンタ本体の給紙トレイ上部に取り付けます。

封筒フィーダ EF-9

メモ
- 封筒フィーダの取り付けかたについては、「封筒フィーダ」（→ P.3-18）を参照してください。

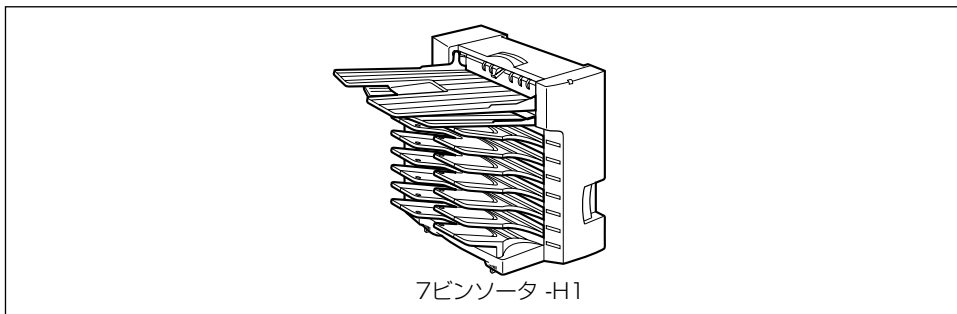
両面ユニット

両面ユニットは、両面プリントを可能にするためのユニットです。定形サイズ（A3、B4、A4、A4R、B5R、A5R、レジャー、リーガル、レター、レター R、エグゼクティブ R）の普通紙に、両面プリントすることができます。両面ユニットは、プリンタ本体の内部に取り付けます。

両面ユニット DU-82

重要
- OHP フィルム、ラベル紙、封筒、厚紙、不定形の普通紙には、両面プリントすることはできません。

メモ
- 両面ユニットの取り付けかたについては、「両面ユニット」（→ P.3-22）を参照してください。

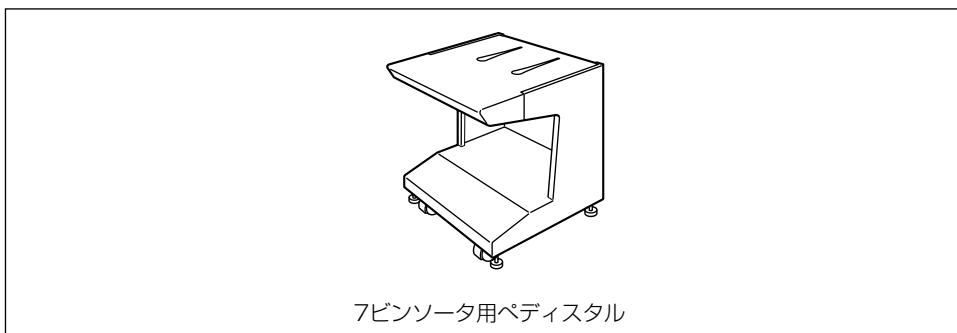
7ビンソータ

7ビンソータは、7つのビンを装備したソータユニットです。それぞれのビンには普通紙を約120枚（75g/m²）まで積載可能で、7つのビンをさまざまに使い分け、排紙することができます。7ビンソータはサブ排紙トレイを取り外し、プリンタ本体の左側面に取り付けます。

7ビンソータ -H1

重要
- 7ビンソータと以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - ･2×500枚ペーパーデッキ -C1L
  - ･本プリンタ専用ペディスタル（キャスタタイプ）
  - ･本プリンタ専用ペディスタル（ボックスタイプ）
- 7ビンソータを使用するときは、オプションのオプションコントローラボードの取り付けが必要です。

メモ
- 7ビンソータの取り付けかたについては、「7ビンソータ」（→ P.3-28）を参照してください。

7ビンソータ用ペディスタル

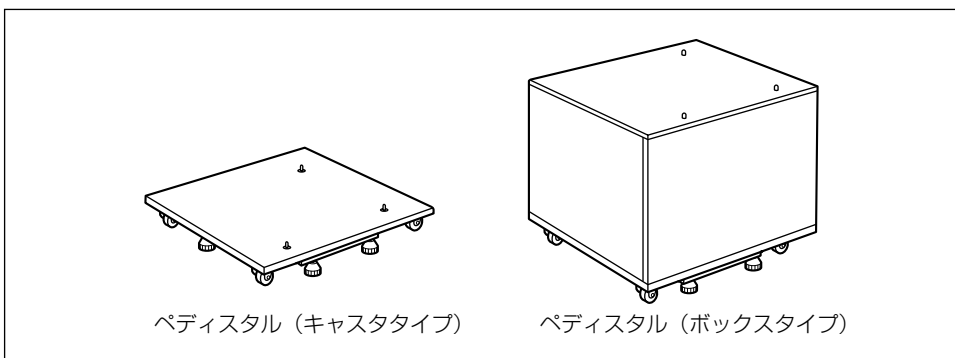
7ビンソータ用ペディスタルは、2000枚ペーパーデッキ -N1または2×500枚ペーパーデッキ -C1取り付け時に、7ビンソータを取り付けるための専用台です。ペディスタルを固定するためのアジャスタと7ビンソータをプリンタ本体から引き離すためのスライドトレイが付いています。

7ビンソータ用ペディスタル

重要
- 本プリンタに 7 ビンソータ用ペディスタルと 7 ビンソータを組み合わせて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

ペディスタル

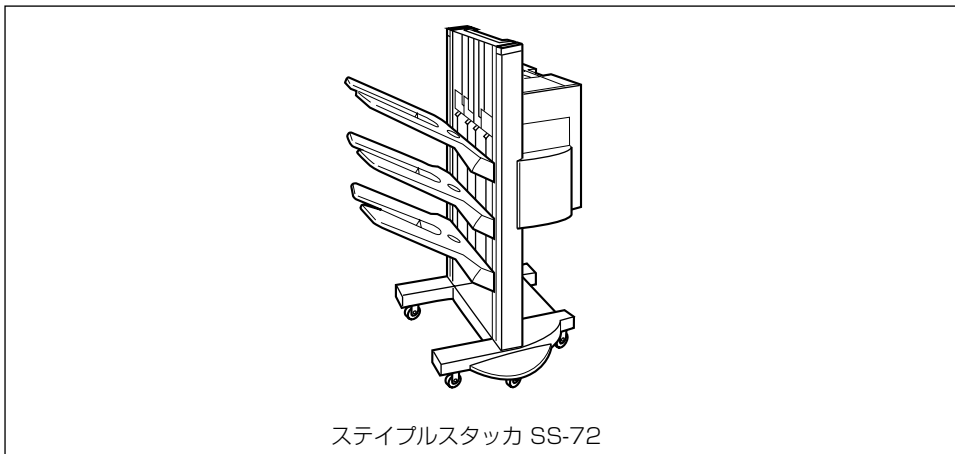
ペディスタイルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。

ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。

ペディスタル（キャスタタイプ）　ペディスタル（ボックスタイプ）

重要
- 本プリンタ専用ペディスタル（キャスタタイプ）と以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - ・7 ビンソータ
  - ・ステイプルスタッカ
- 本プリンタ専用ペディスタル（ボックスタイプ）と 7 ビンソータを組み合わせて使用することはできません。

メモ
- ペディスタルの取り付けかたについては、「ペディスタル」（→ P.3-42）を参照してください。

ステイプルスタッカ

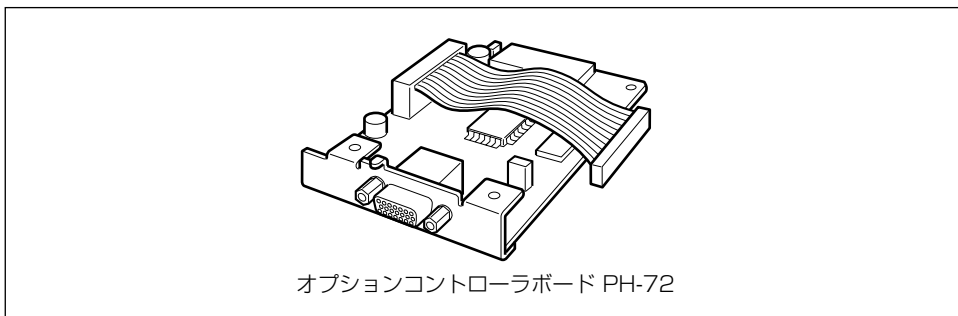
ステイプルスタッカは、3 枚の排紙ビンを備えており、連続約 2010 枚（64g/m^2）の排紙が可能で、自動ステイプル機能やジョブオフセット、フェースアップ / フェースダウン機能を利用できます。ステイプルスタッカを取り付けるときは、2000 枚ペーパーデッキ -N1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、ペディスタル（ボックスタイプ）のいずれかが必要です。

ステイプルスタッカ SS-72

重要
- ステイプルスタッカと以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - ·2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L
  - ·本プリンタ専用ペディスタル（キャスタタイプ）
- ステイプルスタッカを使用するときは、オプションのオプションコントローラボードの取り付けが必要です。

メモ
- ステイプルスタッカには交換用の針カートリッジが 1 つ同梱されています。
- ステイプルスタッカの取り付けかたについては、「ステイプルスタッカ」（→ P.3-48）を参照してください。

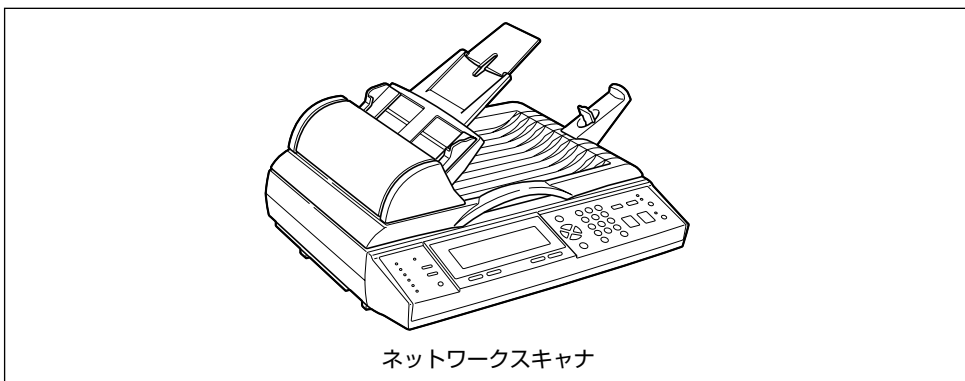
オプションコントローラボード

オプションコントローラボードは、オプションのペーパーデッキや 7 ビンソータ、ステイプルスタッカを使用するときに必要なコントローラボードです。

オプションコントローラボード PH-72

メモ
- オプションコントローラボードの取り付けかたについては、「オプションコントローラボード」(→ P.3-66)を参照してください。

ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナを本プリンタに接続すると、ネットワークスキャナでダイレクトに文書を読み込みプリントするコピー機能が使えます。また、ネットワークスキャナはインターネットを介して、文書を電子メールで送信することができる機能も備えております。ネットワークスキャナの操作方法などについては、ネットワークスキャナに付属の取扱説明書を参照してください。

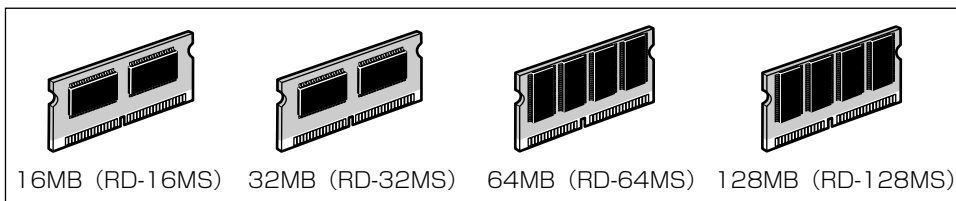
ネットワークスキャナ

拡張 RAM

拡張 RAM は、メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは 16MB のメモリを標準装備しています。拡張 RAM は 1 個増設可能で、メモリ総容量を最大 144MB まで増やすことが可能です。

16MB（RD-16MS）

32MB（RD-32MS）

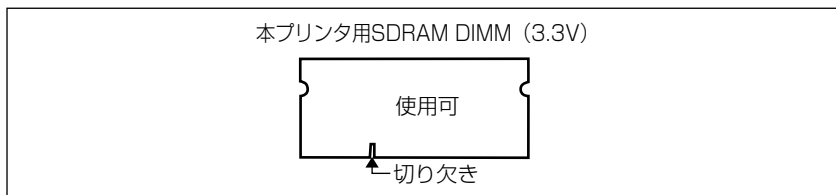
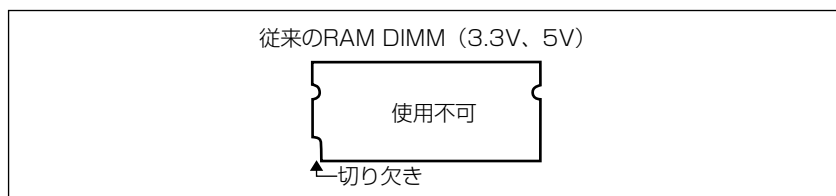
64MB（RD-64MS）

128MB（RD-128MS）

拡張 RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
16MB	32MB	B4 × 4
32MB	48MB	A3 × 4
64MB	80MB	A3 × 8
128MB	144MB	A3 × 8

表中の印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ ユウセン」、「解像度」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」、「フォームキャッシュメモリ」を「ツカワナイ」、「ハードディスク」を「ツカワナイ」に設定した場合の値です。

用紙サイズ（面積）は大きい順に、A3、レジャー、B4、角形 2 号封筒、リーガル、A4、レター、エグゼクティブ、B5、A5、洋形 4 号封筒です。

重要

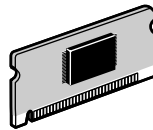
- 拡張RAM は、必ず本プリンタに対応した 3.3V 用 SDRAM DIMM をご使用ください。キヤノン製拡張 RAM（RD-16MS、RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS）のご使用をおすすめします。

- 従来の拡張 RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-8ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

メモ

- 印字保証サイズについては、「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS 機能ガイド）を参照してください。
- オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張 RAM の増設が必要です。
- 拡張 RAM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P.3-72）を参照してください。

コントロール ROM

コントロール ROM は、エミュレーションモードを追加するための ROM です。本プリンタを、お使いのパソコンに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1 枚のコントロール ROM に、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- PC-PR201/80A プリンタ拡張版
- ESC/P 準拠プリンタ拡張版
- IBM5577 プリンタエミュレーション
- 富士通 FMPR-359 プリンタエミュレーション
- NEC N5273 プリンタエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- バーコード用フォント ROM（FR-BFV2CL 相当）

本プリンタには、コントロール ROM を 1 個のみ増設可能です。

重要

- コントロール ROM は、必ず本プリンタに対応したもの（CR-MES）をご使用ください。

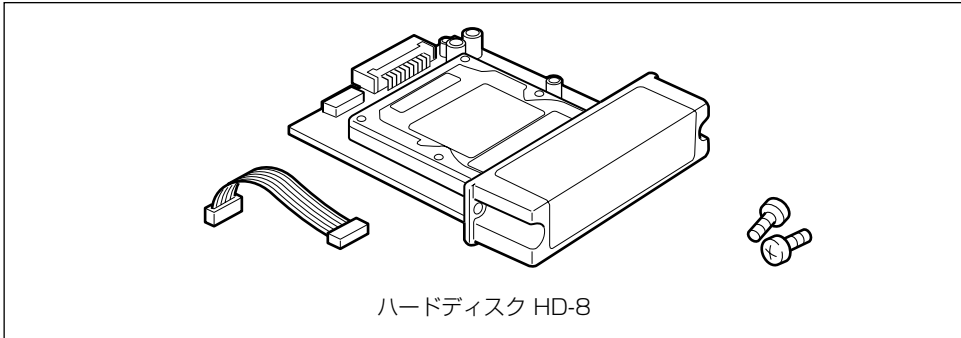
- 従来のコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

メモ

- コントロール ROM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P.3-72）を参照してください。

ハードディスク

ハードディスクは、受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを取り付けることにより、プリントジョブのスプールやセキュアプリント、電子ソート、rip once(リップワンス)などの機能が使えるようになります。

ハードディスク HD-8

重要
- ハードディスクを使用するときは、16MB 以上の拡張 RAM の増設が必要です。また、rip once（リップワンス）機能を使用する場合は、32MB 以上の拡張 RAM の増設が必要です。併せて取り付けてください。
- ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ
- ハードディスクの取り付けかたについては、「ハードディスク」（→ P.3-83）を参照してください。

プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の 3 種類が用意されています。

プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書 4.2」

（LIPS コマンドの概要を知るためのマニュアル）

プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」

（LIPS コマンドの手引き）

プログラマーズマニュアル「クックブック 4.2」

（プログラムサンプル集）

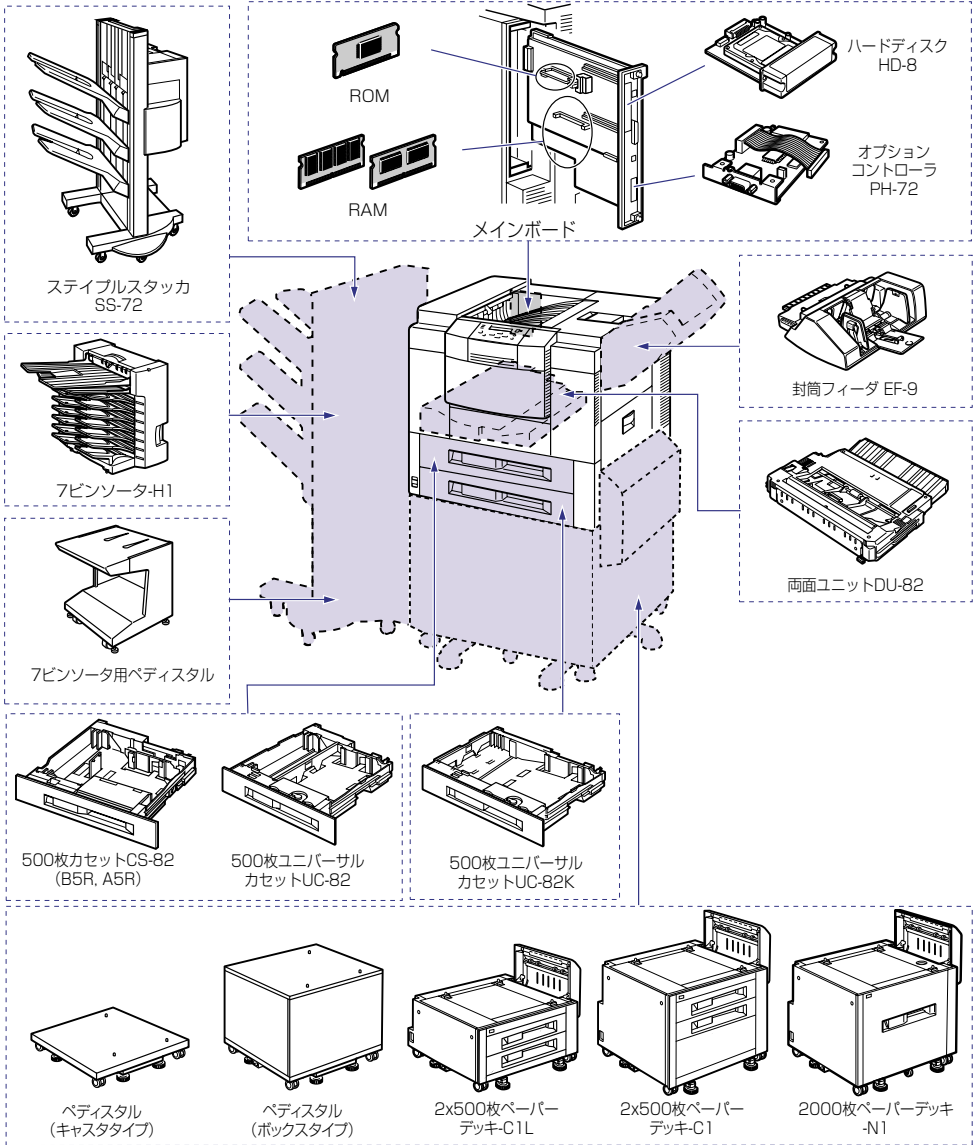
メモ
- LIPS IV のプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

設置手順について

本プリンタは、取り付けるオプション品によって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプション品の内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

重要

- 本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

オプション品の取り付け位置

設置の手順

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けていない場合は、（オプション品）と表記された手順は読み飛ばしてください。

1	（オプション）ペディスタルの設置（→P.3-42） ペーパーデッキの設置（→P.3-5）
2	プリンタ本体の設置（→P.2-4）
3	トナーカートリッジのセット（→P.2-13）
4	用紙のセット（→P.2-19）
5	（オプション）オプションコントローラボードの取り付け（→P.3-66） ネットワークスキャナの取り付け（→付属の取扱説明書） RAM/ROMの取り付け（→P.3-72） ハードディスクの取り付け（→P.3-83）
6	（オプション）ステイプルスタッカの取り付け（→P.3-48） 7ビンソータの取り付け（→P.3-28）
7	本体とパソコンの接続（→P.2-25）
8	電源コード、アース線の接続（→P.2-33）
9	（オプション）両面ユニットの取り付け（→P.3-22）
10	（オプション）封筒フィーダの取り付け（→P.3-18）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

重要
- 本プリンタを設置する前に、「⚠安全にお使いいただくために」（→ P.viii）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

・周囲温度：10 ～ 32.5 ℃

・周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

重要
- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1 時間以上放置してからご使用ください。
  ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また「5F-nn　サービスコール」というメッセージが表示され、プリント処理が停止することがあります。詳しくは、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

■ **超音波加湿器をご使用のお客様へ**

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

最大消費電力は、プリンタ本体は 1250W* 以下、2000 枚ペーパーデッキ -N1 は 28W 以下、2 × 500 枚ペーパーデッキ C1/C1L は 38W 以下、7 ビンソータ -H1 は 22W 以下、ステイプルスタッカ SS-72 は 51W 以下（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊注：ハードディスク、封筒フィーダ、両面ユニット、拡張 RAM、拡張 ROM 装着時の値です。起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を取るときは、次の事項をお守りください。

・必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源を取ってください。

・アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

警告
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。（本プリンタのオプション品を接続する場合は除く）
- パソコン本体の補助コンセントから電源を取らないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

・十分なスペースが確保できる場所

・風通しがよい場所

・平坦で水平な場所

・本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

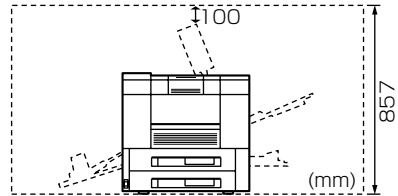
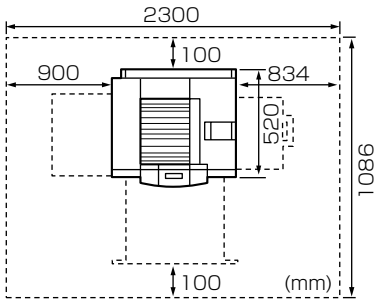
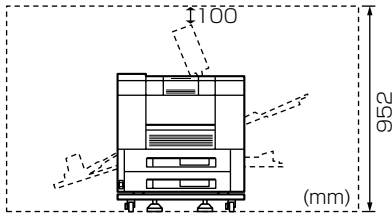
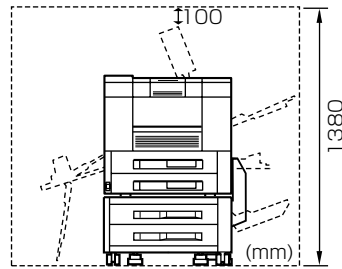
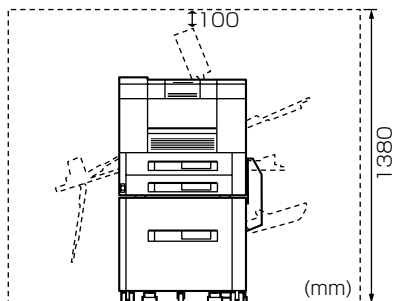
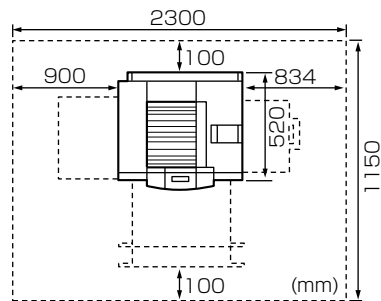
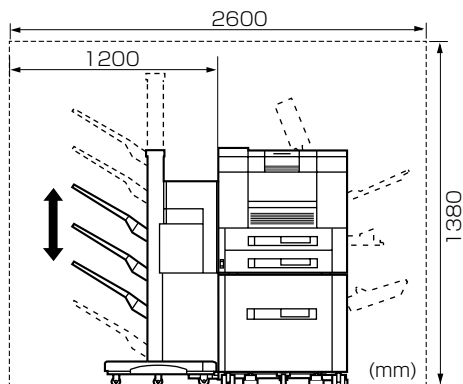
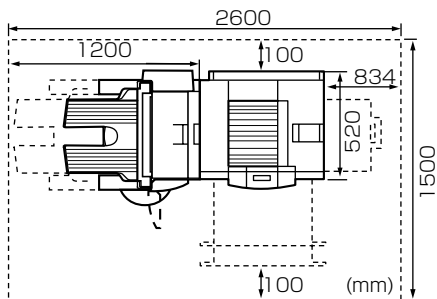
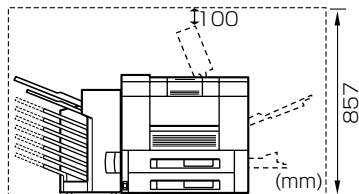
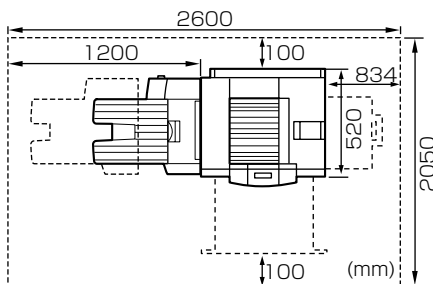
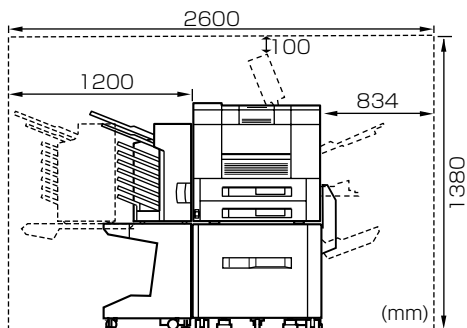
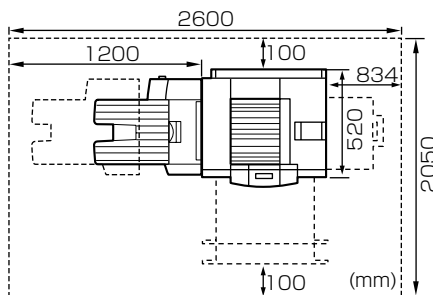
注意
- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  ・雨や雪が降りかかるような場所
  ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  ・直射日光のあたる場所
  ・高温になる場所
  ・火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

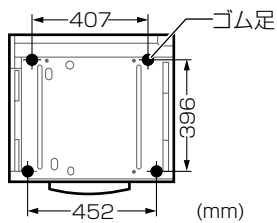
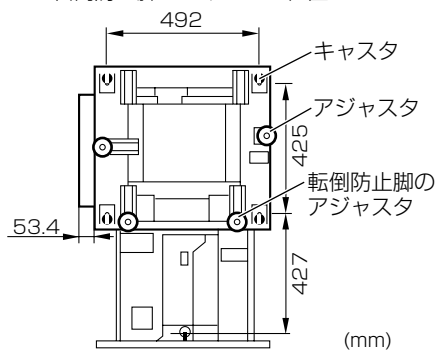
重要
- 本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。
  ・急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
  ・風通しの悪い場所
  ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
  ・実験室など、化学反応を起こすような場所
  ・空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
  ・本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

●標準状態

●ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

●2×500枚ペーパーデッキ-C1L装着状態

●2000枚ペーパーデッキ -N1、2×500枚ペーパーデッキ-C1、ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

●ステイプルスタッカSS-72装着状態

●7ビンソータ-H1装着状態

●7ビンソータ+7ビンソータ用ペディスタル+ペーパーデッキ装着状態

足の位置

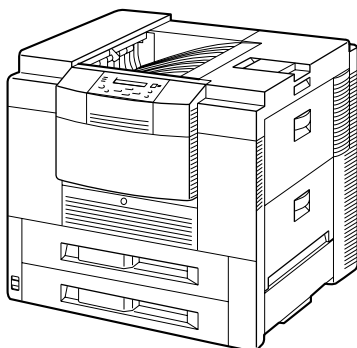
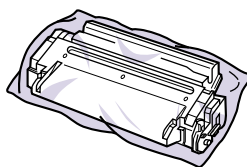
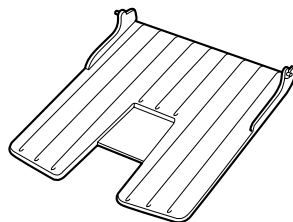
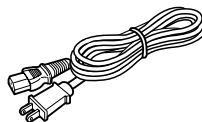
●本体底面のゴム足の位置

●ペーパーデッキのキャスタ、アジャスタ、転倒防止脚アジャスタの位置

メモ
- ゴム足の高さは 8.5mm、先端の直径は 37mm です。

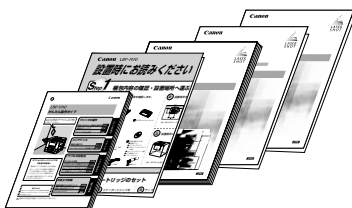
プリンタの設置

2
CHAPTER

この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。オプション品を同時に取り付ける場合には、第 3 章「オプション品の取り付け」と併せてお読みください。

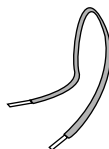
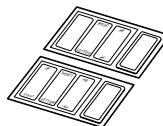
パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

□プリンタ本体
（給紙カセットが取り付けられています。）

□トナーカートリッジ
（EP-72トナーカートリッジ）

□サブ排紙トレイ

□電源コード

□アース線

□ 取扱説明書
- ■ 設置時にお読みください
- ■ 設置ガイド
- ■ かんたん操作ガイド
- ■ LIPSソフトウェアガイド／スタート編
- ■ ネットワークガイド／スタート編

□ LIPS IV User Software CD-ROM
- ■ ユーティリティソフト
- ■ プリンタドライバ

□ 取扱説明書CD-ROM
- ■ 設置ガイド
- ■ ユーザーズガイド
- ■ LIPSソフトウェアガイド／本編
- ■ ネットワークガイド／本編
- ■ LIPS機能ガイド
- ■ リモートUIガイド

□ FontGallery Deluxe CD 全書体見本

□ひも
（かんたん操作ガイド用）

□用紙サイズ表示板

□ 保証登録書／封筒セット

メモ

- 本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

重要

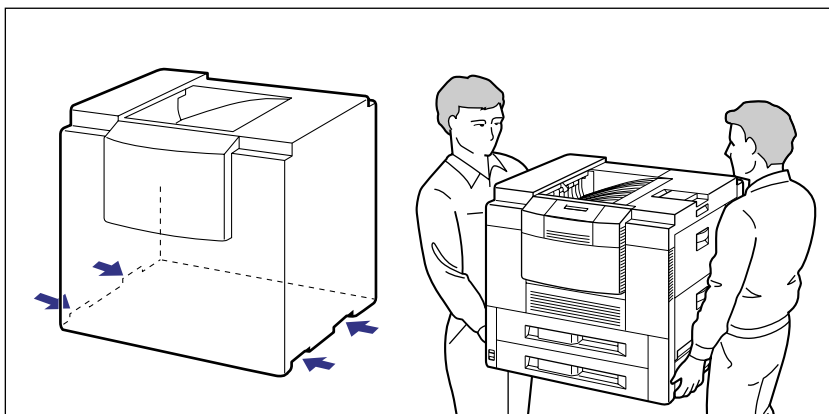
- 本プリンタ用ペディスタルやペーパーデッキを使用せずに本体のみを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- オプションのペーパーデッキやペディスタルを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前にペーパーデッキやペディスタルを設置してください。ペーパーデッキの設置方法については、「ペーパーデッキ」（→ P.3-5）を、ペディスタルの設置方法については、「ペディスタル」（→ P.3-42）を参照してください。
- 本プリンタに 7 ビンソータ用ペディスタルと 7 ビンソータを組み合わせて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

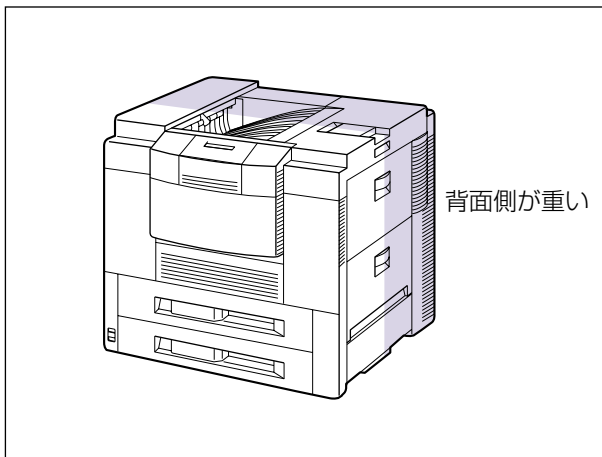
1 プリンタ本体をパッケージから取り出します。

重要

- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で、必ず 2 人以上で行ってください。

2 プリンタ本体を設置場所へ運びます。

プリンタ本体下部にある 4 箇所の運搬用取っ手に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所に運びます。

⚠注意

- 本プリンタは、トナーカートリッジを取り付けていない状態で約 52kg あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要

- 給紙トレイやカバーを止めてあるテープは、付けたまま持ち運んでください。

3 設置場所にゆっくりとおろします。

⚠注意

- プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要

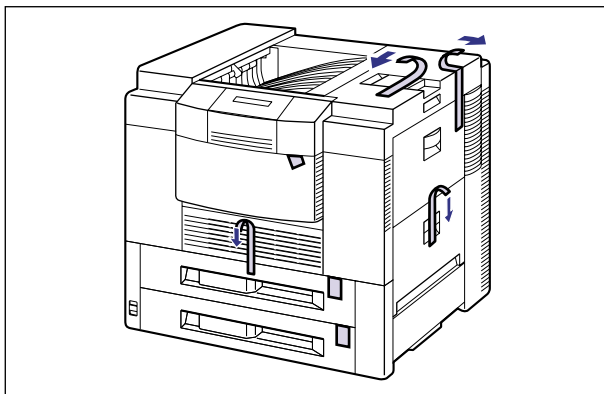
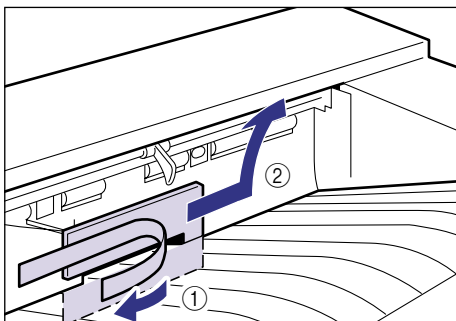
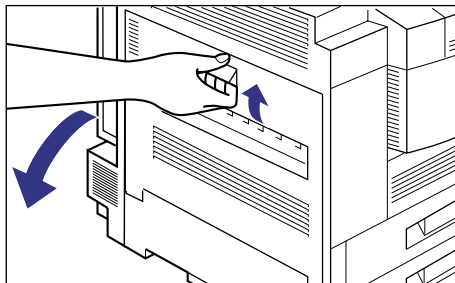
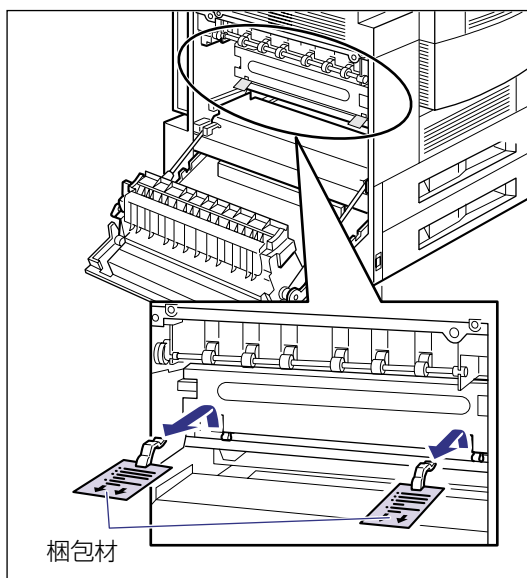
- 設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

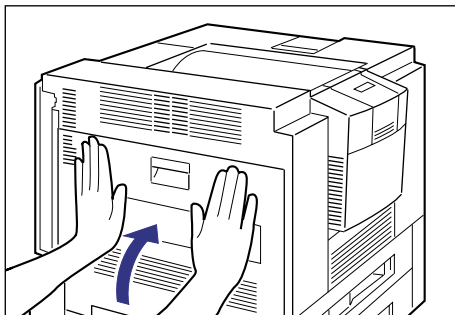
梱包材を取り外す

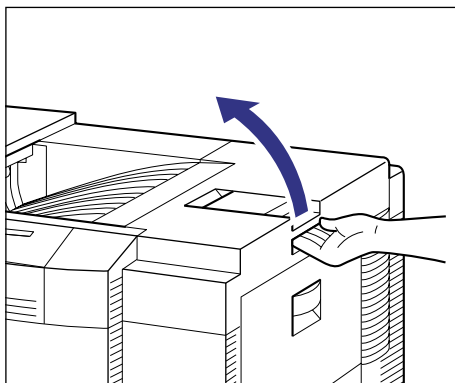
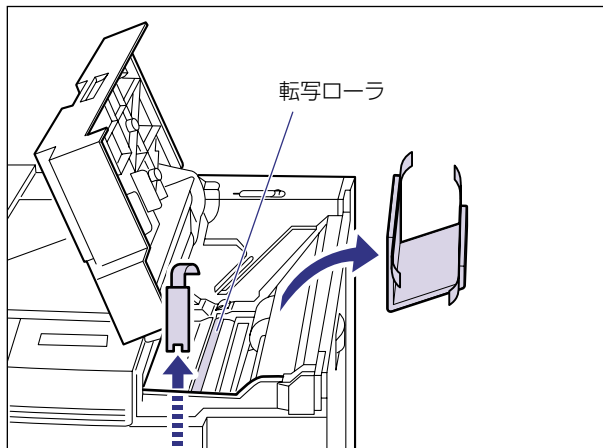
本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらのテープや梱包材を取り外してください。

重要

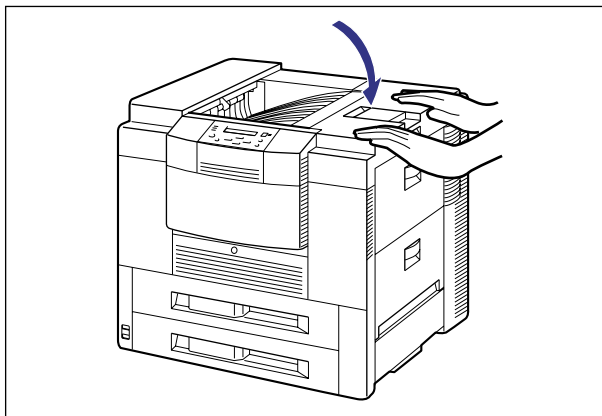
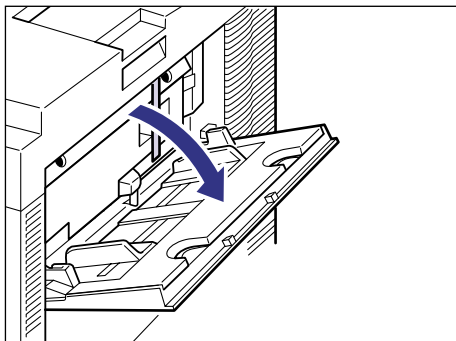
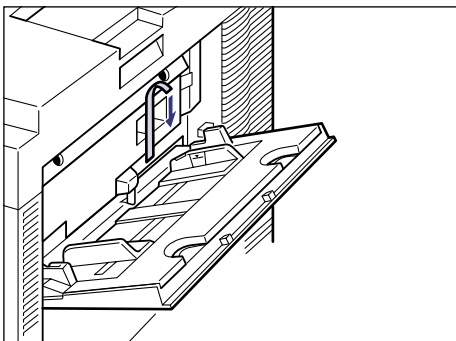
- プリンタ内部に梱包材が残っていると、動作時に印字不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

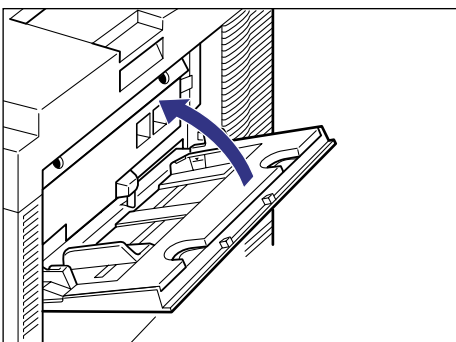
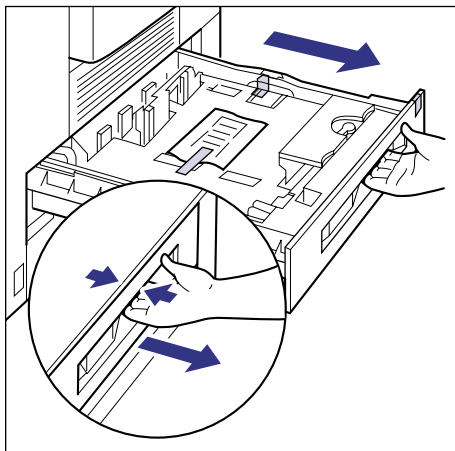
1 **上カバーや右カバーを止めているテープを取り外します。**

2 **排紙トレイのテープを取り外し ①、排紙トレイを押さえながら、梱包材を取り外します ②。**

3 左カバーの取っ手を引いて、左カバーを開けます。

4 定着器に取り付けられている梱包材を取り外します。

5 左カバーを閉めます。

カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉めます。

6 上カバーを開けます。

上カバーは、取っ手に手を掛け、そのままゆっくりと上まで開けます。

7 上カバー内部の梱包材を取り外します。

重要 • 転写ローラには絶対に手を触れないでください。印字品質が低下する原因になります。

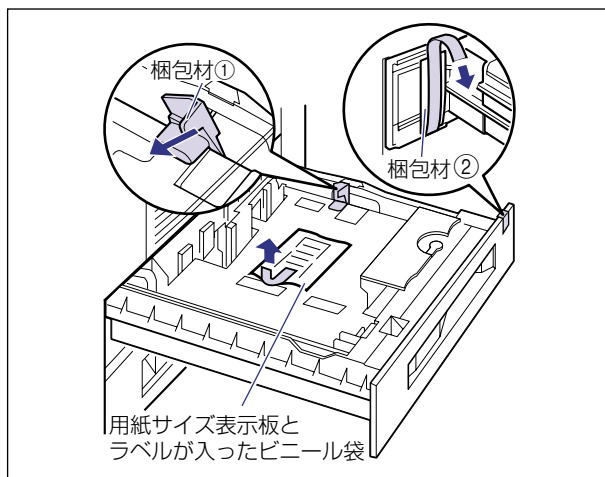
8 上カバーを閉めます。

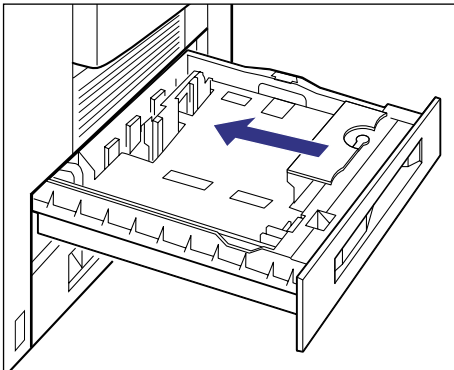
カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉めます。

9 プリンタ右側面の給紙トレイを開けます。

10 給紙トレイ内部のテープを取り外します。

11 給紙トレイを閉めます。

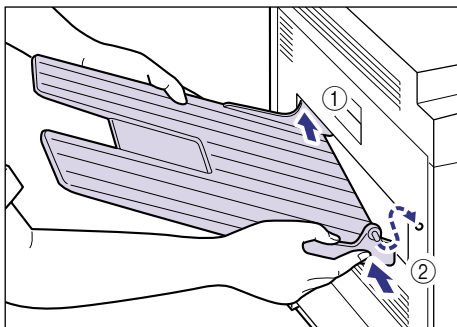
カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉めます。

12 給紙カセットの取っ手を引いて、給紙カセットを止まるまで引き出します。

13 給紙カセット内部の梱包材 ①、② と用紙サイズ表示板、およびラベルが入ったビニール袋を取り外します。

梱包材 ① は、給紙カセット内部のプレートを手で押さえながら、矢印の方向へ押して取り外します。

重要　• 梱包材やビニール袋は、上段、下段両方の給紙カセットに取り付けられています。必ず両方の給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。

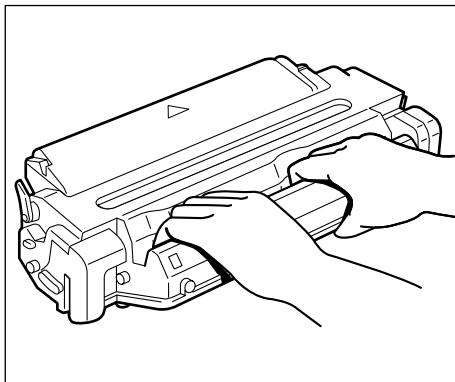
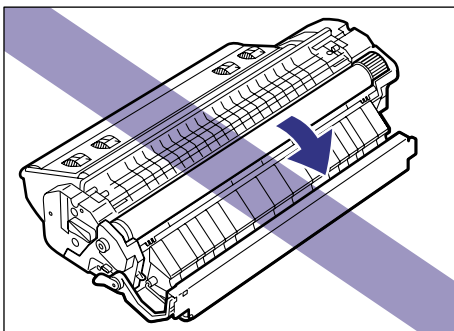
2 プリンタの設置

14 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

15 本体左側面にサブ排紙トレイを取り付けます。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

トナーカートリッジをセットする

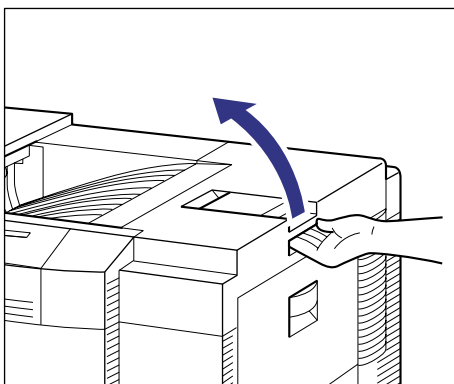
本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジは取り付けられていません。梱包材を取り外したら、必ず同梱されているトナーカートリッジを取り付けてください。
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。磁気や光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

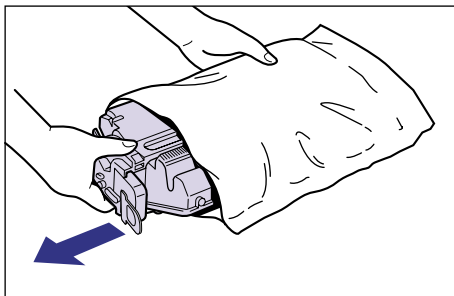
注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

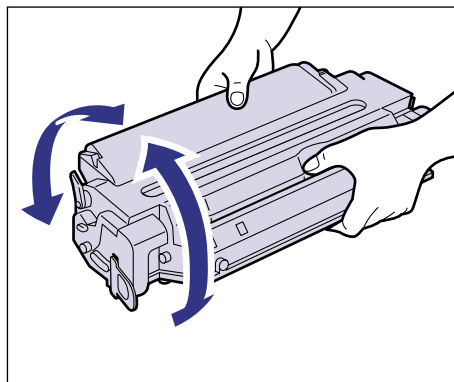
重要
- トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に気を付けてください。
  - 必ず本プリンタに付属のトナーカートリッジを使用してください。
  - 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
  - トナーカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにトナーカートリッジが入っていた保護袋に入れ、取り扱いには十分気を付けてください。
  - トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

・内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

・トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
・トナーカートリッジをディスプレイやパソコンなど、磁気を発生する装置に近づけないでください。
・トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

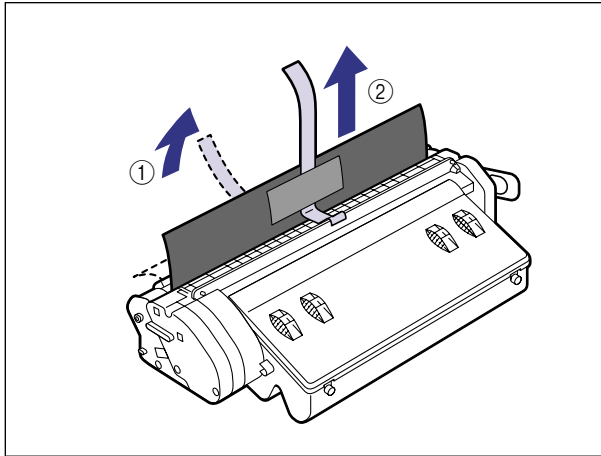
---

1 上カバーを開けます。

上カバーは、取っ手に手を掛け、そのままゆっくりと上まで開けます。

2 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

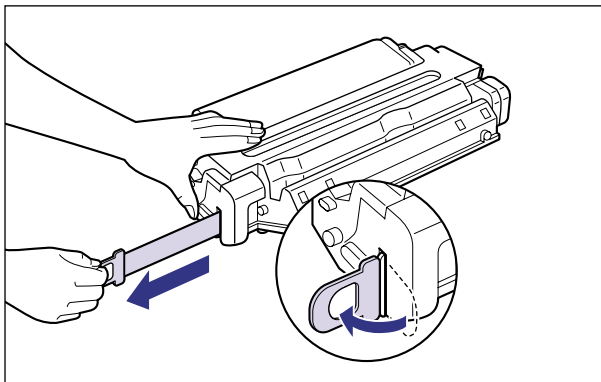
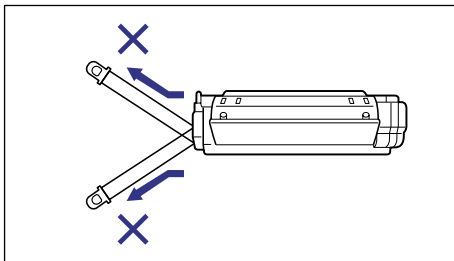
保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

重要 • トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

3 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要 • トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

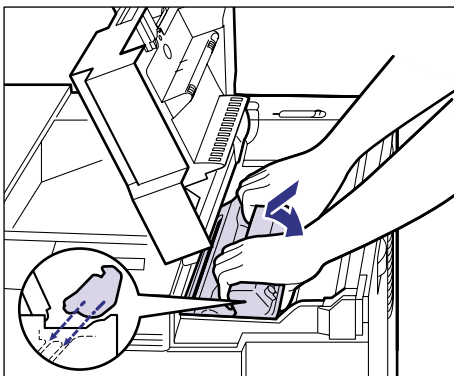
4 トナーカートリッジを裏返して平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらテープをゆっくりと引き上げてはがし ①、黒い保護シートごと取り外します ②。

重要

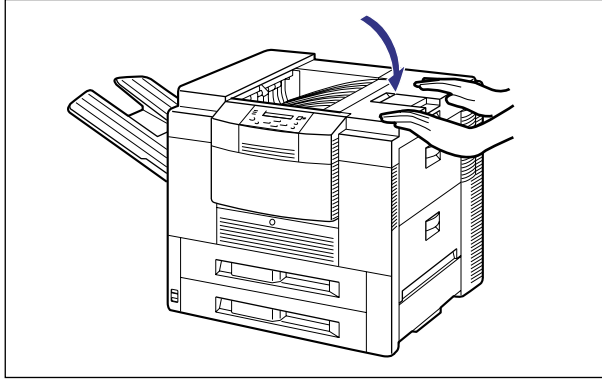
- トナーカートリッジ内部の感光ドラムには絶対に触れないでください。手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質低下の原因になります。
- トナーカートリッジは、黒い保護シートを取り外した状態で放置せず、できるだけ早く本体に取り付けてください。

5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 75cm）を引き抜きます。

シーリングテープは、図のようにタブを曲げて折ったあと、タブに指を掛け、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

6 トナーカートリッジを両手で持ち、図のように本体に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。

7 上カバーを閉めます。

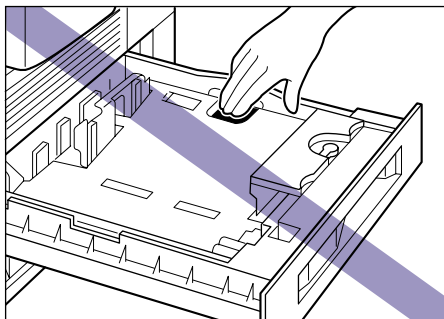
上カバーは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要

- 上カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に上カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

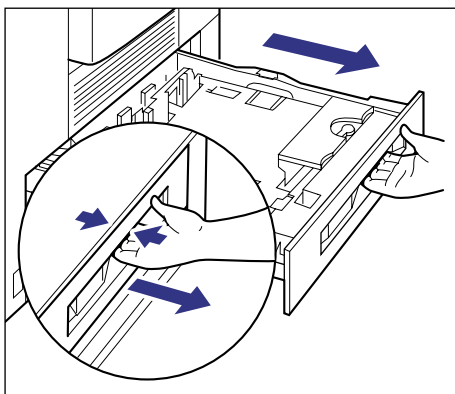
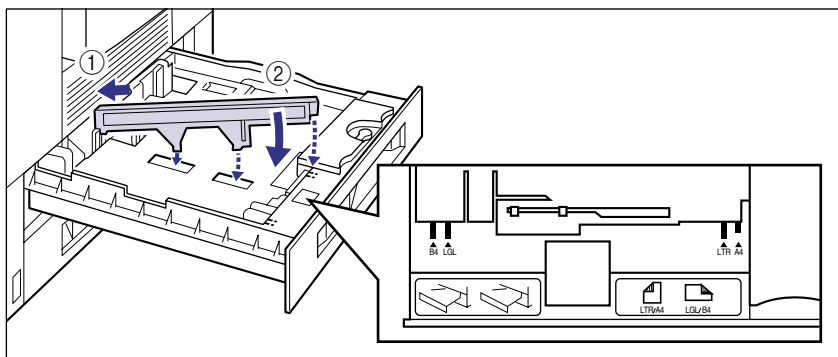
用紙をセットする

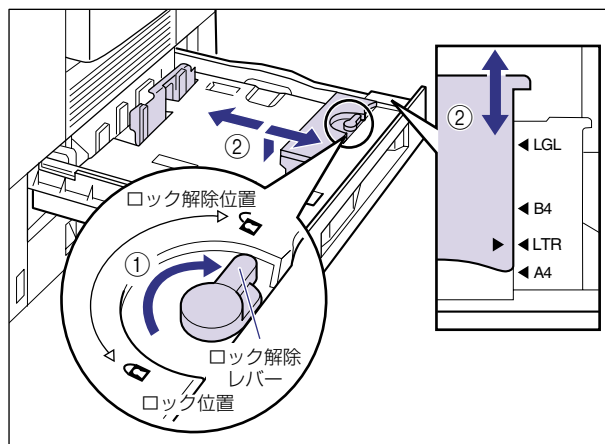
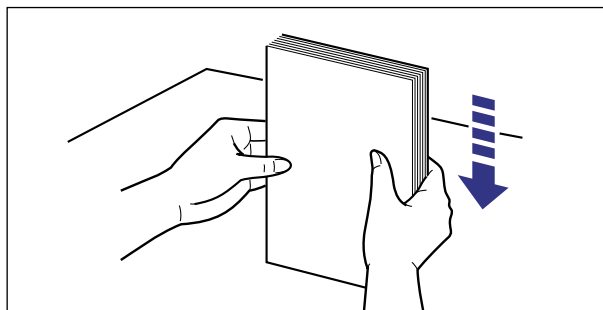
本プリンタは、自動切り替えで給紙可能な給紙カセットを 2 種類標準装備しています。カセット 1（上段）には、B4、A4、リーガル、レターサイズ、カセット 2（下段）には、A3、B4、A4、レジャー、リーガル、レターサイズの普通紙をそれぞれ最大で約 500 枚（64g/m^2）までセットできます。

重要

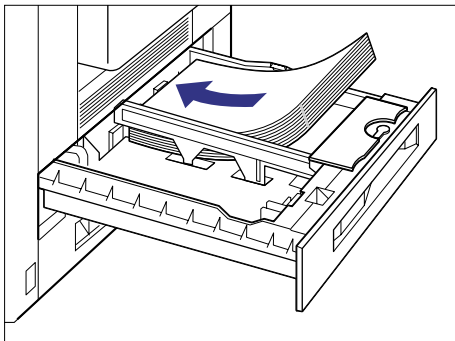
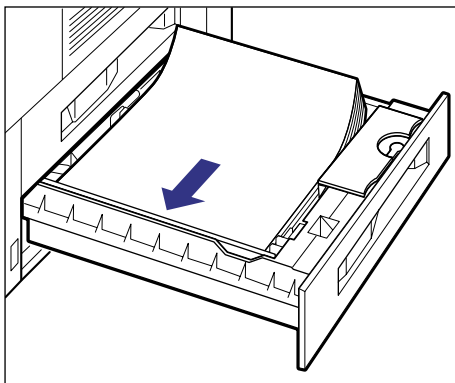
- プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 普通紙（64 ～ 105g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 用紙ガイドの積載制限マークを超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 使用できる用紙の詳細は、「用紙について」（→ユーザーズガイド）を参照してください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- ハードディスクを取り付けている場合は、HDD ランプが点灯しているときに給紙カセットを引き出したり差し込んだりしないでください。
- 給紙カセットの黒いゴムパットには触れないでください。給紙不良の原因になります。

給紙カセットに用紙をセットする

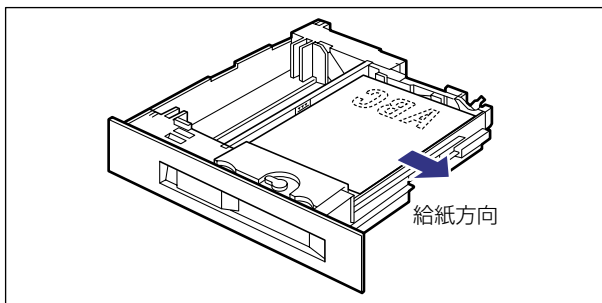
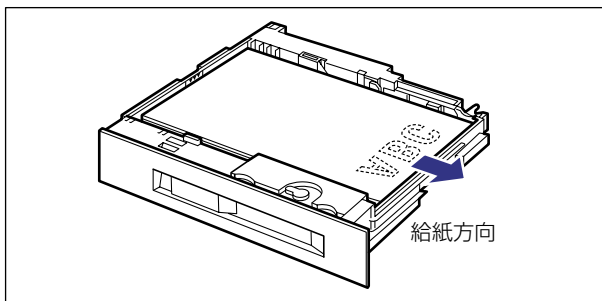
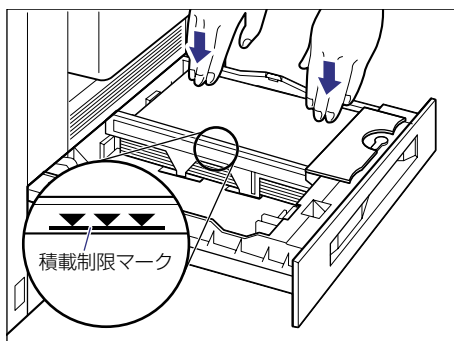
トナーカートリッジを取り付けたら、給紙カセットに用紙をセットします。カセット 1、カセット 2 共に用紙のセット方法は同じです。次の手順にしたがって、両方のカセットに正しく用紙をセットしてください。

1 給紙カセットの取っ手を引いて、給紙カセットを止まるまで引き出します。

2 左側用紙ガイドの手前を持ち上げて取り外し、セットする用紙サイズが表示されている位置の溝へ、図の ①、② の順に差し込んで固定します。

3 前側用紙ガイドのロック解除レバーをロック解除側に回し ①、用紙ガイドをセットする用紙サイズの位置に合わせたら ②、ロック解除レバーをロック側に回してロックします。

奥の用紙ガイドは、手前の用紙ガイドと連動しています。

4 用紙の束を平らな場所で揃えます。

重要 • 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。

5 用紙を左側と奥の用紙ガイドに合わせてセットします。

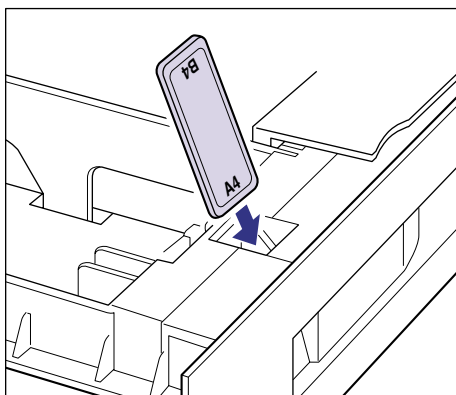
A4、レターサイズの用紙の場合は、矢印の方向（横送り）にセットします。

A3、B4、レジャー、リガールサイズの用紙の場合は、矢印の方向（縦送り）にセットします。

メモ

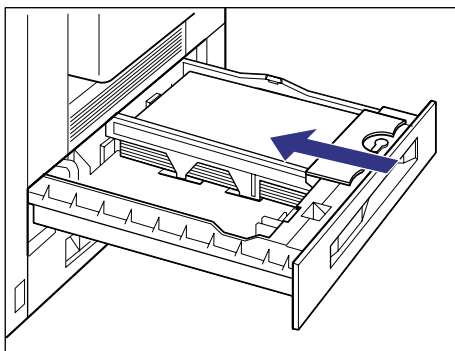
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  - ･A4 やレターサイズのように用紙を横送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端がプリンタの奥側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦送りでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端が右側になるようにセットします。

6 用紙を図のように下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを超えていないか確認します。

重要

- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約500枚（64g/m^2）です。絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲で用紙をセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

2 プリンタの設置

7 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

セットした用紙サイズの表記を下側にして差し込みます。

8 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

パソコンと接続する

本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。本プリンタは、双方向通信対応のパラレルコネクタ、USB コネクタ、LAN コネクタを標準装備しています。

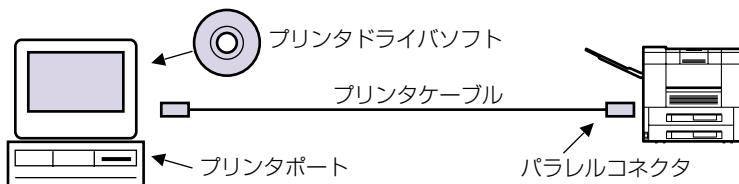
重要 • 本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

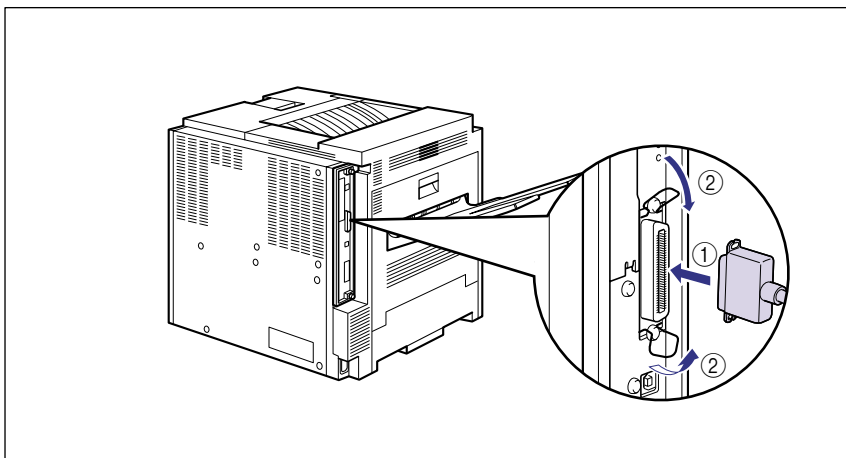
メモ • 本プリンタに付属のプリンタドライバやユーティリティソフトのインストール方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

DOS/Windows パソコンとの接続

本プリンタを DOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）または USB ポートに接続します。

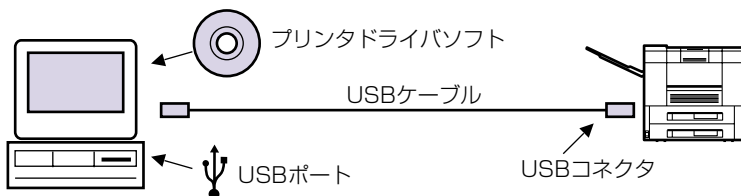
プリンタポートに接続する場合

PC-9800 シリーズや IBMPC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意 • プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。
① 本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ左側面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

USB ポートに接続する場合

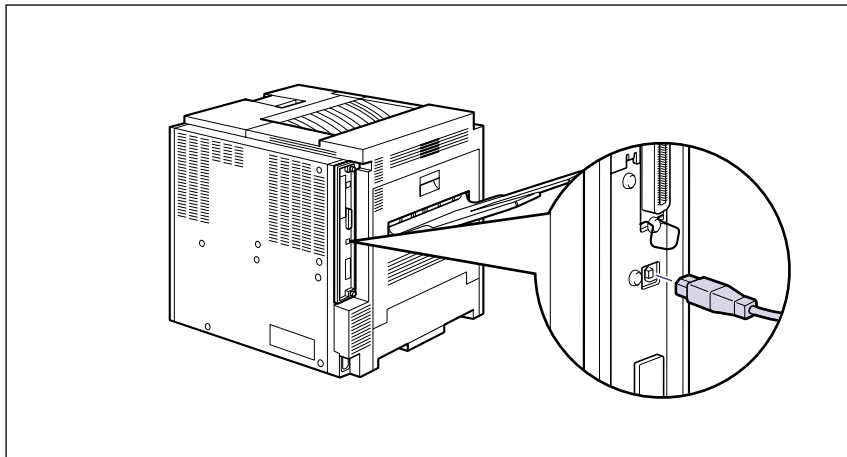
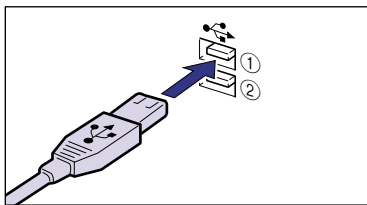
USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタ左側面の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

警告

- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要

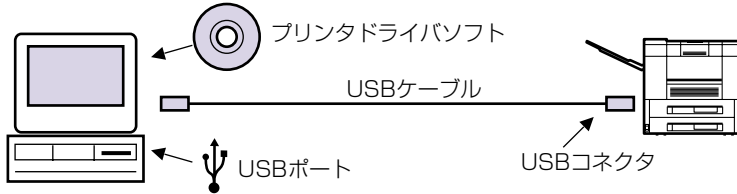
- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ･パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中
  - ･プリント中

- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

1 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタ左側面の USB コネクタへ接続します。

2 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側をパソコンの USB ポートへ接続します。

Macintosh パソコンとの接続

本プリンタを Macintosh に直接接続するときは、USB ポートに接続します。

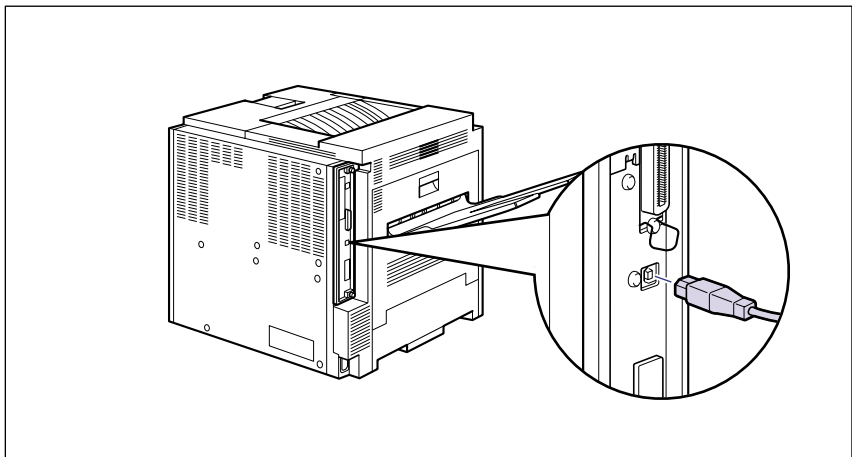
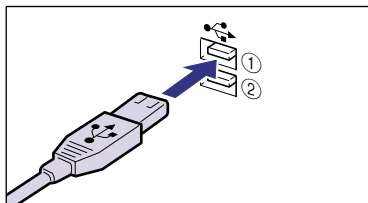
USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備した Macintosh は、USB ケーブルで本プリンタ左側面の USB コネクタと Macintosh の USB ポートを接続します。

警告

- 電源をオンにした状態で USB ケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要

- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ･プリンタドライバのインストール中
  - ･パソコンの電源を入れた後の OS（MacOS）起動中
  - ･プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

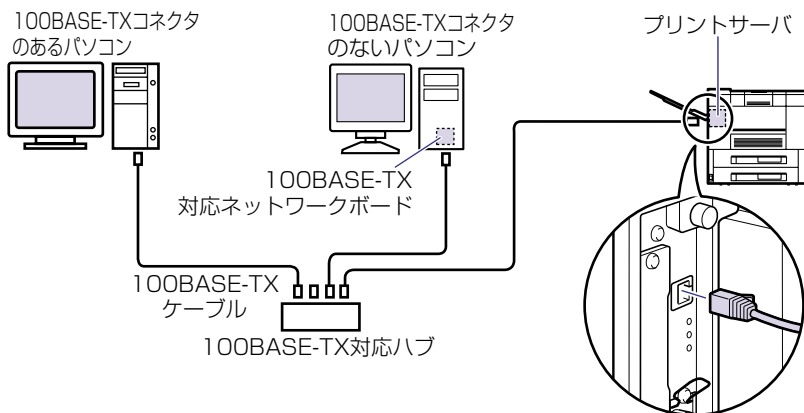
1 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ左側面の USB コネクタへ接続します。

2 USB ケーブルの A タイプ（平たい）側を Macintosh の USB ポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタは 10BASE-T/100BASE-TX 対応プリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ接続して Windows や Macintosh、UNIX などのパソコンからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバは、IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk 、NetBIOS/NetBEUI のプロトコルに対応しています。

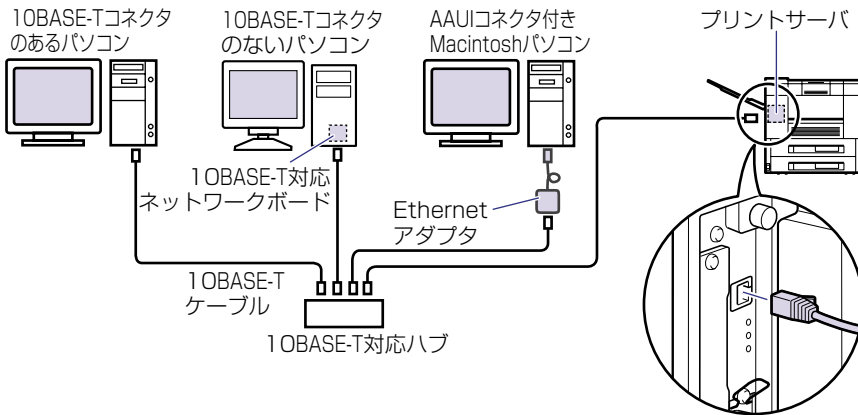
メモ

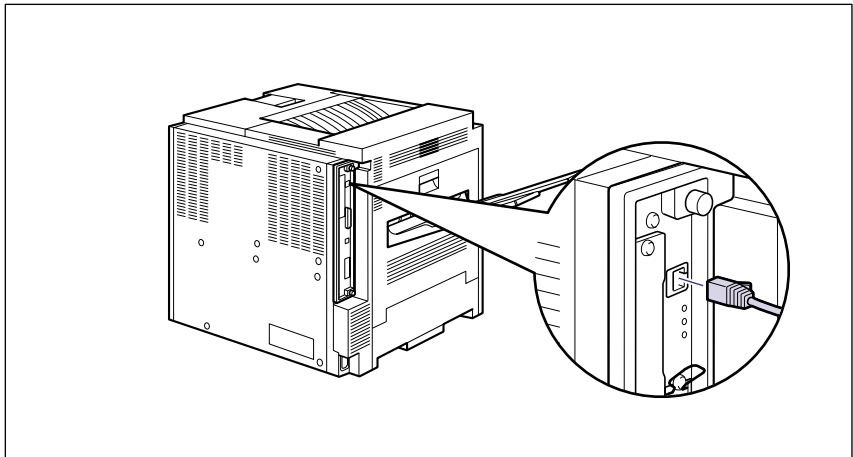
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定については「ネットワークガイド」を参照してください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（NetWare、UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。

100BASE-TX で接続する場合

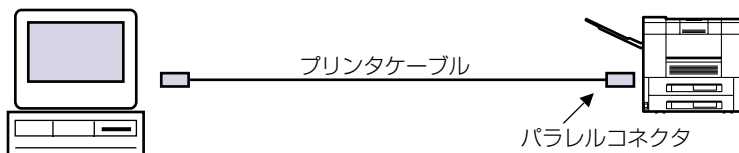
本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを 100BASE-TX 対応 LAN ケーブル（カテゴリ 5 用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TX のネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX 対応のネットワークボードも必要になります。また、ネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

- ハブやLAN ケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

10BASE-T で接続する場合

本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを 10BASE-T 対応 LAN ケーブル（カテゴリ 3 ～ 5 用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。また、ネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

接続のしかた

1 LAN ケーブルを本プリンタ左側面の LAN コネクタへ接続します。

2 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

その他のパソコンとの接続

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったプリンタケーブルで本プリンタと接続します。

なお、本プリンタを PS/55 シリーズや FMR シリーズなどのパソコンに接続して使用する場合、オプションのコントロール ROM が必要です。また、これらのパソコンからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。このようなときは、使用しているインタフェースおよびコントロール ROM のエミュレーションモードに固定してご使用ください。コントロール ROM には、次の種類が用意されています。

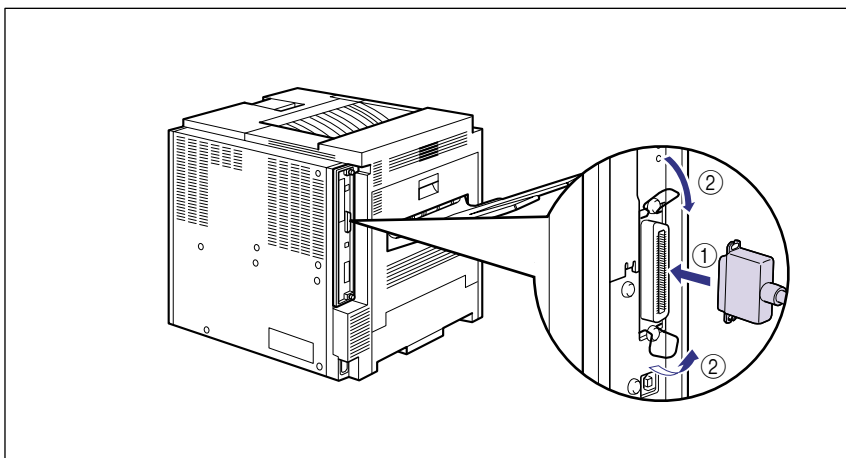
製品名	
CR-MES	下記のコントロール ROM およびフォント ROM の内容を収録 · PC-PR201/80A プリンタエミュレーション拡張版 · ESC/P 準拠プリンタエミュレーション拡張版 · IBM5577 プリンタエミュレーション · NEC N5273 プリンタエミュレーション · 富士通 FMPR-359 プリンタエミュレーション · HP7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション · バーコード用フォント ROM（FR-BFV2CL 相当）

注意

- **インタフェースケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
  ① プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ

- 使用できるプリンタケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- コントロール ROM については、「コントロール ROM」（→ P.1-11）を参照してください。
- コントロール ROM の取り付けについては、「RAM/ROM」（→ P.3-72）を参照してください。
- インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS　機能ガイド」を参照してください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ左側面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

電源コードを接続する

パソコンとの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。接続する際には「⚠安全にお使いいただくために」（→P.viii）を必ずお読みください。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  [アース線を接続してもよいもの]
  ・電源コンセントのアース線端子
  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子
  [アース線を接続してはいけないもの]
  ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  ・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。
  ・電話線のアースや避雷針：
  落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

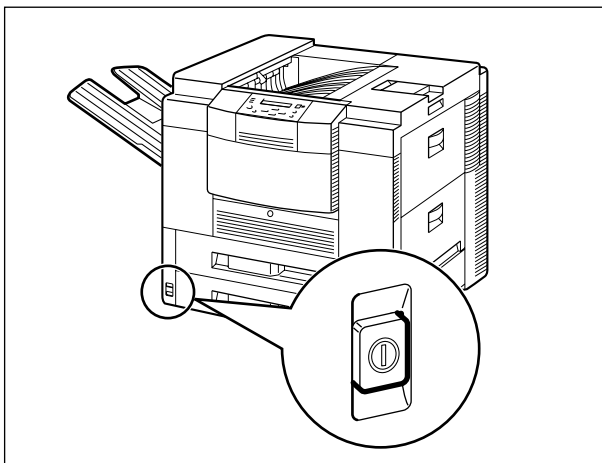
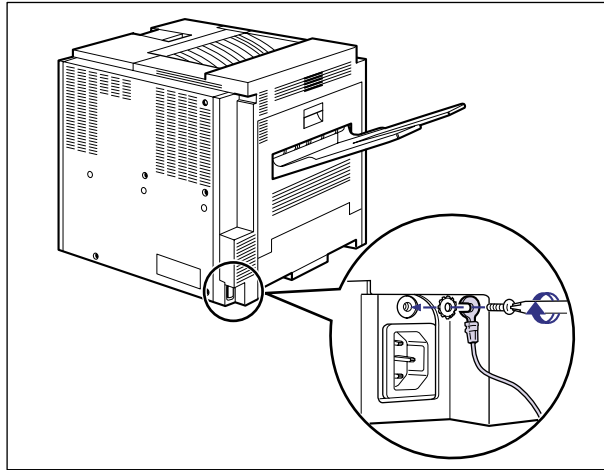
⚠注意

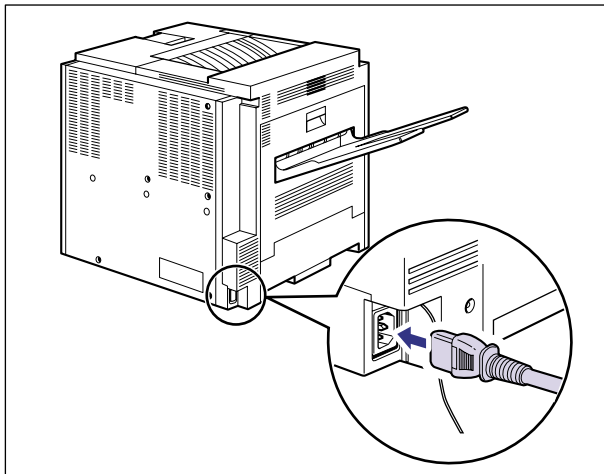
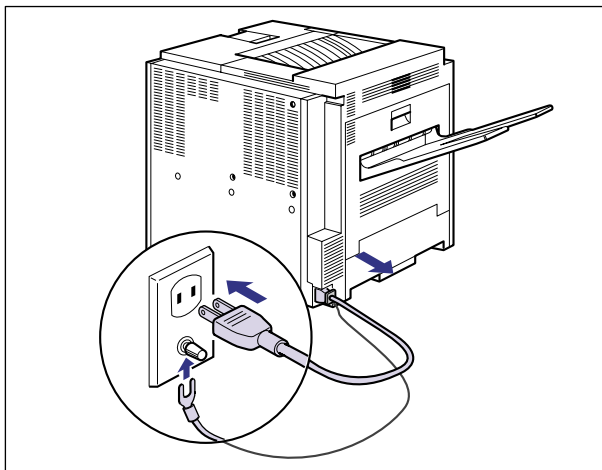
- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

重要
- アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- パソコン本体の補助コンセントから電源をとらないでください。
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。(本プリンタのオプション品を接続する場合は除く)

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチが飛び出した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要 ● アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

⚠警告 • アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

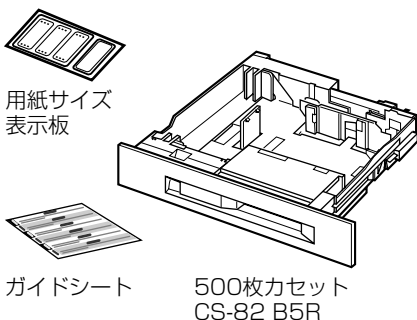
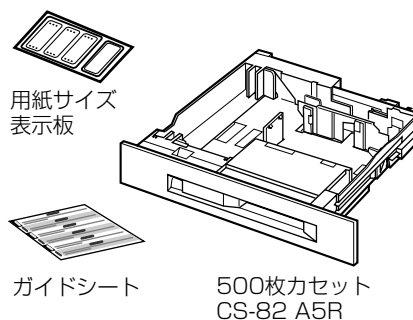
オプション品の取り付け

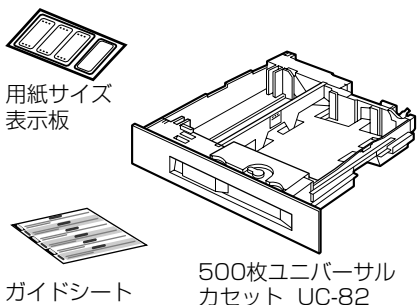
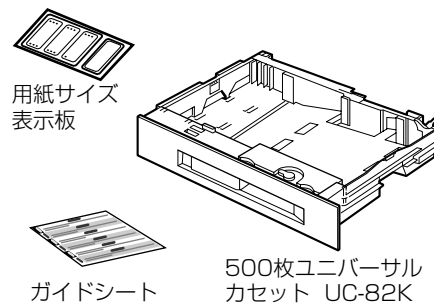
3 CHAPTER

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

500 枚カセット

500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）や 500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、プリンタ本体上段のカセット 1 と差し替えて使用します。500 枚ユニバーサルカセット UC-82K はプリンタ本体下段のカセット 2 と差し替えて使用します。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

●500枚カセット CS-82 B5R

●500枚カセット CS-82 A5R

●500枚ユニバーサルカセット UC-82

●500枚ユニバーサルカセット UC-82K

重要

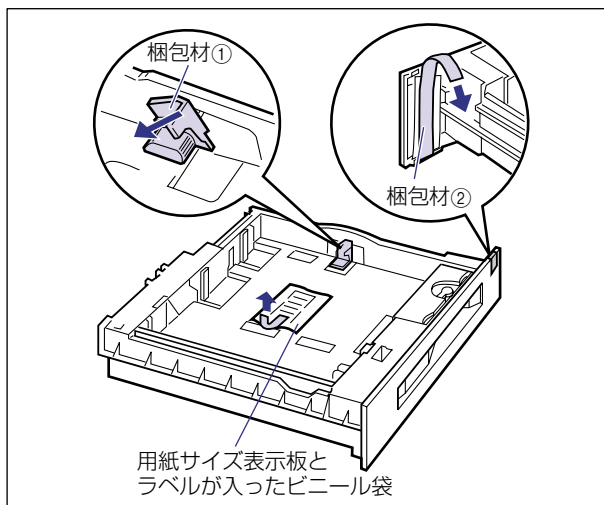
- 500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体のカセット 1 および 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 3 用です。プリンタ本体のカセット 2 や 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 4 に取り付けることはできません。
- 給紙カセットには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

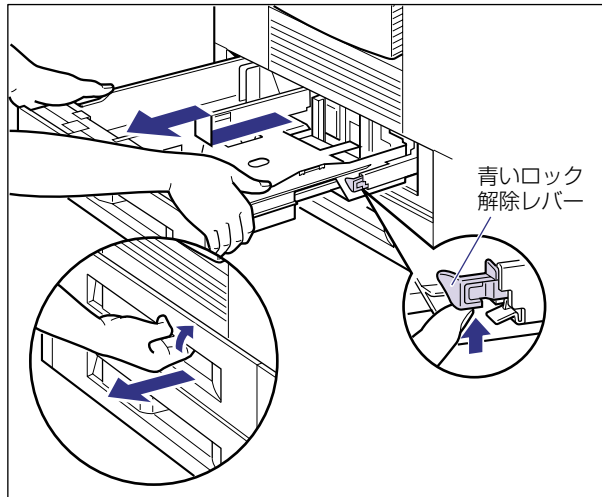
給紙カセットを交換する

500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）や 500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、次の手順でプリンタ本体上段のカセット 1 と交換します。また、プリンタ本体下段のカセット 2 を 500 枚ユニバーサルカセット UC-82K に交換する場合も同様の手順です。

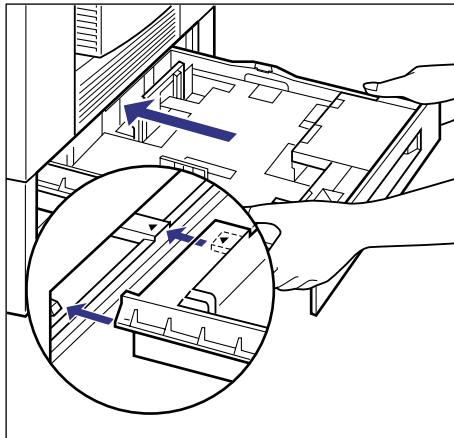
1 **給紙カセットをパッケージから取り出します。**

2 **給紙カセット内部の梱包材 ①、② と用紙サイズ表示板、およびラベルが入ったビニール袋を取り外します。**

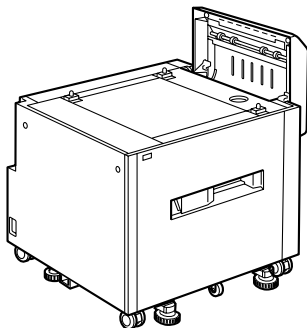
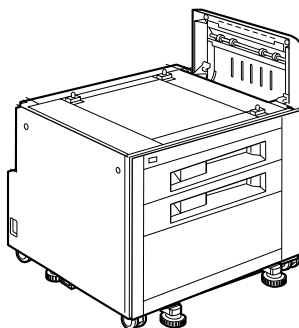
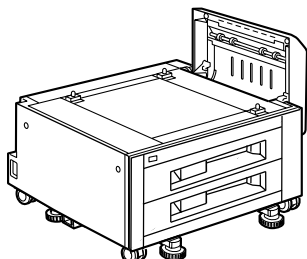
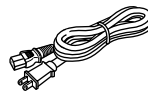
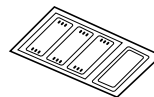
梱包材 ① は、給紙カセット内部のプレートを手で押さえながら、矢印の方向へ押して取り外します。

3 交換したい給紙カセットを抜き取ります。

給紙カセットのロック解除レバーを引いて給紙カセットをいっぱいに引き出したあと、右側面の青いロック解除レバーを押し上げながら給紙カセットを持ち上げ、さらに引くと外れます。

重要 • 抜き取った給紙カセットは、安全な場所に保管しておいてください。

4 オプションの給紙カセットを取り付けます。

給紙カセット下部の溝と左側をプリンタ本体のガイドに合わせ、まっすぐに押し込みます。

重要 • 上下や左右にゆがんだ状態で無理に押し込まないでください。給紙カセットが破損する原因になります。

ペーパーデッキ

ペーパーデッキは、プリンタ本体の底面に取り付けます。ペーパーデッキには、2000 枚ペーパーデッキ -N1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、2 × 500 枚ペーパーデッキ - C1L があります。設置の手順は同じです。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

警告
- ペーパーデッキを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要
- ペーパーデッキを使用するには、プリンタ本体とは別に電源コンセントが必要です。

- ペーパーデッキを使用するには、オプションコントローラボードが必要です。あらかじめオプションコントローラボード（→ P.3-66）を取り付けてください。

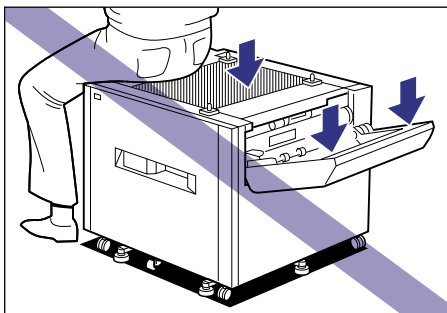
メモ
- 本プリンタにペーパーデッキを取り付ける場合、同梱されている角軸ユニット、角軸カバー、割ピンは使用しません。

ペーパーデッキを取り付ける

ペーパーデッキの梱包材の取り外しから電源コードの接続までを説明しています。

梱包材を取り外す

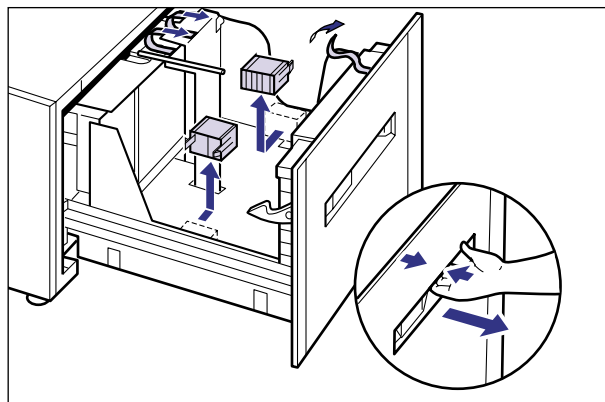
ペーパーデッキをプリンタに取り付ける前に、ペーパーデッキに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

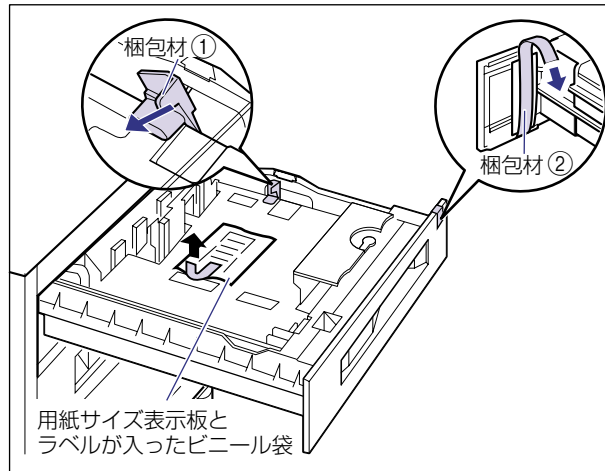
注意
- ペーパーデッキに腰かけたり、手をついたりしないでください。けがの原因になることがあります。

重要
- ペーパーデッキには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

1 ペーパーデッキをパッケージから取り出します。

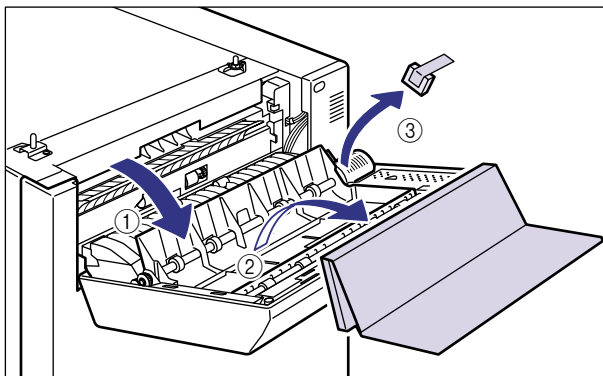
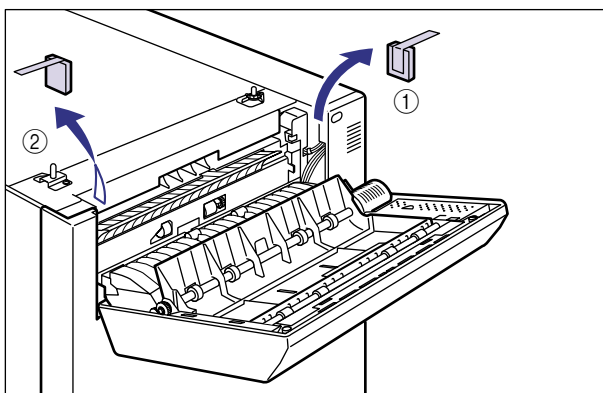
重要
- ペーパーデッキの取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2 デッキや給紙カセットを引き出し、内部のテープや梱包材、ビニール袋を取り外します。

2000 枚ペーパーデッキの場合は、内部の底板を止めている梱包材（2 個）、用紙サイズ表示板とラベルが入ったビニール袋を取り外します。

2 × 500 ペーパーデッキの場合は、給紙カセット内部の梱包材 ①、② と用紙サイズ表示板、およびラベルが入ったビニール袋を取り外します。

梱包材 ① は、給紙カセット内部のプレートを手で押さえながら、矢印の方向へ押して取り外します。

重要
- 梱包材やビニール袋は、上段、下段両方の給紙カセットに取り付けられています。必ず両方の給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。

3
オプション品の取り付け

3 搬送路カバーを開け ①、内側の梱包材 ②、③ を取り外します。

4 搬送路カバーとペーパーデッキの間の梱包材 ①、② を取り外します。

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペーパーデッキを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

⚠警告
- プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 サブ排紙トレイを取り付けている場合は、サブ排紙トレイを取り外します。

サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

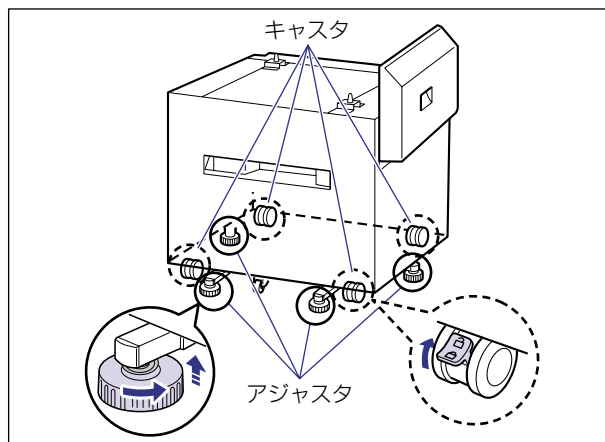
プリンタ本体下部にある 4 箇所の運搬用取っ手に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所から移動します。

注意

- 本プリンタは、約 55.4kg（本体：約 52kg / トナーカートリッジ：約 3.4kg）あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

ペーパーデッキを取り付ける

1 アジャスタが床に触れないように縮めてから、キャスタのロックを解除します。

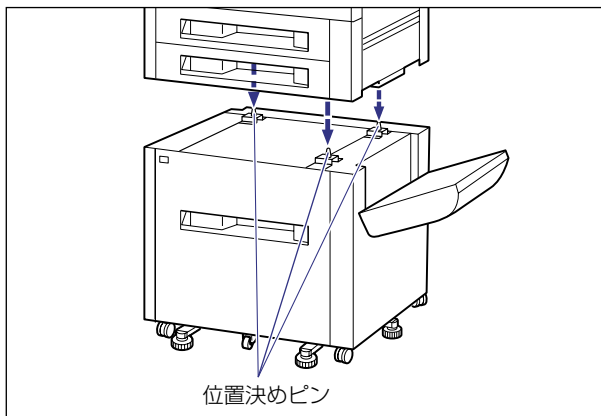
キャスタのロックは、レバーの OFF 側を押すと解除されます。

2 ペーパーデッキを設置場所へ運びます。

重要

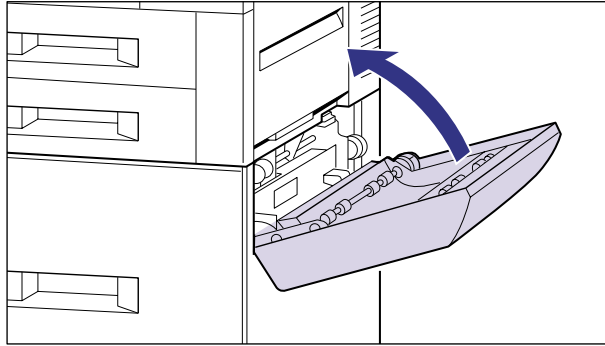
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

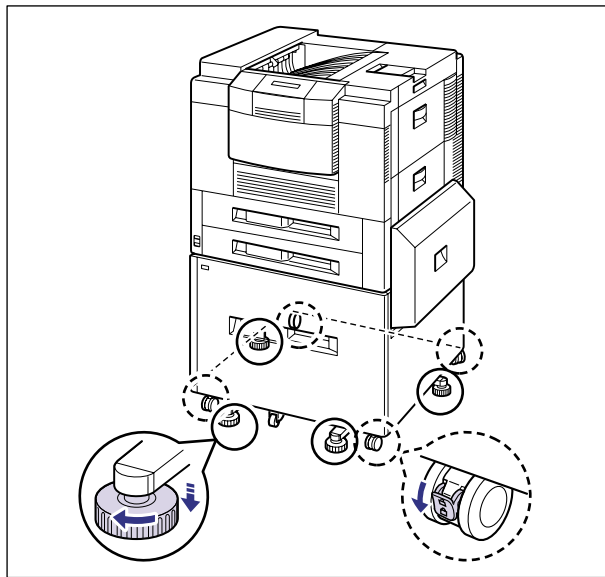
3 搬送路カバーを開けます。

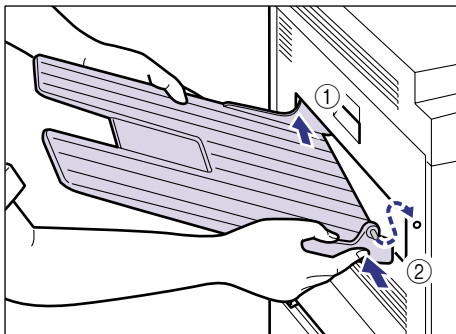
重要
- 絶対に搬送路カバー部分に無理な力を加えないでください。破損や給紙不良の原因になります。
- 必ず搬送路カバーを開けた状態でプリンタ本体を載せてください。

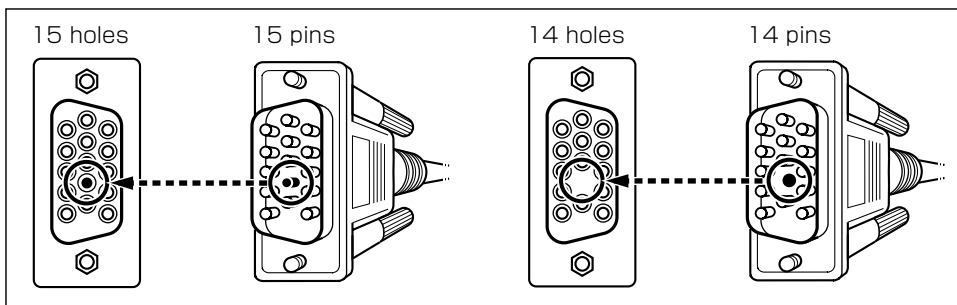
4 ペーパーデッキの位置決めピンとプリンタ本体底面の穴を合わせ、ゆっくりとプリンタ本体をペーパーデッキの上に載せます。

注意
- プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

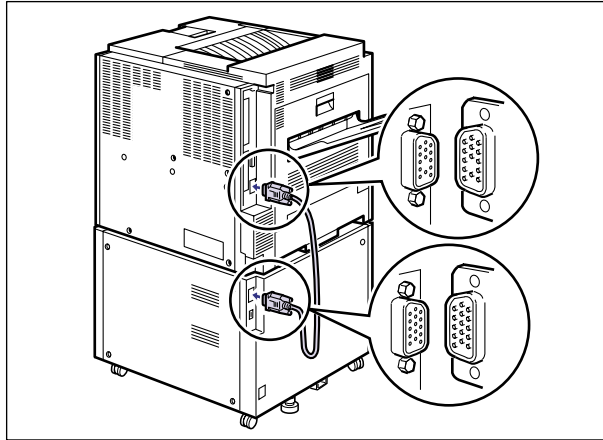
重要
- 必ず、搬送路カバーを開けた状態でプリンタ本体を載せてください。
- 搬送路カバーを破損しないように気を付けてプリンタ本体を載せてください。

5 搬送路カバーを閉めます。

6 キャスタをロックし、アジャスタをセットします。

キャスタは、レバーの ON 側を押すとロックされます。アジャスタは、矢印の方向へ回すと下がります。4 つのアジャスタが均等に床に着くまで下ろし、しっかりと固定します。

7 サブ排紙トレイを取り付けます。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

コントローラケーブルを接続する

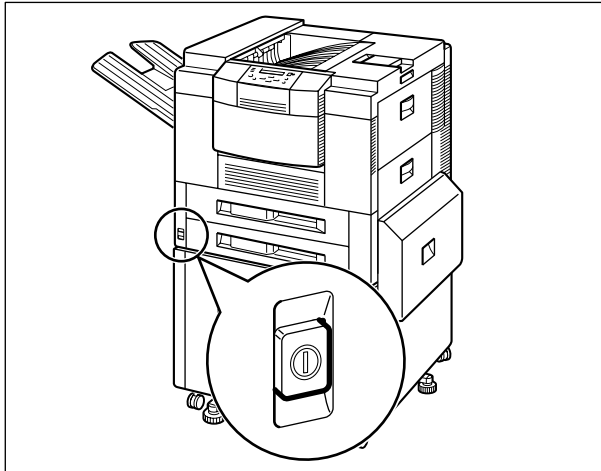
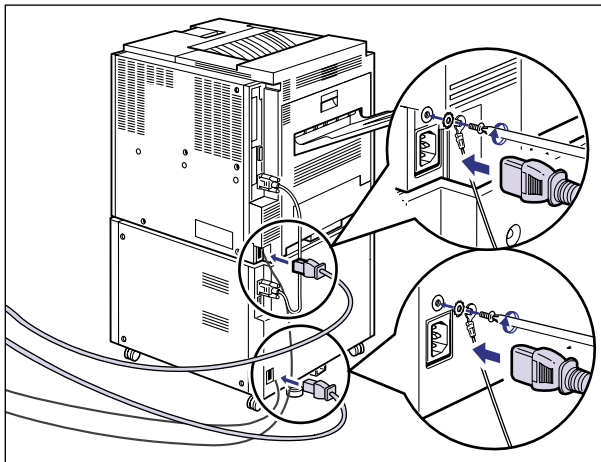
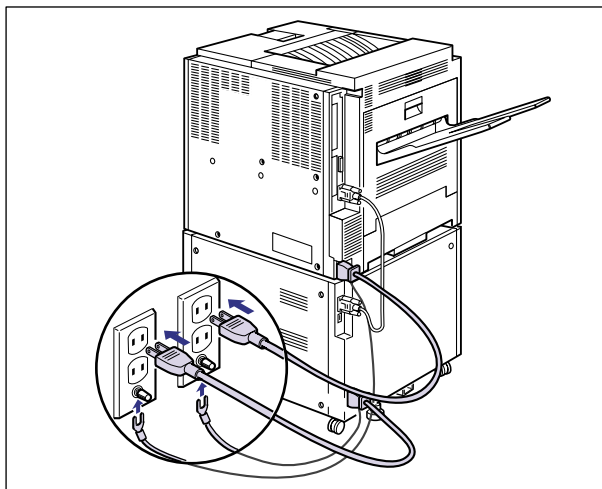
付属のコントローラケーブルでオプションコントローラボードと接続します。コントローラケーブルは、片方が 15 ピン、もう片方が 14 ピンのコネクタになっています。また、7 ビンソータなどのオプション品にも同様のコネクタがあり、同様の手順でプリンタ本体からペーパーデッキ、7 ビンソータの順で接続していきます。

注意
- コントローラケーブルを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタおよびペーパーデッキの電源プラグを電源コンセントから抜いて作業してください。感電の原因になることがあります。

1 コントローラケーブルで、ペーパーデッキとオプションコントローラボードを接続します。

重要

- コントローラケーブルの両端のコネクタ形状をよく確認し、14ピンと15ピンを間違えないように接続してください。
- ステイプルスタッカや7ビンソータを取り付ける場合は、電源コードを取り付ける前にステイプルスタッカ（→P.3-48）や7ビンソータ（→P.3-28）を取り付けてください。

電源コードを接続する

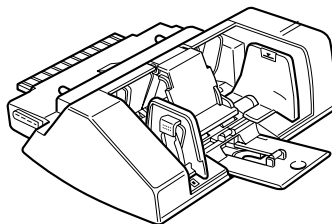
1 プリンタ本体の電源がオフになっていることを確認します。

電源スイッチが飛び出した状態がオフです。

2 プリンタ本体のすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線、ペーパーデッキの電源コード、アース線を接続します。

3 ペーパーデッキとプリンタ本体のアース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

警告 ●アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

メモ ●ペーパーデッキを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

封筒フィーダ

封筒フィーダは、給紙トレイ上部のスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ガイドシート

封筒フィーダ EF-9

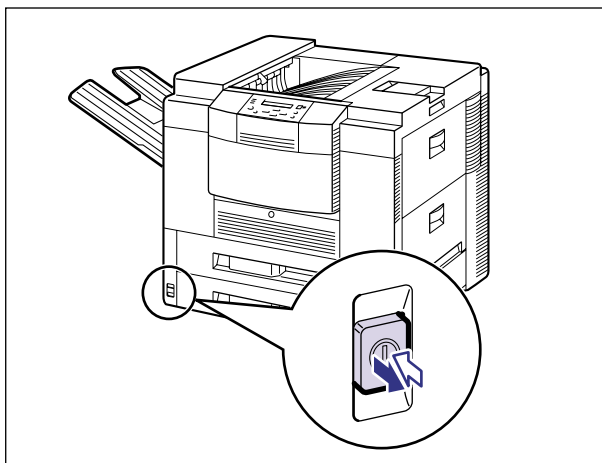
重要

- プリンタ本体の設置やほかのオプション品と同時に封筒フィーダを取り付けるときは、ほかのオプション品の取り付けがすべて終了してから、最後に封筒フィーダを取り付けてください。
- 封筒フィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてから作業を行ってください。
- 封筒フィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

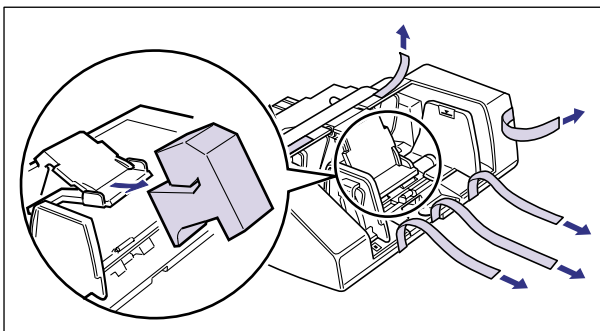
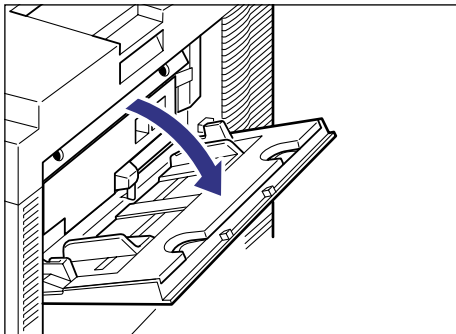
封筒フィーダを取り付ける

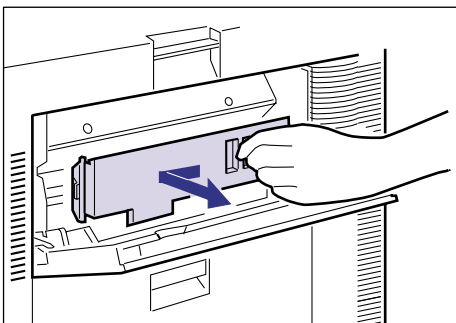
封筒フィーダは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源をオフにします。

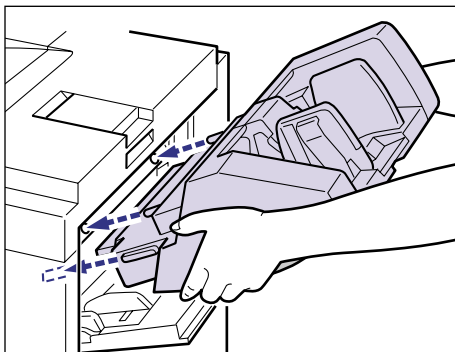
電源スイッチが飛び出した状態がオフです。

2 封筒フィーダをパッケージから取り出します。

重要
- 封筒フィーダの取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

3 テープや梱包材をすべて取り外します。

4 プリンタ右側面の給紙トレイを開けます。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーは、図のように取っ手部分を持ち、左へ寄せてから手前に引いて取り外します。

重要
- 取り外したスロットカバーは、封筒フィーダを取り外したときに必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

6 封筒フィーダを取り付けます。

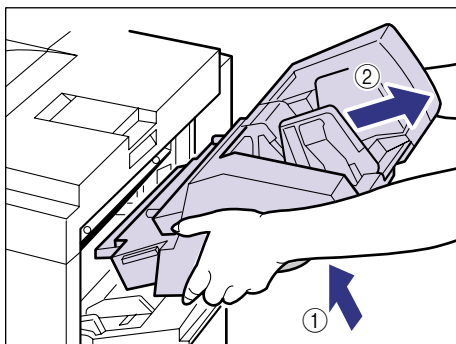
封筒フィーダは、図のように両手で持ち、突起部がプリンタ本体内部の穴に合うようにゆっくりと差し込みます。

重要 • カチッと音がするまで、しっかりと奥まで差し込んでください。十分に差し込まれていないと、封筒フィーダが正しく動作しないことがあります。

メモ • 封筒フィーダを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

封筒フィーダを取り外す

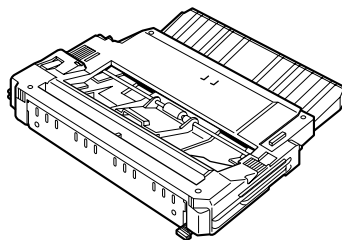
封筒フィーダは、次の手順で取り外します。

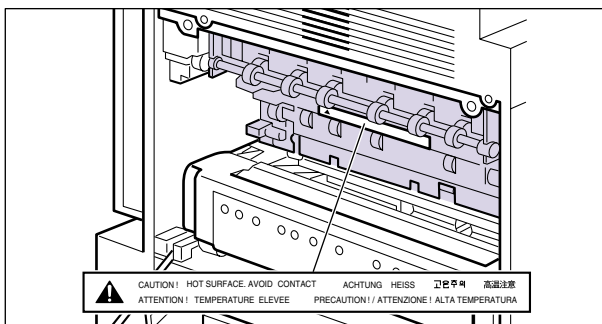
1 プリンタの電源をオフにします。

2 封筒フィーダを図のように両手で持ち、矢印 ① の方向へ少し持ち上げ、矢印 ② の方向に引き抜きます。

3 保管しておいたスロットカバーを取り付けます。

両面ユニット

両面ユニットは、プリンタ本体の左カバー内部に取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

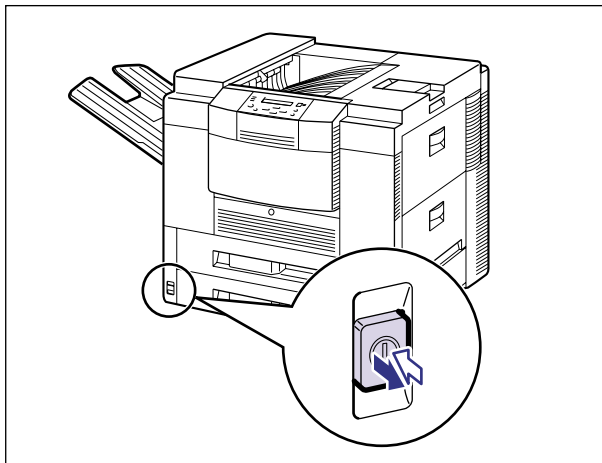
ガイドシート

両面ユニットDU-82

注意
- プリンタ本体左カバー内部の定着器や排紙部付近は、プリンタの使用中には非常に高温になっており、不用意に触るとやけどをする恐れがあります。プリンタを直前まで使用していた状態で両面ユニットの取り付け作業を行うときは、電源をオフにしてからしばらく時間をおき、完全に冷えてから作業を行ってください。

重要
- プリンタ本体の設置やペーパーデッキと同時にオプションの両面ユニットを取り付けるときは、プリンタ本体をペーパーデッキやペディスタルに設置したあとで取り付けてください。
- 両面ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてから作業を行ってください。
- 両面ユニットには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

両面ユニットを取り付ける

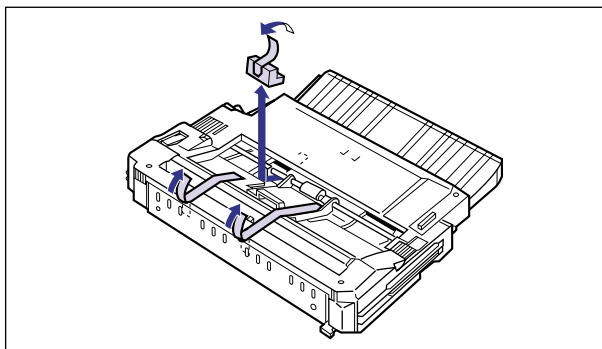
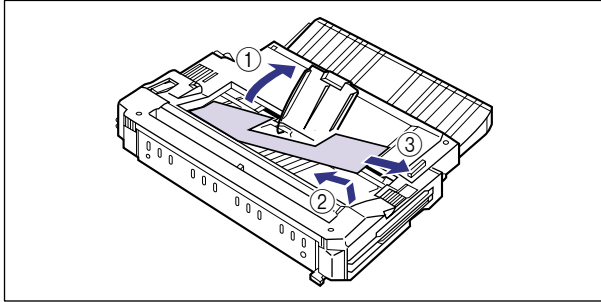
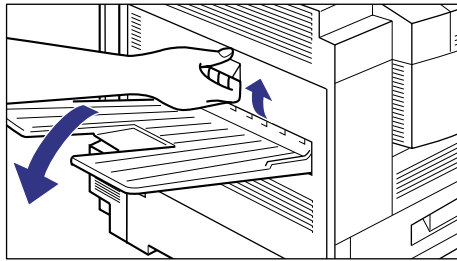
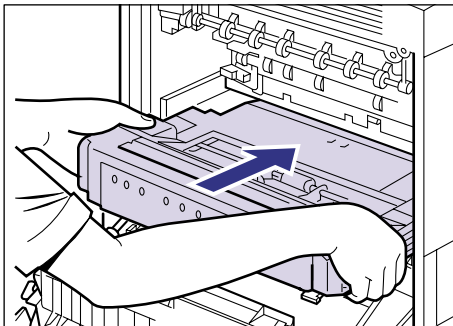
両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

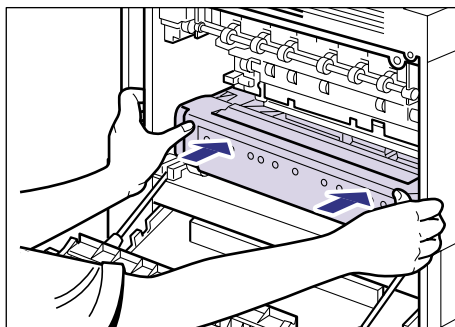
1 プリンタの電源をオフにします。

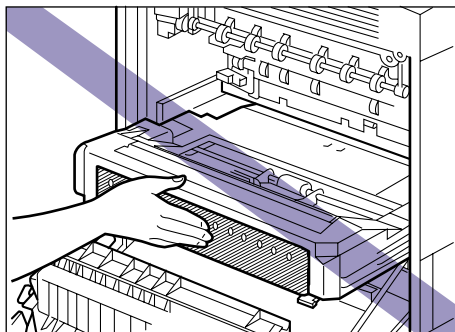
電源スイッチが飛び出した状態がオフです。

2 両面ユニットをパッケージから取り出します。

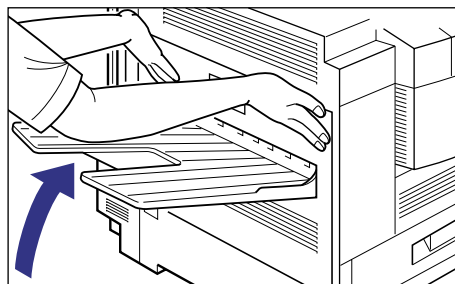
重要

- 両面ユニットの取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

3 テープや梱包材を取り外します。

4 両面ユニット内部の梱包材を図のようにして取り外します。

5 左カバーの取っ手を引いて、左カバーを開けます。

6 両面ユニットを図のように両手で持ち、両面ユニット用スロットに差し込みます。

メモ
- 作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外してください。

7 両面ユニットを途中まで差し込んだら、図のように両面ユニットを親指で押し、カチッと音がしてロックするまで押し込みます。

重要

- 両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因になります。

8 左カバーを閉めます。

カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉めます。

メモ

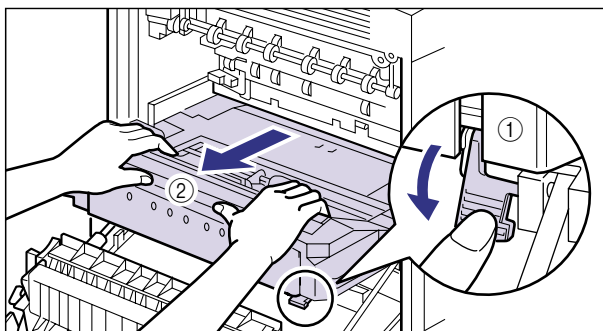
- サブ排紙トレイを取り外して作業を行った場合は、サブ排紙トレイを取り付けます。
- 両面ユニットを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

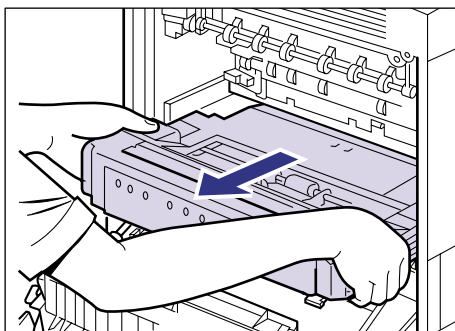
両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1 プリンタの電源をオフにします。

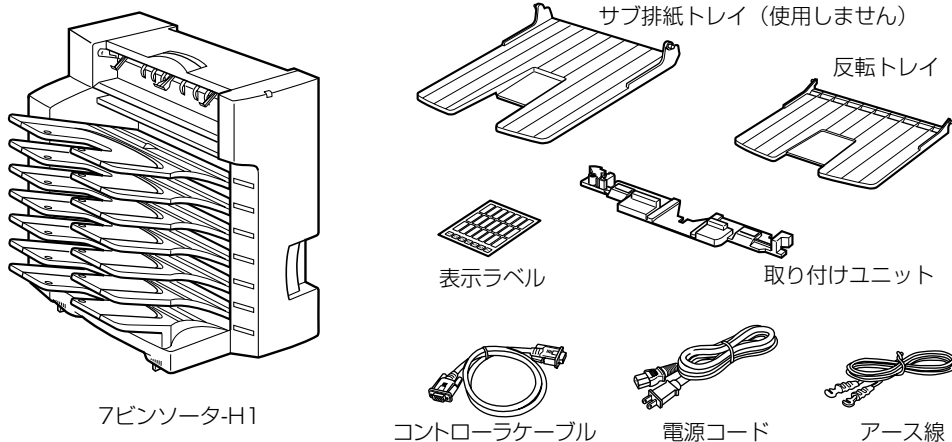
2 左カバーの取っ手を引いて、左カバーを開けます。

3 両面ユニット右下のロック解除レバーを押し下げ ①、図のように両面ユニットを両手でゆっくりと途中まで引き出します ②。

メモ
- 作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外してください。

4 図のように両面ユニットの側面を両手で持って引き抜きます。

注意
- 両面ユニットは、途中まで引き出したら両面ユニットの側面に持ち変えて引き抜いてください。両面ユニットを落として、けがの原因になることがあります。

- 両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因になります。

7 ビンソータ

7 ビンソータは、プリンタ本体の左側面に取り付けます。
取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

警告
- **7 ビンソータを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。**

重要
- 紙づまり処理などで 7 ビンソータをプリンタから引き離すことがあります。必ず 7 ビンソータとプリンタ本体は、水平で 7 ビンソータを引き離せるスペースのある場所に設置してください。
- 7 ビンソータを使用するには、プリンタ本体とは別に電源コンセントが必要です。
- 7 ビンソータを使用するには、オプションコントローラボードが必要です。あらかじめオプションコントローラボード（→ P.3-66）を取り付けてください。
- 7 ビンソータと以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - ・2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L
  - ・本プリンタ専用ペディスタル（キャスタタイプ）
  - ・本プリンタ専用ペディスタル（ボックスタイプ）

メモ
- ソータに付属のサブ排紙トレイは、本プリンタでは使用しません。

7 ビンソータを取り付ける

7 ビンソータの梱包材の取り外しから電源コードの接続までを説明しています。

梱包材を取り外す

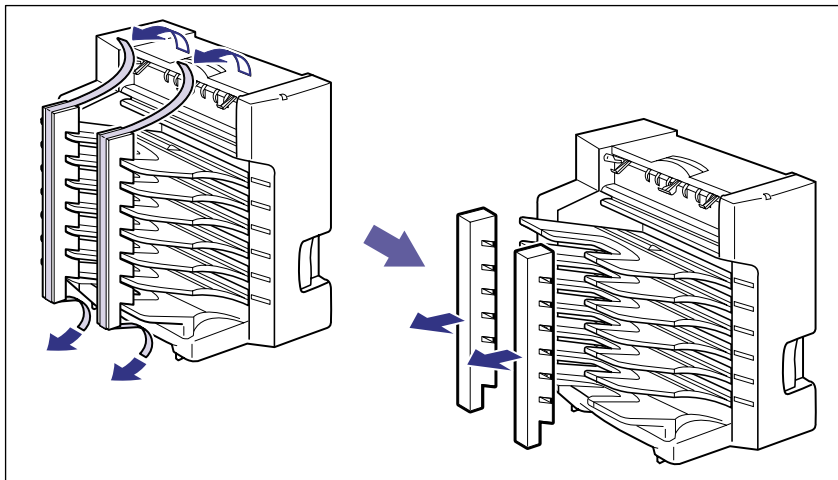
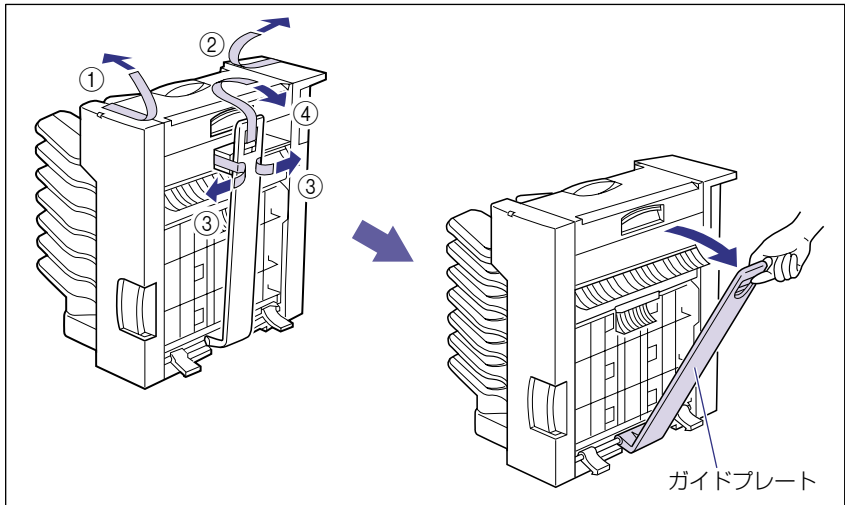
7ビンソータをプリンタに取り付ける前に、7ビンソータに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

重要
- 7ビンソータには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

1 **7ビンソータと付属部品をパッケージから取り出し、7ビンソータを立てて置きます。**

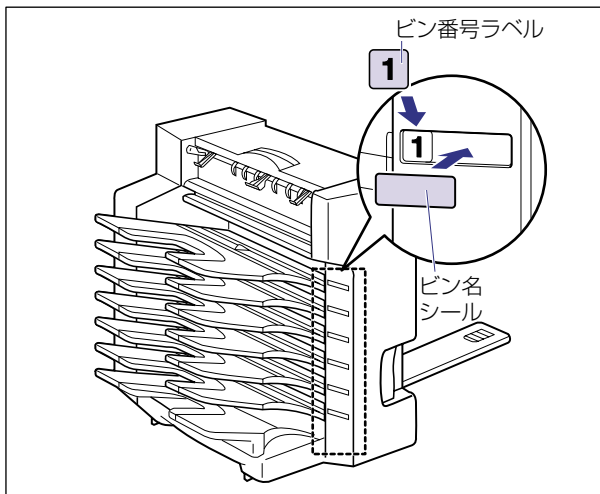
7ビンソータは、プリンタ左側の少し離れた場所に立てて置いてください。

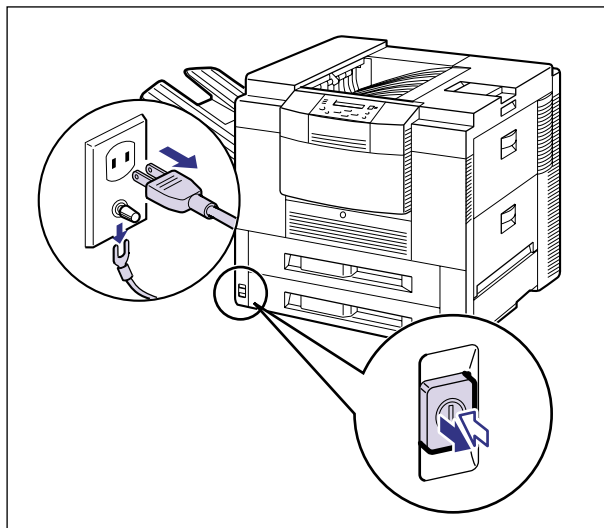
重要
- 7ビンソータと付属部品の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2 **テープを取り外し、ビンを止めている梱包材を取り外します。**

3 7 ビンソータの各部を止めているテープおよび梱包材を番号順に取り外し、ガイドプレートをゆっくりと床に倒します。

重要

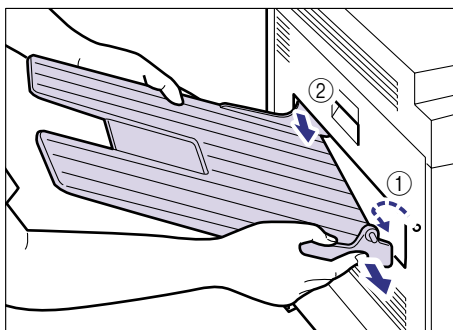
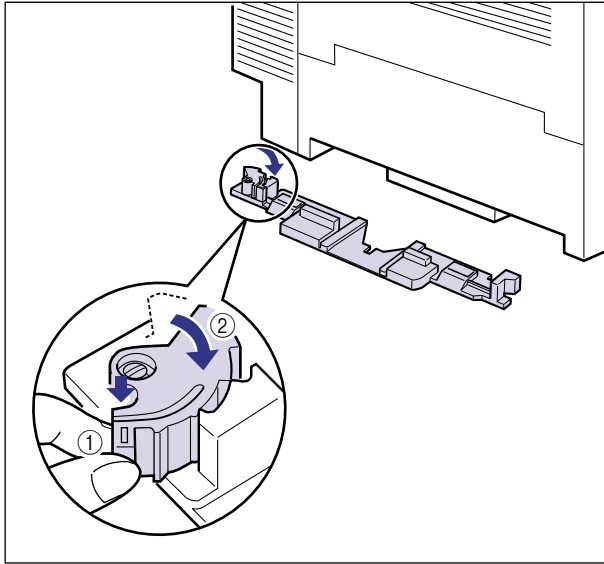
- ③、④ のテープを取り外すときは、ガイドプレートが倒れないように押さえながら取り外してください。
- 7 ビンソータを移動するときは、必ず取り外した梱包材でガイドプレートを固定して運搬してください。

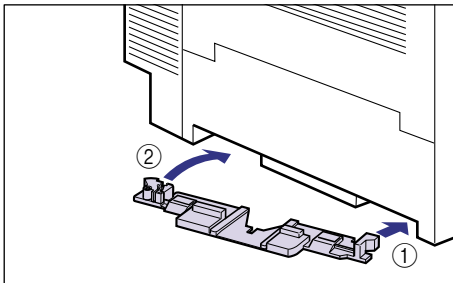
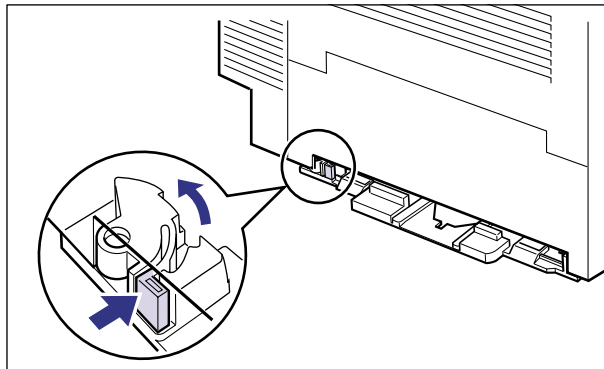
4 ビン番号ラベルとビン名シールを 7 ビンソータの側面に貼り付けます。

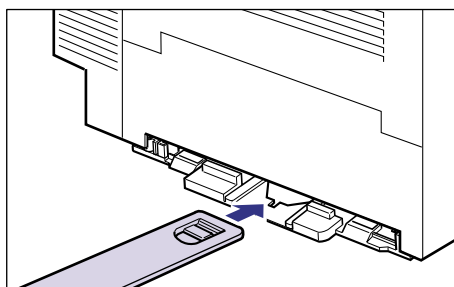
ビン番号ラベルは、一番上のビンから順に 1 ～ 7 のラベルを貼ります。ビン名シールは、使いかたに合わせて、区分を書き込みます。

7 ビンソータを取り付ける

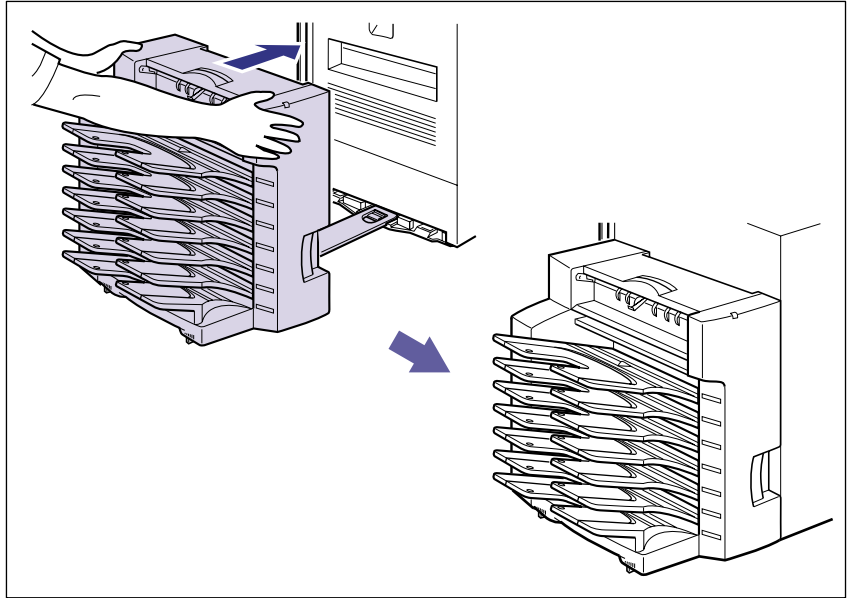
1 **プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **サブ排紙トレイをプリンタから取り外します。**

サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

4 付属の取り付けユニットを図のように置き、ツマミを握りながら ①、ロックレバーを矢印の方向へ回します ②。

5 取り付けユニットを番号順にプリンタ左側の運搬用取っ手部に取り付けます。

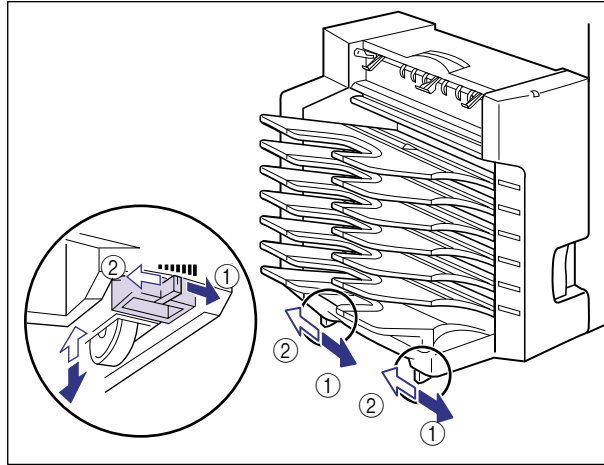
取り付けユニットは、奥までしっかりと差し込みます。

6 ロックレバーをロックするまで回し、取り付けユニットを固定します。

7 7ビンソータをプリンタの横に並行に置いて、ガイドプレートを取り付けユニットに差し込みます。

ガイドプレートがプリンタの側面に対して垂直になるように 7 ビンソータの位置や向きを調整してから、ガイドプレートを差し込みます。

8 7ビンソータをゆっくりと押して、プリンタに取り付けます。

7ビンソータは、プリンタの側面に接触するまで寄せます。

重要
- 7ビンソータがプリンタの側面と接触しない場合は、7ビンソータがプリンタの側面に対して垂直に置かれているか確認してから、取り付けなおしてください。

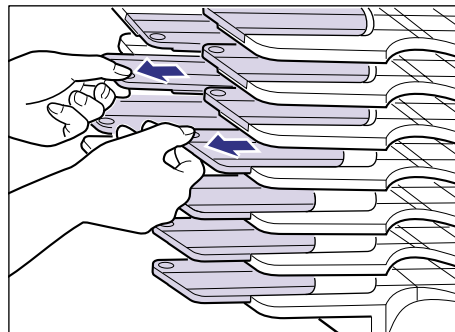
9 傾き調整レバーで7ビンソータとプリンタのすき間を調整します。

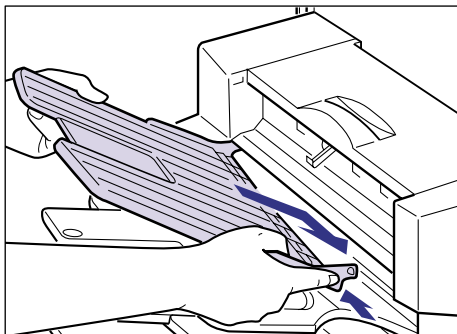
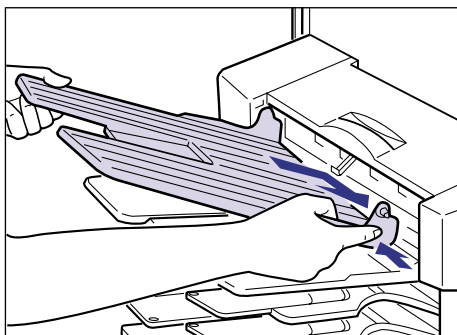
7ビンソータとプリンタ側面の上側にすき間ができる場合は、傾き調整レバーを両側共に①の方向へ押して、すき間がなくなるように調整します。

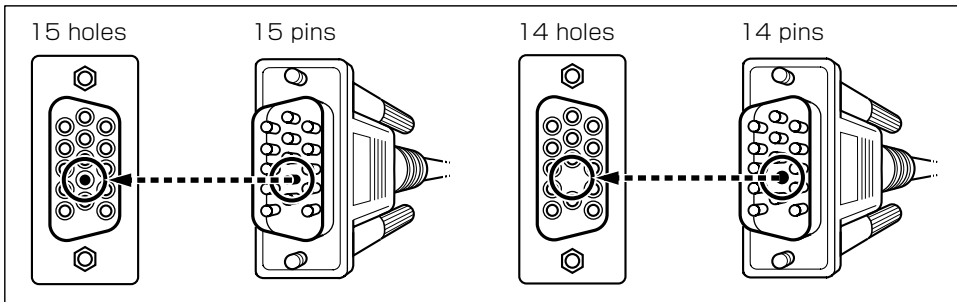
7 ビンソータとプリンタ側面の下側にすき間ができる場合は、傾き調整レバーを両側共に②の方向へ押して、すき間がなくなるように調整します。

重要

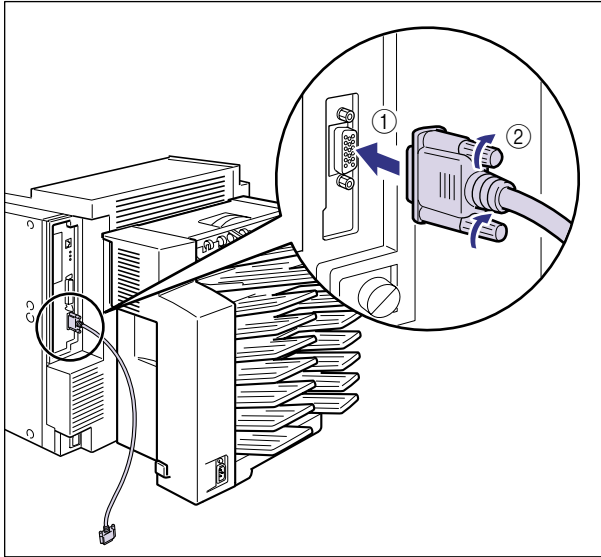
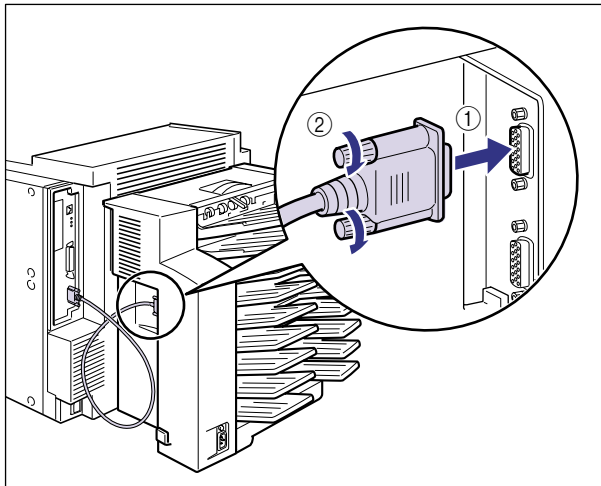
- どうしても調整できない場合は、設置場所が水平な場所かを確認し、水平でない場合は設置場所を変えてください。
- 傾き調整レバーが動かしにくいときは、7 ビンソータを少し持ち上げながら動かしてください。

10 ビンの延長トレイを図のように両手で持ち、下のビンから順に引き出します。

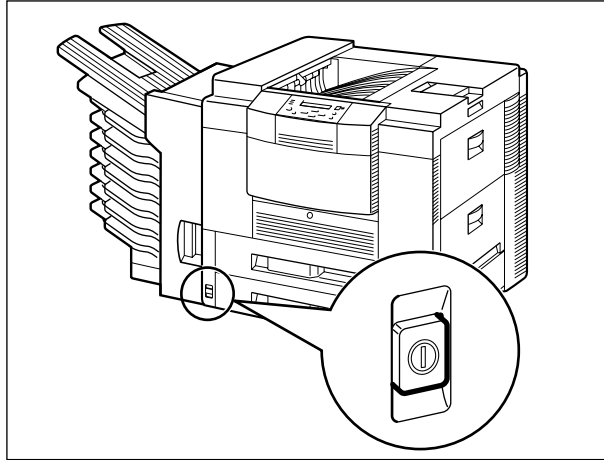
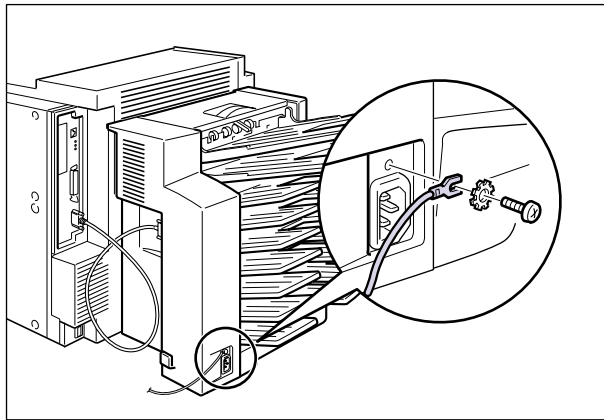
3

オプション品の取り付け

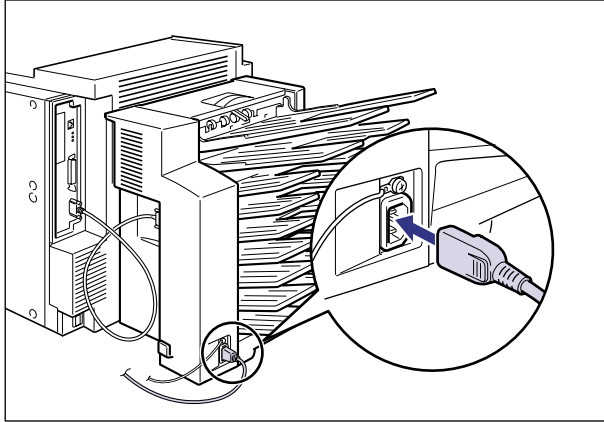
11 付属の反転トレイを図のように側面を押しながら取り付けます。

12 手順 3 で取り外したサブ排紙トレイを図のように側面を押しながら取り付けます。

コントローラケーブルを接続する

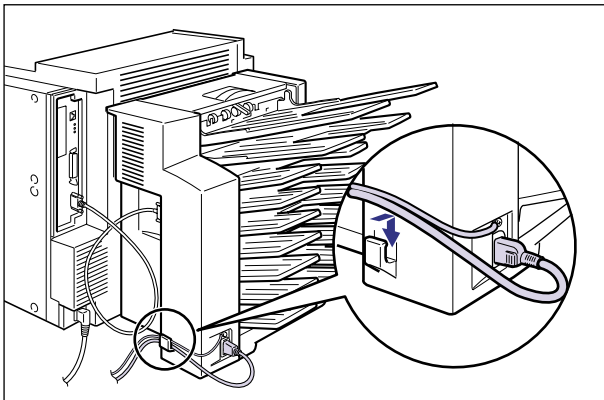
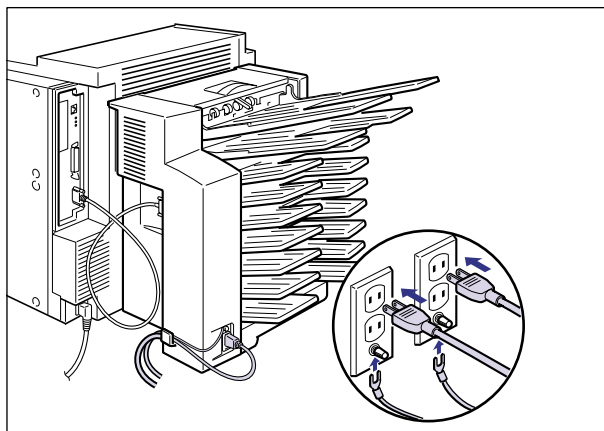
付属のコントローラケーブルでオプションコントローラボードと接続します。コントローラケーブルは、片方が 15 ピン、もう片方が 14 ピンのコネクタになっています。また、2000 枚ペーパーデッキや 2 × 500 枚ペーパーデッキなどのオプション品にも同様のコネクタがあり、同様の手順でプリンタ本体からペーパーデッキ、7 ビンソータの順で接続していきます。

⚠注意
- コントローラケーブルを接続するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタの電源プラグを電源コンセントから抜いて作業してください。また、オプションのペーパーデッキを取り付けているときは、ペーパーデッキの電源プラグも電源コンセントから抜いてください。感電の原因になることがあります。

1 コントローラケーブルの 14 ピン側コネクタをプリンタ本体のオプションコントローラボードの 14 ピンコネクタへ差しこみ ①、両側のネジを締めて固定します ②。

2 コントローラケーブルの15ピン側コネクタを7ビンソータの15ピンコネクタ（上側）へ差し込み ①、両側のネジを締めて固定します ②。

電源コードを接続する

1 **プリンタの電源がオフになっていることを確認します。**

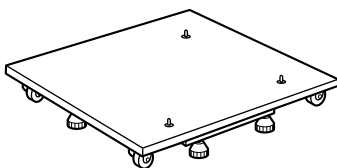
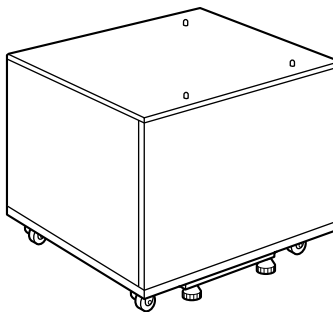
電源スイッチは、飛び出した状態がオフです。

2 **7 ビンソータのアース線を接続します。**

重要 • アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 7ビンソータの電源コードを接続します。

4 プリンタ本体にすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

5 7ビンソータの電源コードとアース線をコードホルダに通します。

6 7ビンソータとプリンタ本体のアース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

警告
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

メモ
- 7 ビンソータを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

ペディスタル

ペディスタルは、プリンタ本体の底面に取り付けます。ペディスタルには、ボックスタイプとキャスタタイプがあります。設置の手順は同じです。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

キャスタタイプ

ボックスタイプ

警告 • ペディスタル取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

ペディスタルを取り付ける

ペディスタルは、次の手順で取り付けます。

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペディスタルを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 • プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

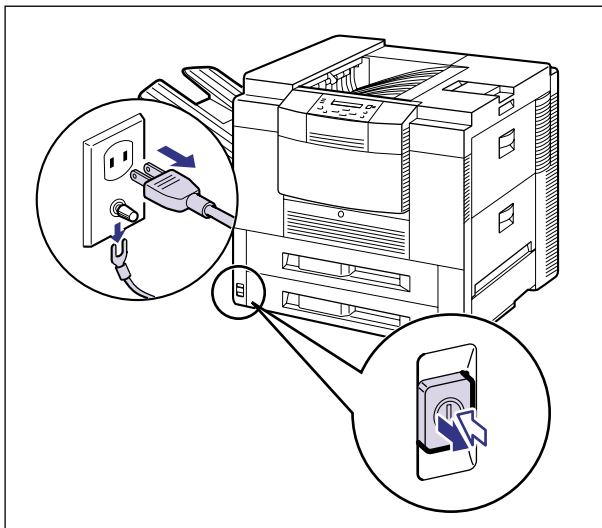
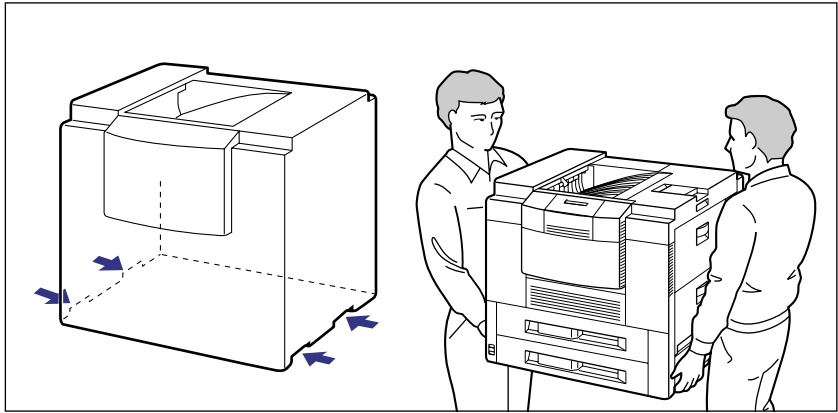
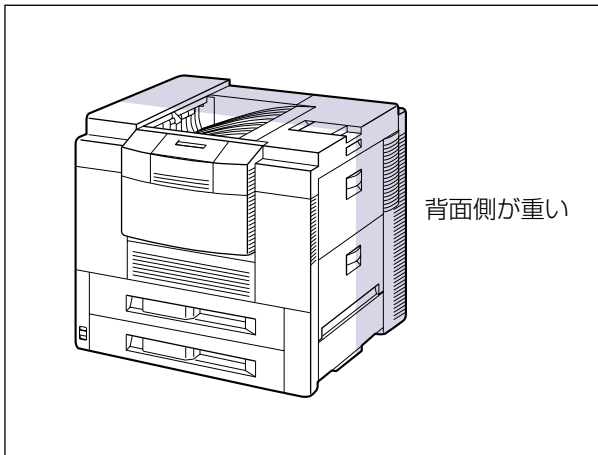
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 サブ排紙トレイを取り付けている場合は、サブ排紙トレイを取り外します。

サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

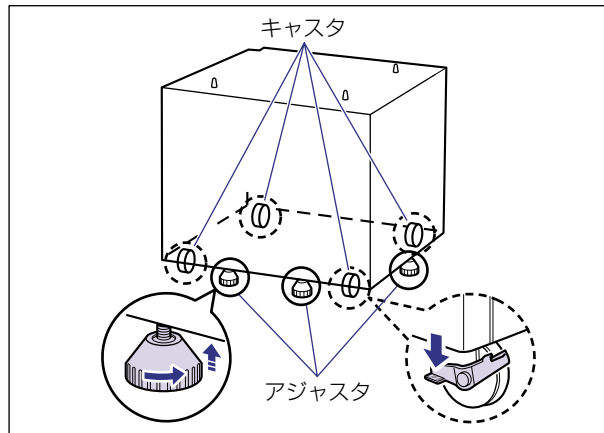
プリンタ本体下部にある 4 箇所の運搬用取っ手に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて設置場所から移動します。

注意

- 本プリンタは、約 55.4kg（本体：約 52kg / トナーカートリッジ：約 3.4kg）あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対にカセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

ペディスタルを取り付ける

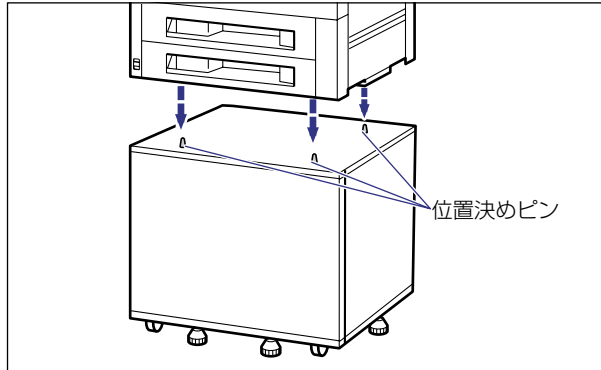
1 ペディスタルをパッケージから取り出します。

重要
- ペディスタルの取り出し作業は、ボックスタイプ、キャスタタイプともに周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

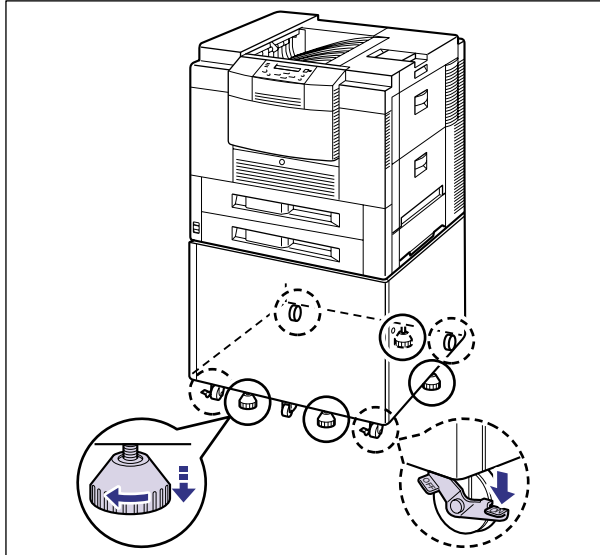
2 アジャスタが床に触れないように縮めてから、キャスタのロックを解除します。

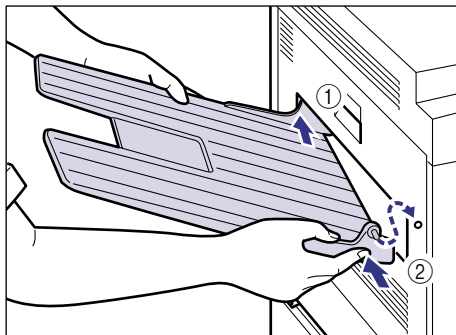
キャスタのロックは、レバーの OFF 側を押すと解除されます。

3 ペディスタルを設置場所へ運びます。

重要
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

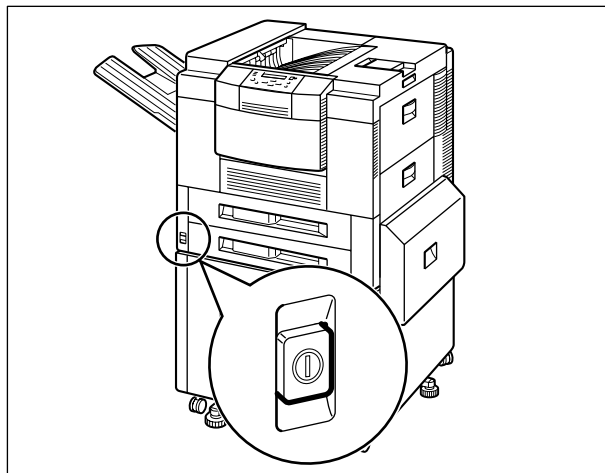
4 ペディスタルの位置決めピンとプリンタ本体底面の穴を合わせ、ゆっくりとプリンタ本体をペディスタルの上に載せます。

⚠注意 • プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

5 キャスタをロックしてアジャスタをセットします。

キャスタは、レバーの ON 側を押すとロックされます。アジャスタは、矢印の方向へ回すと下がります。4 つのアジャスタが均等に床に着くまで下ろし、しっかりと固定します。

6 サブ排紙トレイを取り付けます。

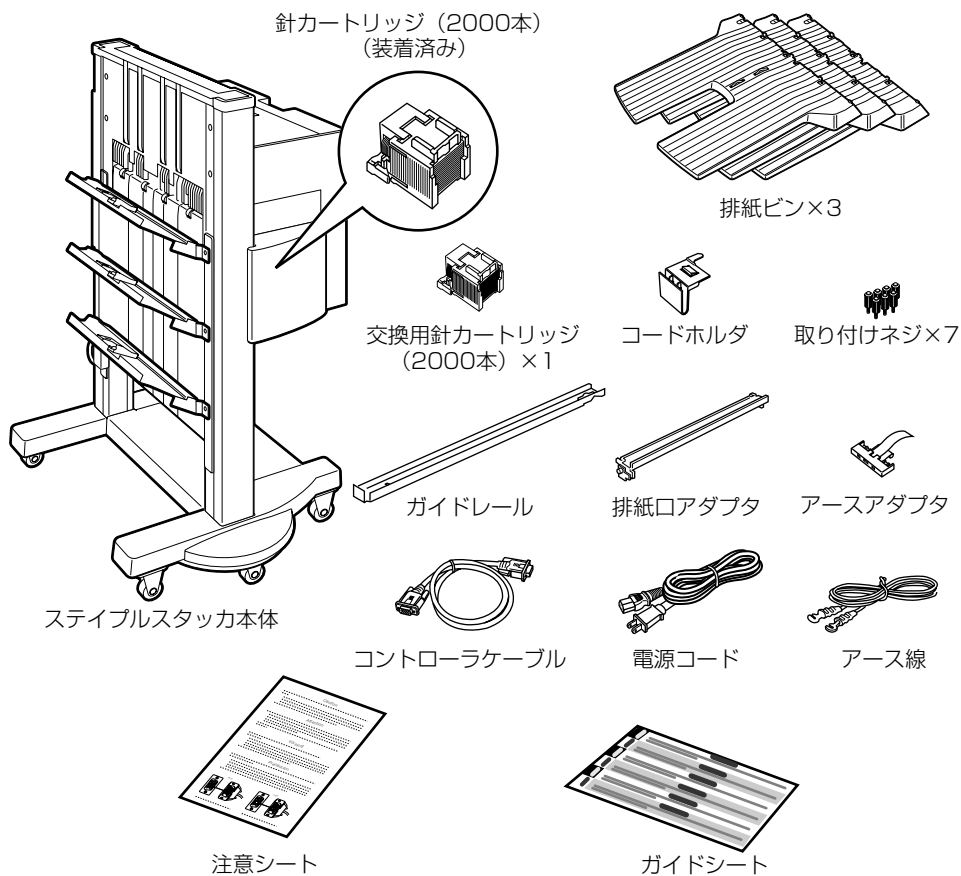
サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

電源コードを接続する

1 プリンタ本体の電源がオフになっていることを確認します。

電源スイッチは、飛び出した状態になっています。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

3 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ステイプルスタッカ

ステイプルスタッカは、プリンタの左側面に取り付けます。ステイプルスタッカは、2000枚ペーパーデッキ -N1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、ペディスタル（ボックスタイプ）のいずれかを取り付けている場合に使用することができます。
取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠警告 • ステイプルスタッカを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 紙づまり処理などでステイプルスタッカをプリンタから引き離すことがあります。必ずステイプルスタッカとプリンタ本体は、水平でステイプルスタッカを引き離せるスペースのある場所に設置してください。
- ステイプルスタッカを使用するには、 プリンタ本体とは別に電源コンセントが必要です。
- ステイプルスタッカを使用するには、ペーパーデッキまたはペディスタル（ボックスタイプ）が必要です。あらかじめペディスタル（→ P.3-42）またはペーパーデッキ（→ P.3-5）を取り付けてください。
- ステイプルスタッカを使用するには、オプションコントローラボードが必要です。あらかじめオプションコントローラボード（→ P.3-66）を取り付けてください。
- ステイプルスタッカと以下のオプション品を組み合わせて使用することはできません。
  - · 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L
  - · 本プリンタ専用ペディスタル（キャスタタイプ）

ステイプルスタッカを取り付ける

ステイプルスタッカの梱包材の取り外しから電源コードの接続までを説明しています。

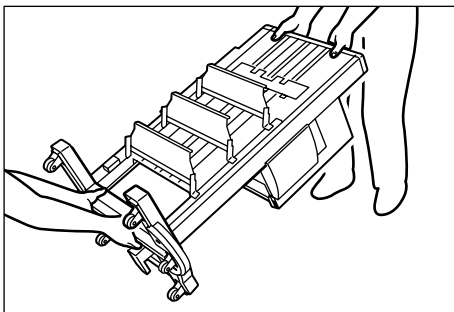
梱包材を取り外す

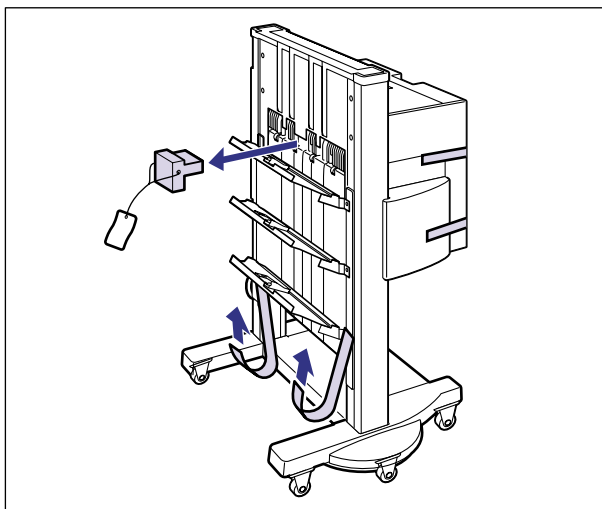
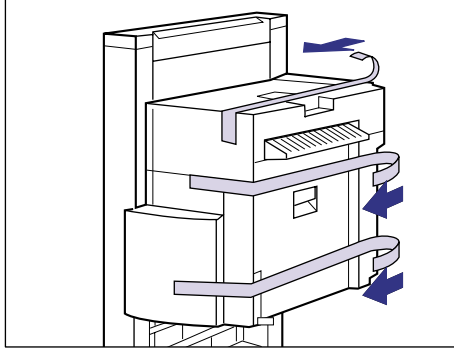
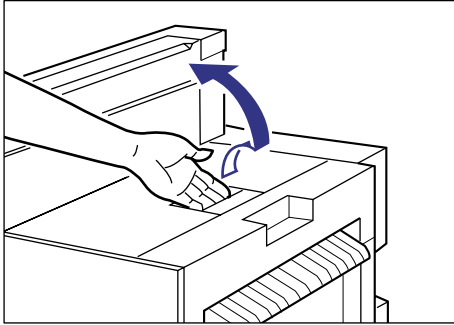
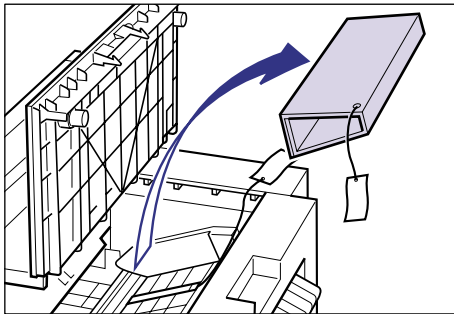
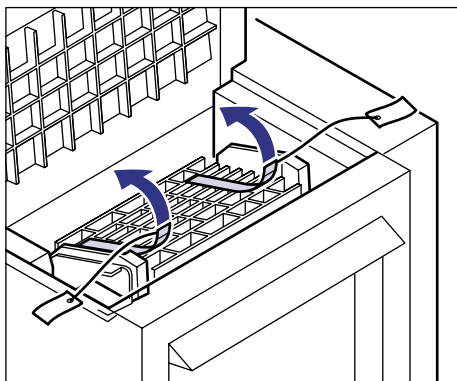
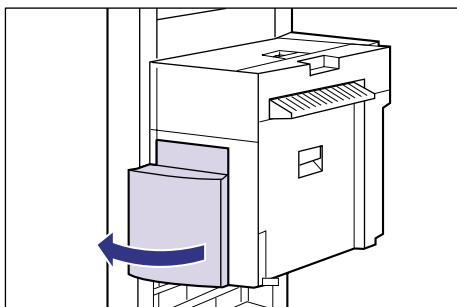
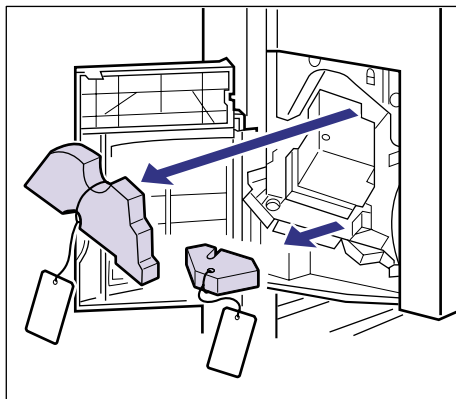
ステイプルスタッカをプリンタに取り付ける前に、ステイプルスタッカに取り付けられているテープや梱包材を取り外します。

- ステイプルスタッカにはキャスタが付いていますが、直線的にしか動きません。移動するときは気を付けてください。
- ステイプルスタッカには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず手順にしたがってテープや梱包材を残さずに取り外してください。 印字不良や故障の原因になります。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

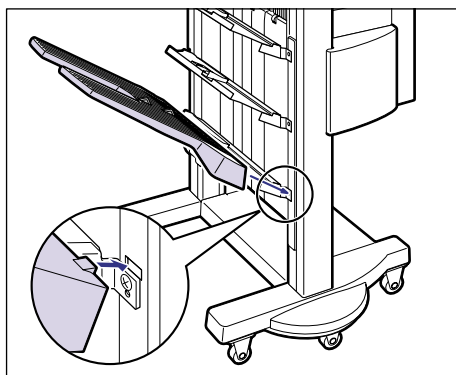
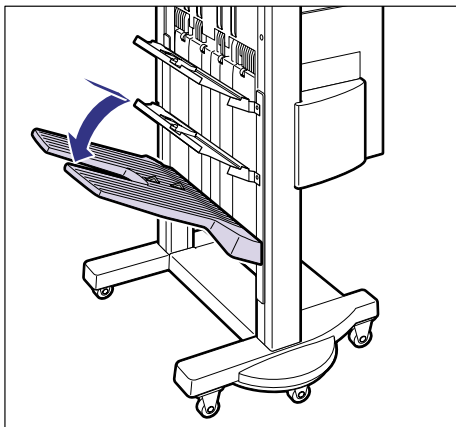
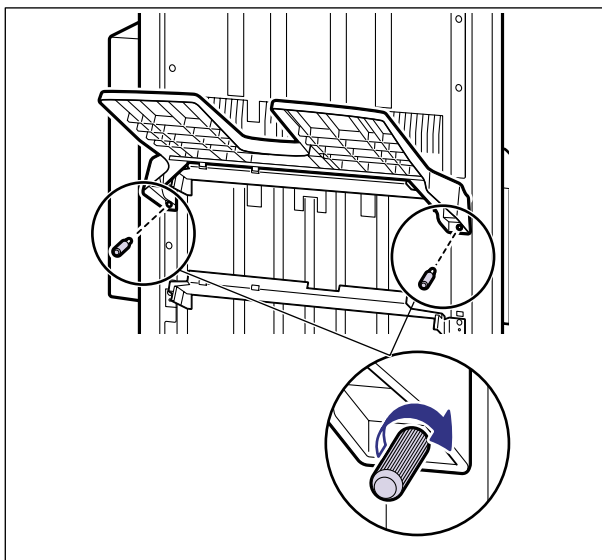
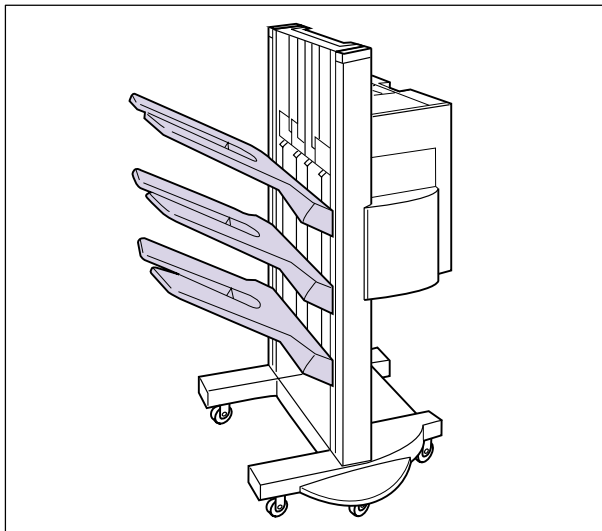
ステイプルスタッカとアクセサリボックスをパッケージから取り出します。

- ステイプルスタッカ、アクセサリボックスの取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で必ず 2 人以上で行ってください。

2 ステイプルスタッカを２人以上で持ち上げて、立てて置きます。

注意 • ステイプルスタッカにはキャスタが付いているので転がりやすくなっています。作業は必ず２人以上で行い、落としたり、腰などを痛めないように注意してください。特に段差を移動する際は、十分に注意して移動してください。

3 排紙ビン側のテープや梱包材を取り外します。

4 各カバーを止めているテープを取り外します。

5 ステイプルスタッカ上カバーを開けます。

6 ステイプルスタッカ上カバー内部の梱包材を取り外します。

7 ステイプルスタッカ上カバー内部のテープを取り外し、ステイプルスタッカ上カバーを閉めます。

8 ステイプルスタッカ前カバーを開けます。

9 ステイプルスタッカ前カバー内部の梱包材を取り外し、ステイプルスタッカ前カバーを閉めます。

排紙ビンを取り付ける

3 枚の排紙ビンをステイプルスタッカに取り付けます。排紙ビンは、下段、中段、上段の順で取り付けます。

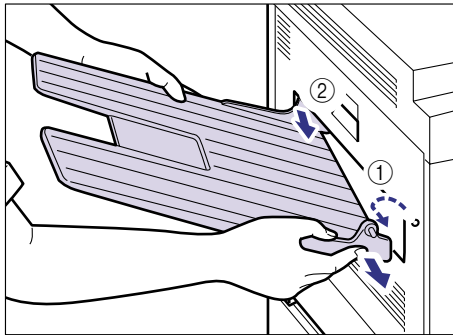
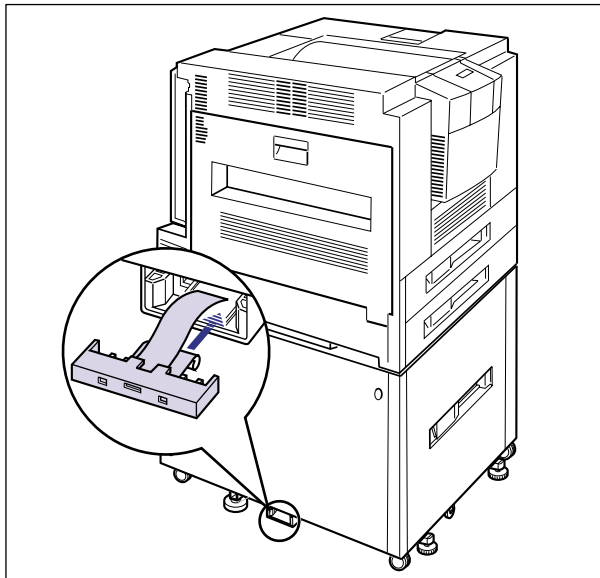
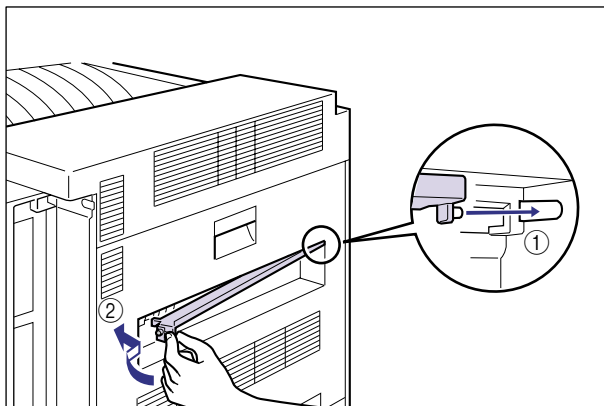
1 図のように排紙ビンの突起を横フレームの穴に差し込み、下ろします。

排紙ビン両端の突起が横フレームの穴にはまり、横フレームとすき間なく合います。

2 排紙ビン両端の下側を付属の取り付けネジで固定します。

3 同様に他の排紙ビンも取り付けます。

プリンタに部品を取り付ける

プリンタに、アースアダプタ、排紙口アダプタ、コードホルダを取り付けます。

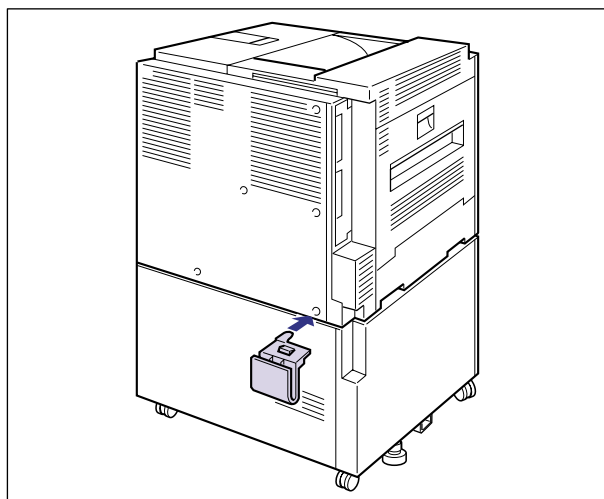
1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 サブ排紙トレイを取り付けている場合は、サブ排紙トレイを取り外します。

サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

4 アースアダプタをペーパーデッキまたはペディスタルのガイドレール接続部へ、奥までしっかりと差し込みます。

5 図のように排紙口アダプタをプリンタ本体の排紙口前側の取り付け穴に合わせて差し込み ①、反対側の突起部を図の部分をつまみながら、後側の穴へ押し込みます ②。

突起が入ると、パチッと音がします。

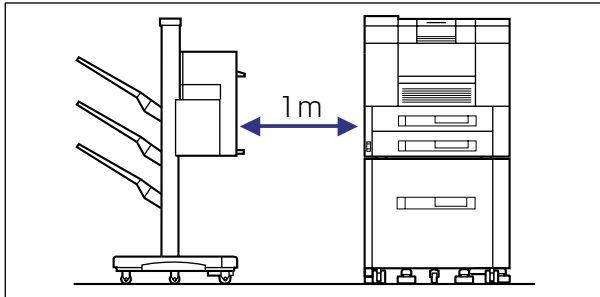
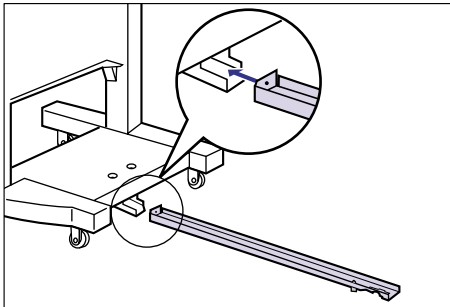
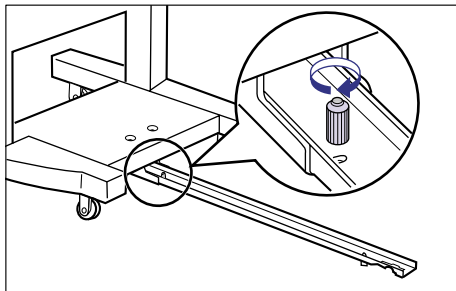
重要
- 排紙口アダプタはしっかりと奥まで押し込んでください。排紙口アダプタが正しく取り付けられていないと、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

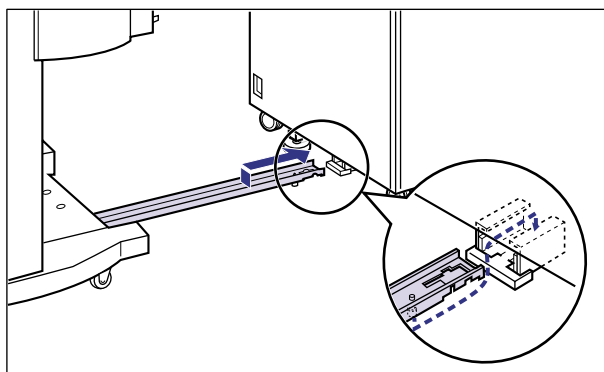
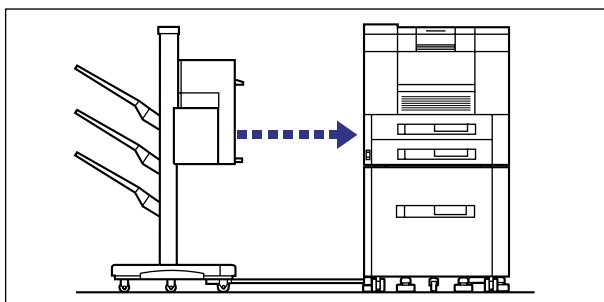
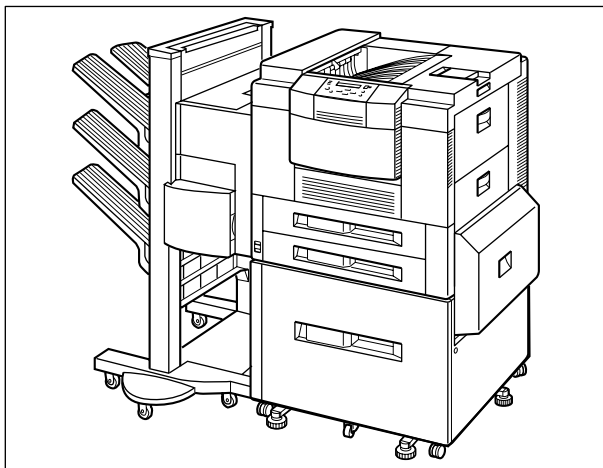
6 コードホルダを図のように背面のプリンタ本体とペーパーデッキまたはペディスタルの間に差し込みます。

ガイドレールを取り付ける

ガイドレールは、ステイプルスタッカとプリンタをまっすぐ接続するためのガイドです。紙づまりが起こったときなどに、ガイドレールに沿ってステイプルスタッカを引き離します。

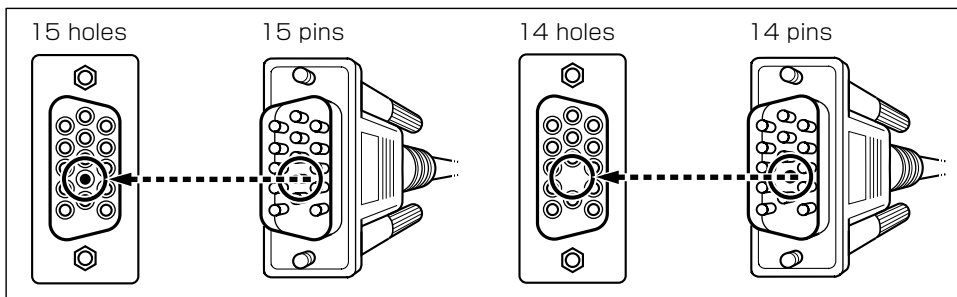
重要

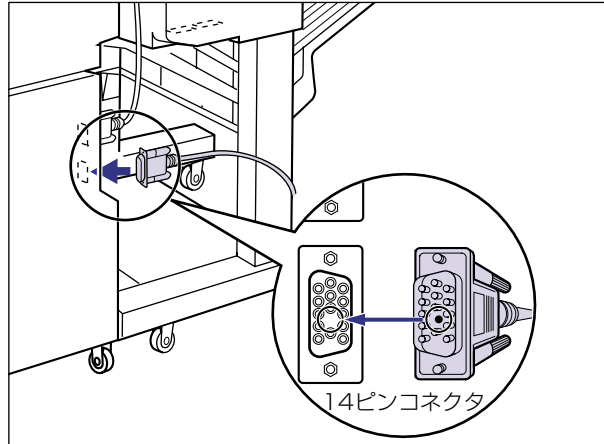
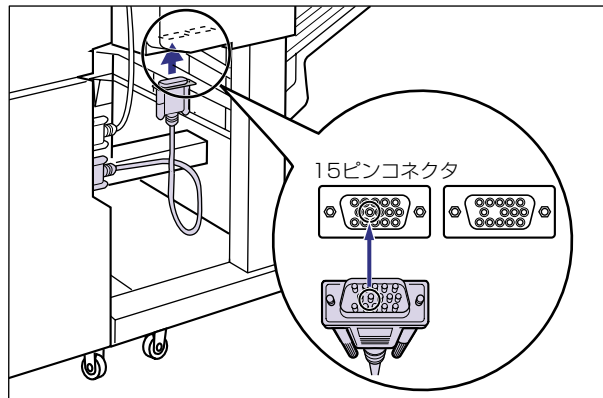
- ガイドレールは必ず取り付けてください。ガイドレールが取り付けられていないと、紙づまりや用紙搬送不良の原因になります。
- プリンタとステイプルスタッカは、高低差のない水平な床面へ設置してください。高低差や段差があると、用紙搬送不良の原因になります。

1 ステイプルスタッカをプリンタの左約 1 m の位置に置きます。

2 図のようにガイドレールをステイプルスタッカのアダプタ部に差し込みます。

3 ガイドレールを付属の取り付けネジで固定します。

ステイプルスタッカを取り付ける

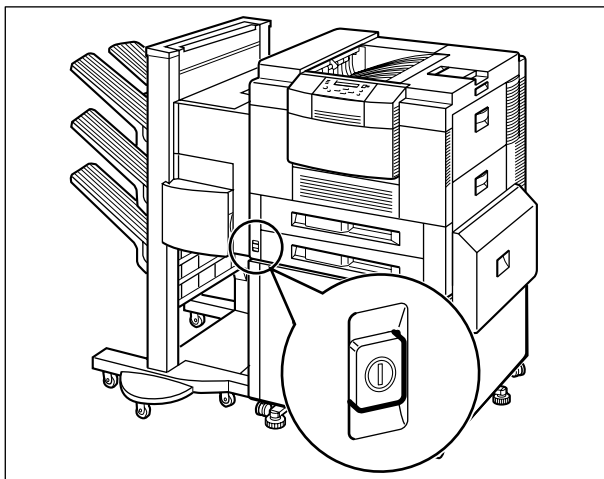
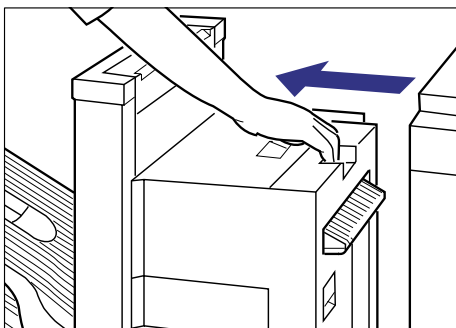
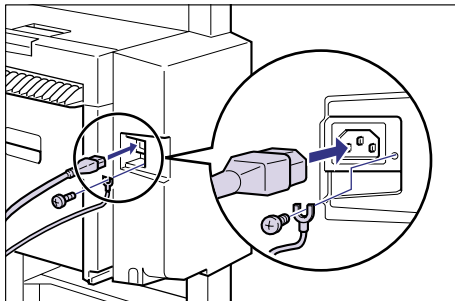
1 ガイドレールのプリンタ側をペーパーデッキまたはペディスタルのアダプタ部へ差し込みます。

2 ステイプルスタッカをガイドレールに沿ってゆっくりと押して、プリンタに取り付けます。

正しく取り付けられると、両側のピンがはまり、ステイプルスタッカとプリンタのすき間はなくなります。

重要
- 手前または奥側にすき間があるときは、ステイプルスタッカの位置をなおして、取り付けなおしてください。

コントローラケーブルを接続する

付属のコントローラケーブルでオプションコントローラボードと接続します。コントローラケーブルは、片方が 15 ピン、もう片方が 14 ピンのコネクタになっています。また、2000 枚ペーパーデッキや 2 × 500 枚ペーパーデッキなどのオプション品にも同様のコネクタがあり、同様の手順でプリンタ本体からペーパーデッキ、ステイプルスタッカの順で接続していきます。

注意
- コントローラケーブルを接続するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタおよびペーパーデッキの電源プラグを電源コンセントから抜いて作業してください。感電の原因になることがあります。

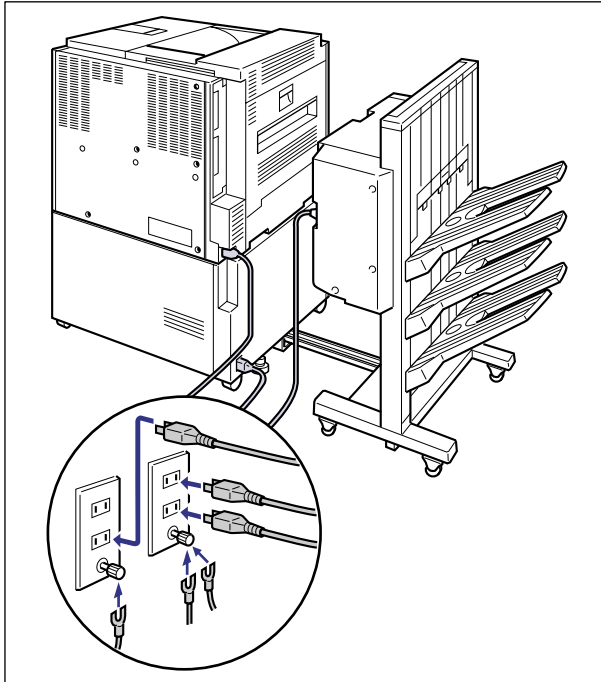
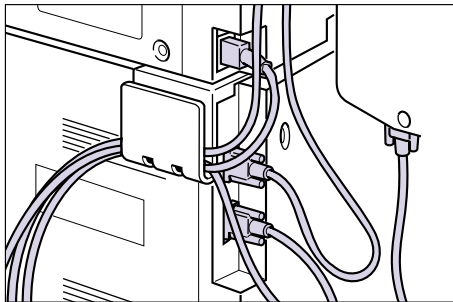
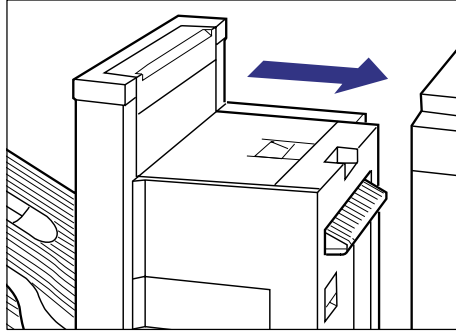
1 コントローラケーブルの 14 ピン側コネクタをペーパーデッキまたはプリンタ本体のオプションコントローラボードの 14 ピンコネクタへ差し込み、両側のネジを締めて固定します。

2 コントローラケーブルの15ピン側コネクタをステイプルスタッカの15ピンコネクタへ差し込み、両側のネジを締めて固定します。

電源コードを接続する

1 プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

電源スイッチが飛び出した状態がオフです。

2 ステイプルスタッカをプリンタから引き離します。

3 電源コードとアース線をステイプルスタッカへ接続します。

重要
- アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

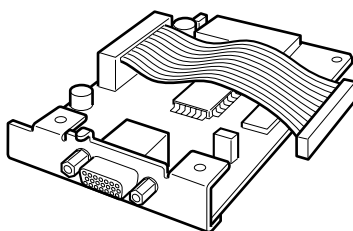
4 プリンタ本体およびペーパーデッキに、すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

5 **ステイプルスタッカ、ペーパーデッキ、プリンタ本体のアース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

ステイプルスタッカ可動範囲で電源コードやアース線が引っ張られることのないように、余裕を取ります。

6 **ステイプルスタッカ、ペーパーデッキ、プリンタ本体の電源コード、アース線、コントローラケーブルを束ね、コードホルダに通します。**

7 ステイプルスタッカをゆっくりと押して、プリンタに取り付けます。

メモ

- ステイプルスタッカを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

オプションコントローラボード

オプションコントローラボードは、7ビンソータやペーパーデッキを接続する場合に必要なコントローラボードです。メインボードのオプションコントローラスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

オプションコントローラボード PH-72

ガイドシート

ボード用固定ネジ（2本）

注意

- オプションコントローラボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。
- メインボードやオプションコントローラボードの取り扱いには注意してください。メインボードやオプションコントローラボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- メインボードやオプションコントローラボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ･一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ･作業中にディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ･メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ･取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。
  - ･静電気の影響を避けるために、オプションコントローラボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。

オプションコントローラボードを取り付ける

オプションコントローラボードは、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付け、7ビンソータなどのオプション品と接続します。オプションコントローラボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

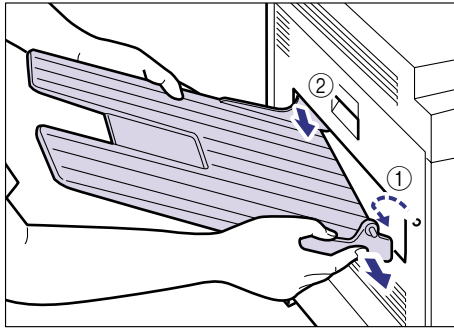
3 **作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。**

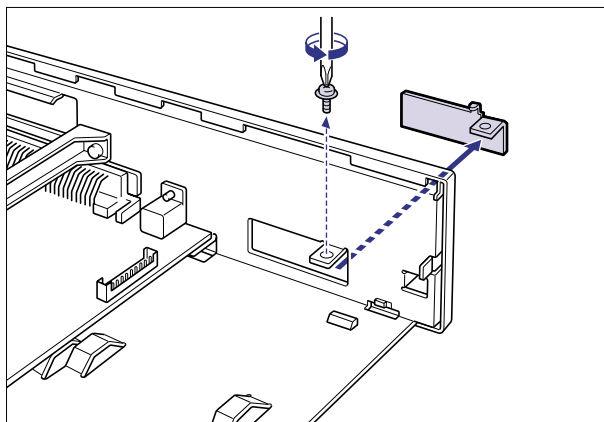
サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

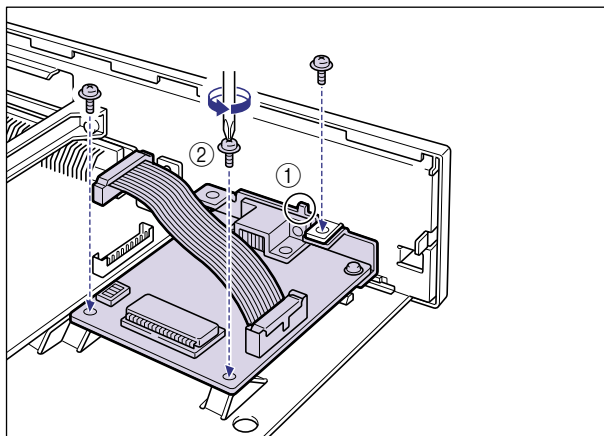
4 メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

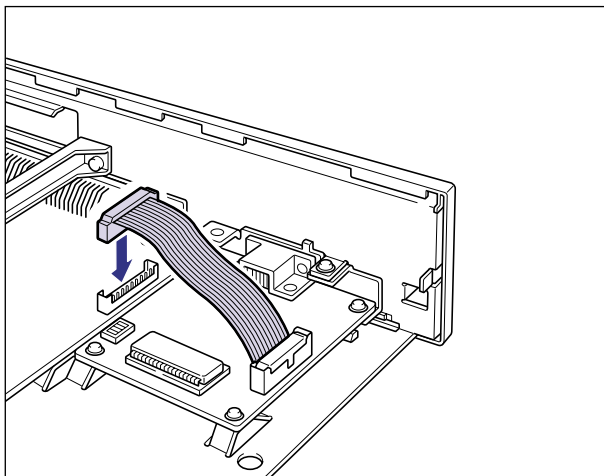
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

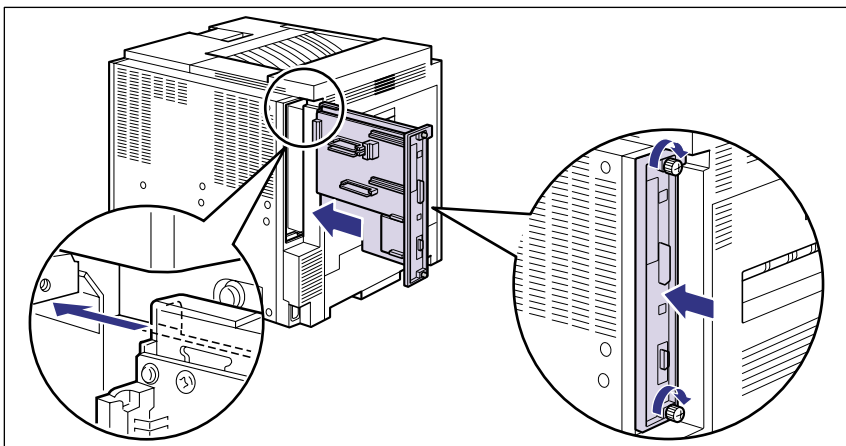
5 保護板の固定ネジを取り外し、メインボードのパネルから保護板を取り外します。

重要 ●取り外した保護板は、オプションコントローラボードを取り外したときに必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

6 オプションコントローラボードをメインボードに取り付け、3 本のネジ（付属のネジ 2 本と手順 5 で外したネジ 1 本）で固定します。

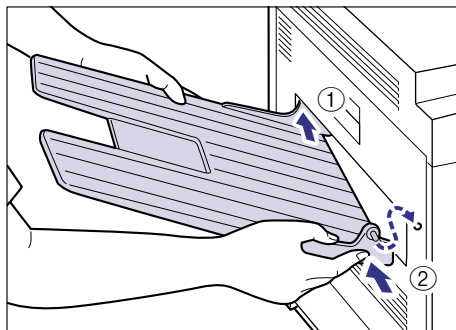
オプションコントローラボードの突起部をメインボードの穴に合わせて取り付け ①、ネジで固定します ②。

重要 ●メインボードやオプションコントローラボードの部品、プリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

7 オプションコントローラボードのコネクタケーブルをメインボードのソケットに接続します。

重要 ● ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、オプションコントローラボードが正しく動作しなくなることがあります。

8 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を、プリンタ本体のメインボードスロット上部のレールに載せてまっすぐに押し込み、上下のネジを締めて固定します。

重要 ● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

9 サブ排紙トレイを取り付け、すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ本体内部のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。以下のことに気を付けて RAM や ROM の取り付けを行ってください。

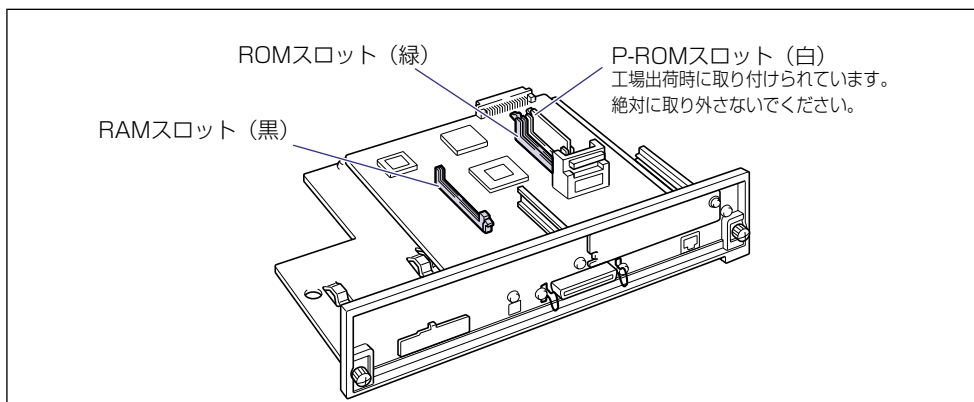
注意

- **RAM や ROM を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。**
- **メインボードや RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要

- P-ROMスロット(白)に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。
- RAM と ROM は、形状や取り付ける位置、取り付け方法が異なります。取り付け位置や取り付け方法を間違えないように気を付けてください。間違えると正しく動作しません。
- RAM や ROM、メインボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ･一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ･作業中にディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ･メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ･静電気の影響を避けるために、RAM や ROM は取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。
- 取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

RAM、ROM の取り付け位置について

RAM と ROM は、取り付ける位置が異なります。取り付ける前に図を参照して、取り付け位置を確認してから作業を行ってください。

RAM を取り付ける

RAM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

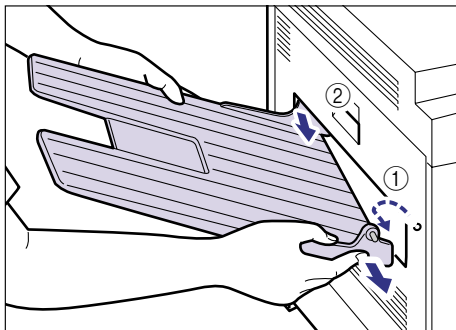
3 作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

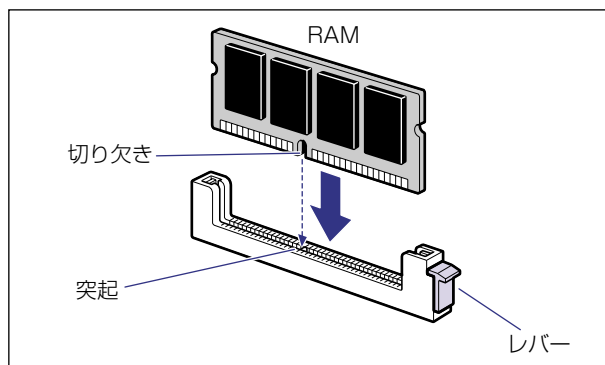
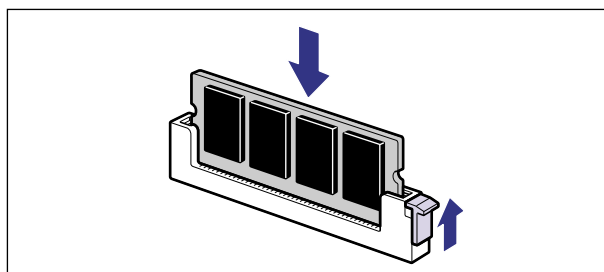
サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

4 メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

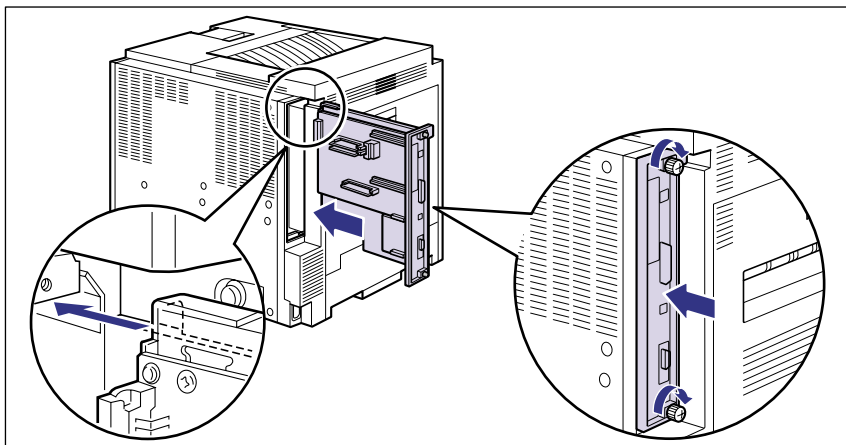
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

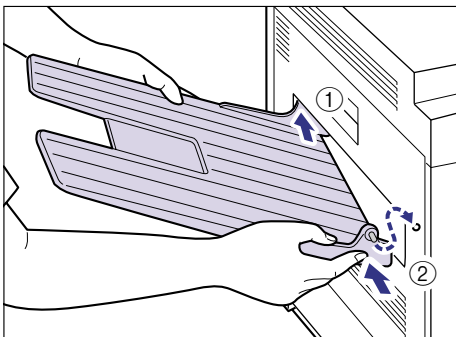
注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

5 黒いRAMスロットへ図のように切り欠きに合せて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

RAM が完全にロックされると、レバーがスロットと同じ高さまで上がります。

注意 ● メインボードの部品や RAM の角でけがをしないように、注意してください。

6 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を、プリンタ本体のメインボードスロット上部のレールに載せてまっすぐに押し込み、上下のネジを締めて固定します。

重要
- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7 サブ排紙トレイを取り付け、すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ROM を取り付ける

ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

1 **プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

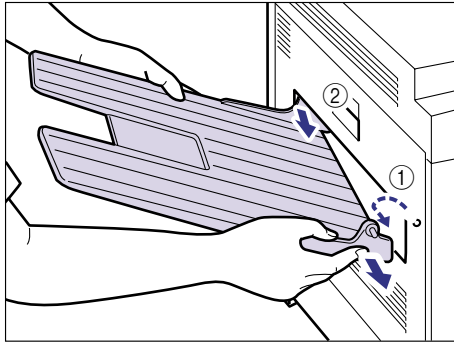
3 **作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。**

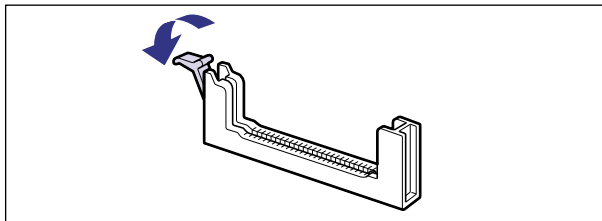
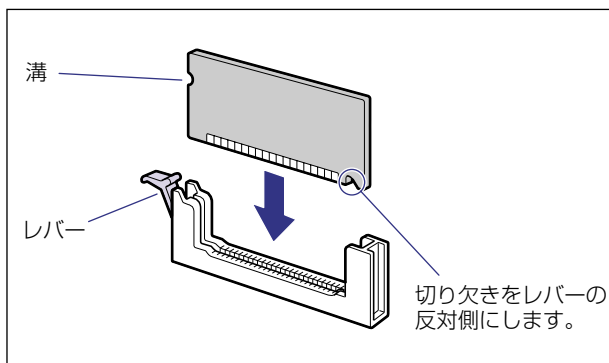
サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

4 メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

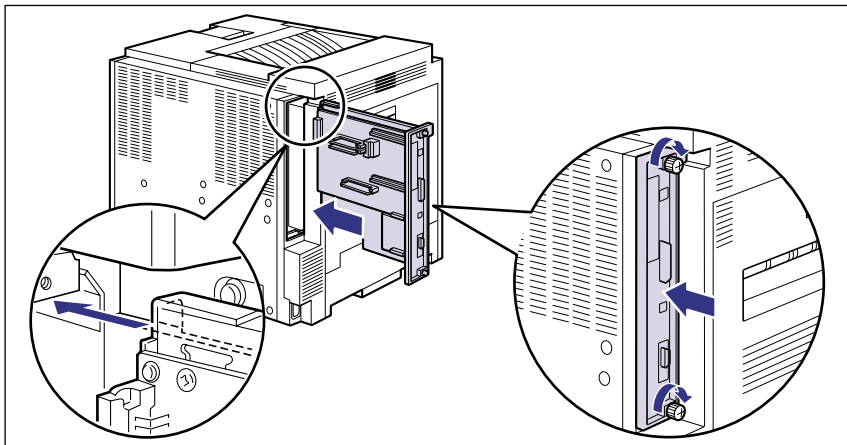
注意
- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

5 緑色の ROM スロットのレバーを押し下げます。

6 ROM の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

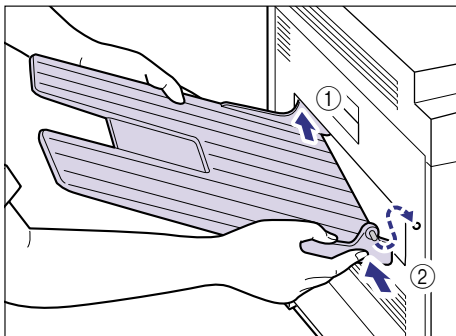
注意 • メインボードの部品や ROM の角でけがをしないように、注意してください。

3
オプション品の取り付け

7 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を、プリンタ本体のメインボードスロット上部のレールに載せてまっすぐに押し込み、上下のネジを締めて固定します。

重要
- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

8 サブ排紙トレイを取り付け、すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

RAM、ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM	→	必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。
コントロール ROM	→	メニュー機能で設定します。

メモ
- 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については「LIPS 機能ガイド」またはオプションのコントロール ROM に付属の取扱説明書を参照してください。
- プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

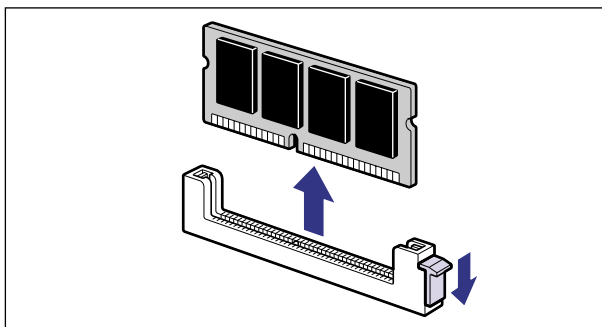
RAM または ROM を取り外す

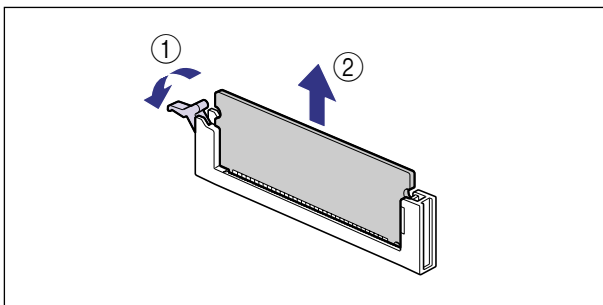
RAM または ROM は、プリンタ本体からメインボードを取り外してから、次の手順で取り外します。

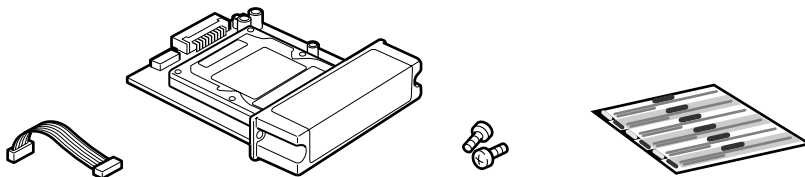
注意
- **RAM や ROM を取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。**
- **メインボードや RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

メモ
- メインボードの取り外しや取り付け手順は「RAM を取り付ける」（→ P.3-73）または「ROM を取り付ける」（→ P.3-77）を参照してください。

■ RAM の取り外しかた

RAM スロットのレバーを押し下げると RAM が外れます。

■ ROMの取り外しかた

ROMスロットのレバーを押し下げると ① ロックが外れますので、ROMを引き抜きます ②。

ハードディスク

ハードディスクは、メインボードの拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

コネクタケーブル　ハードディスク HD-8　ネジ（2本）　ガイドシート

注意
- **ハードディスクを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。**
- **メインボードやハードディスクの取り扱いには注意してください。メインボード、ハードディスクの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要
- メインボードやハードディスクには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。
  - ・静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。
  - ・ハードディスクを落としたり、衝撃を与えないでください。
  - ・ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、他の物にぶつけたりしないでください。
  - ・ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるシールなどを絶対にはがさないでください。また、別のシールなどを貼ったりしないでください。
  - ・ハードディスクを気温の低い場所から急に暖かい場所へ移動しないでください。
  - ・ハードディスクに貼ってある注意ラベルの記載事項を必ず守ってください。

メモ
- ハードディスクを使用するときは、拡張 RAM が 16MB 以上必要です。ハードディスクと併せて取り付けてください。拡張 RAM の取り付けについては、「RAM を取り付ける」(→P.3-73)を参照してください。

ハードディスクを取り付ける

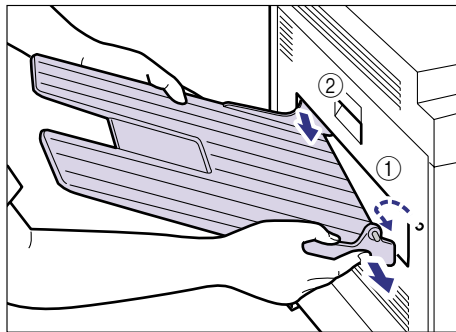
ハードディスクは、次の手順でプリンタ本体のメインボードの拡張ボードスロットに取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。**

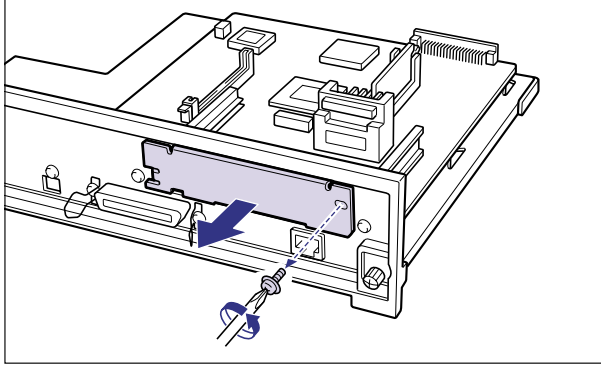
サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

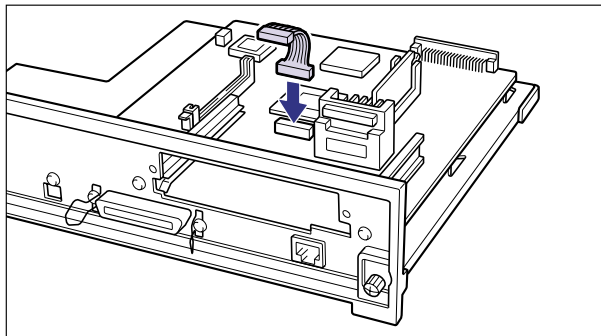
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

4 メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

注意 • メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

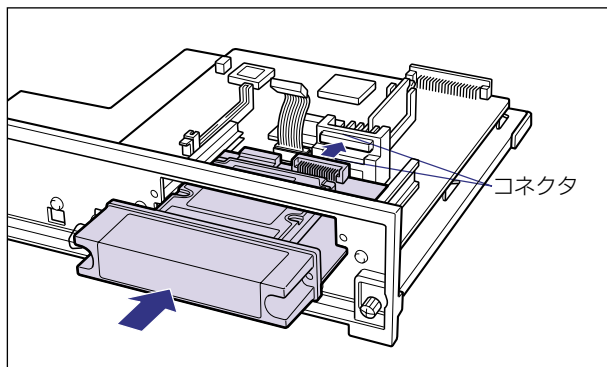
重要
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

5 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要 • 取り外した保護板とネジは、ハードディスクを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

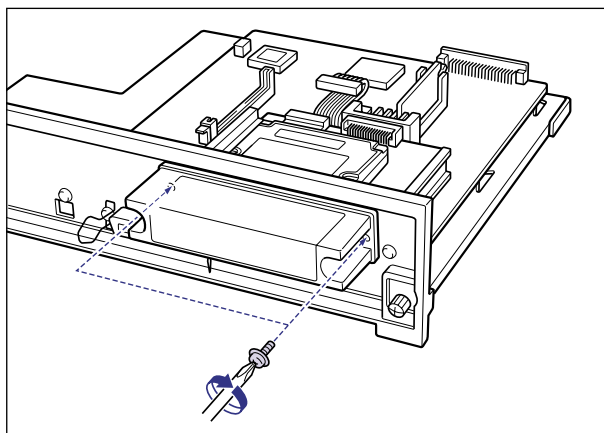
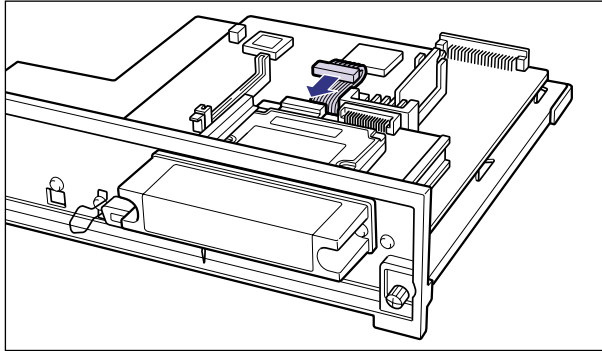
6 ハードディスクに付属のコネクタケーブルのうち、ベージュ色のコネクタをメインボードのベージュ色のソケットへ差し込みます。

注意 • メインボードの部品やハードディスクの角でけがをしないよう、注意してください。

重要 • ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

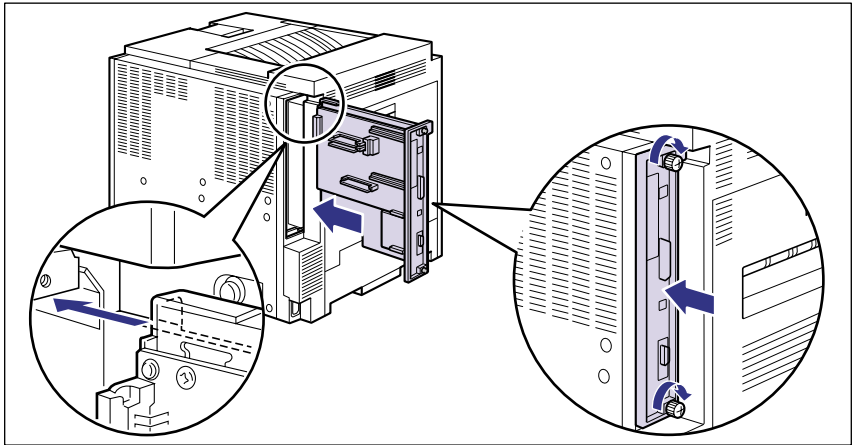
7 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込みます。

ハードディスクは、金属製のカバー部分を持ち、ハードディスクを拡張ボードスロット内部のスロットガイドに合わせて差し込みます。

重要

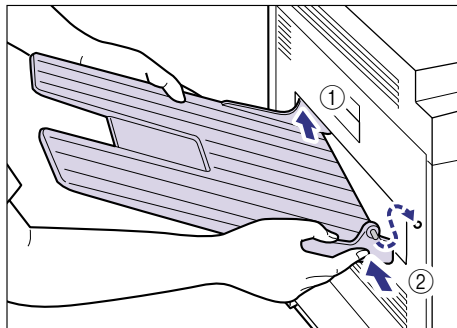
- メインボードとハードディスクのコネクタが合うように、しっかりと差し込んでください。
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

8 ハードディスクの左右を、付属の２本のネジで固定します。

9 コネクタケーブルの青色のコネクタをハードディスクの青色ソケットへ差し込みます。

重要
- ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

10 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を、プリンタ本体のメインボードスロット上部のレールに載せてまっすぐに押し込み、上下のネジを締めて固定します。

重要
- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

11 サブ排紙トレイを取り付け、電源コード、アース線を接続します。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

13 プリンタの電源をオンにします。

ハードディスクのフォーマットが行われます。
ハードディスクの初期化には時間がかかりますので、終了するまで（HDD ランプが消灯するまで）しばらくそのままお待ちください。
ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。（→パソコンと接続する：P.2-25）

重要

- ハードディスクを取り付けたあと、初めてプリンタの電源スイッチをオンにすると、自動的にハードディスクのフォーマットが行われます。このときにフォーマットが行われない場合、ユーティリティメニューの「HD　ユーティリティ」で「フォーマット 1」を実行してください。詳細は、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

プリンタの動作と機能を確認する

この章では、設置後のプリンタの状態や設定値などを確認する方法、プリントサーバの動作確認や設定方法について説明しています。

動作を確認する

本プリンタは、最良の印字品質を維持するため、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

プリンタの動作を確認する

現在使用できる機能やメニュー設定値の一覧を確認するときは、ステータスプリントを行います。

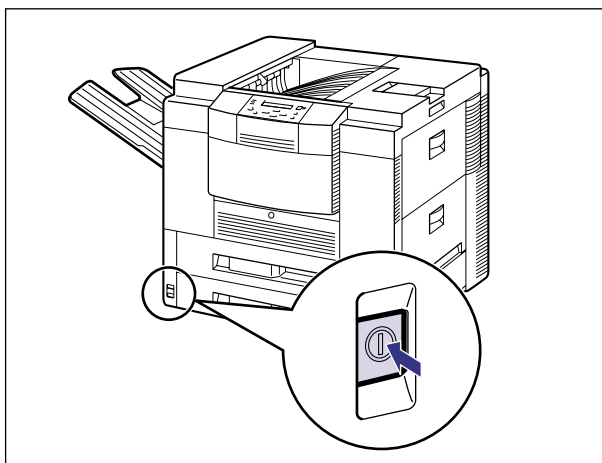
メモ

- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

ステータスプリント

ステータスプリントは、次の手順で行います。

1 **プリンタの電源をオンにします。**

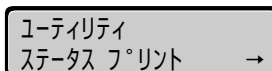
電源スイッチが押し込まれた状態がオンです。

しばらくすると「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　N201」、「00　ESC/P」と表示され、プリント可能な状態になります。

- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

2 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

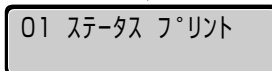
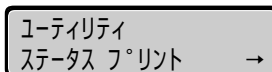
3 ［ユーティリティ］を押します。

```
ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ        →
```

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

4 ［∨］を押します。

```
ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ        →
```

▼

```
01 ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントが開始されます。

ステータスプリントの内容

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

重要
- ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは一部内容が異なる場合があります。

Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1910

バージョン : R1.06/GER1K07H
サブバージョン : 15.00/EI-4113-C4102-100-200/34/00
エンジンバージョン : D0125/M0000
フォントバージョン : 20010625

給紙モード : 自動
排紙選択モード : 排紙トレイ
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 1559 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : N201

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ動作 : する
スリープモード : 60分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替/LIPS : 使う
自動切替/N201 : 使う
自動切替/ESC/P : 使う
特殊モードH : 使わない
特殊モードJ : 使わない

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
自動選択/カセット2 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :
用紙名称/カセット2 :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
コネクション認識 : する

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動
階調処理 : 標準

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1910
Description : Canon LASER SHOT LBP-1910
CompatibleID :

搭載コントローラ

LIPS	Ver.01.24	LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
N201	Ver.01.63	
ESC/P	Ver.01.63	ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

標準ネットワーク
ボード名称 : Canon NB-E2
ベンダーID : CANON INC.
バージョン : 1.00FC2
ベンダーインフォ : MAC Address: 00008520611B

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2614
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0001191

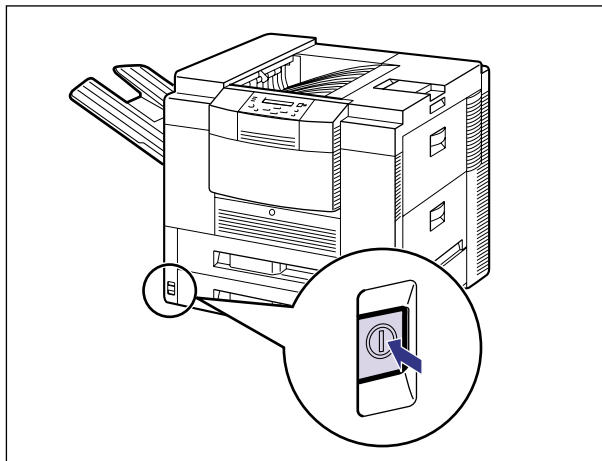
プリントサーバの動作確認と設定をする

プリントサーバの動作確認の方法と正しく動作しない場合のプリントサーバの設定方法について説明しています。

プリントサーバの動作を確認する

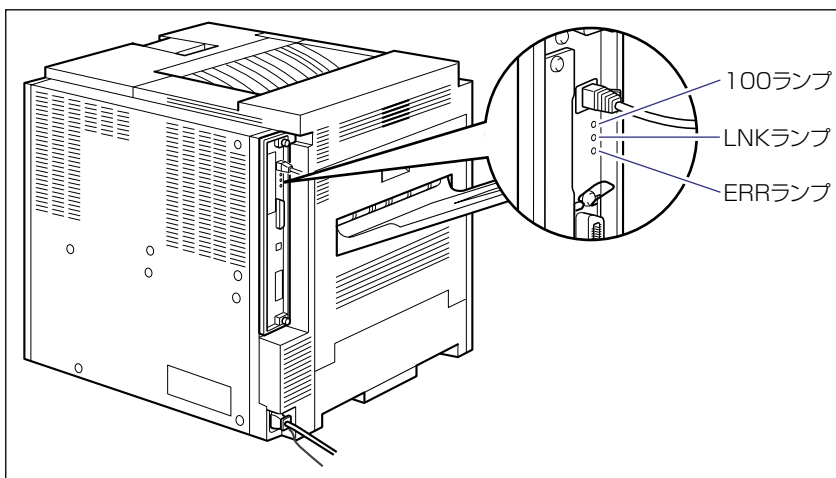
プリントサーバの動作確認は次の手順で行います。

1 プリンタの電源をオンにします。

電源スイッチが押し込まれた状態がオンです。

しばらくすると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　N201」、「00　ESC/P」と表示され、プリント可能な状態になります。

- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→ユーザーズガイド）を参照してください。

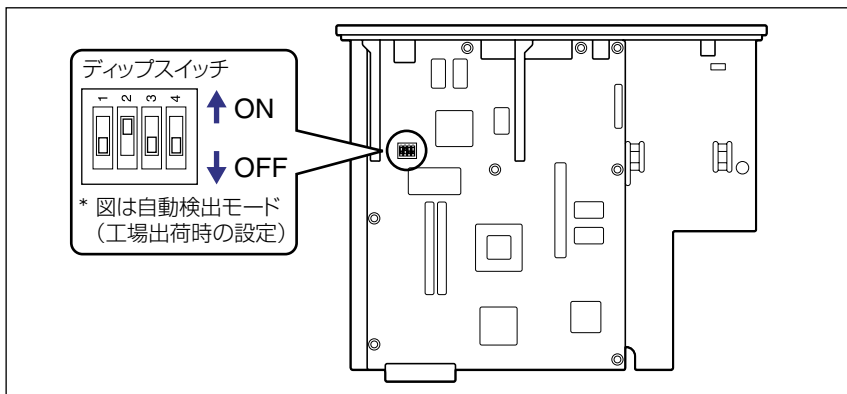
2 プリントサーバのLNKランプ（緑色）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。

正常に動作していない場合は、LANケーブルの接続やハブの動作状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源をオフにしてメインボードを取り外し、プリントサーバのディップスイッチを接続したネットワークに合わせて変更してください。（→次項目）

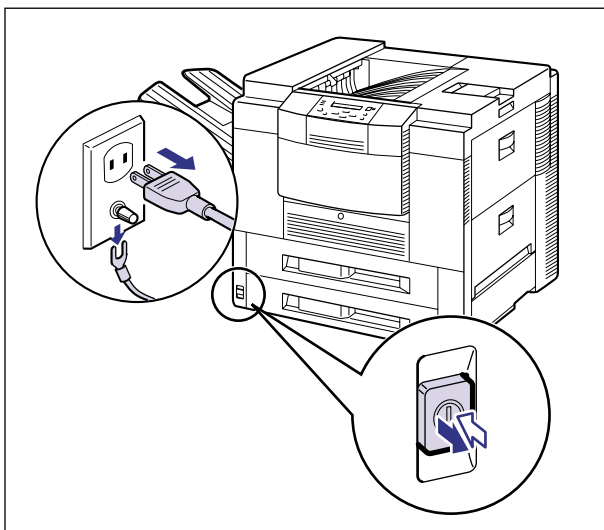
3 確認が終わったら、プリンタの電源をオフにします。

プリントサーバを設定する

内蔵のプリントサーバは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE/100BASEの通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、プリントサーバ上のディップスイッチを設定してください。プリントサーバの設定は、プリンタの電源をオフにしてからプリンタ左側面のメインボードを取り外して行います。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

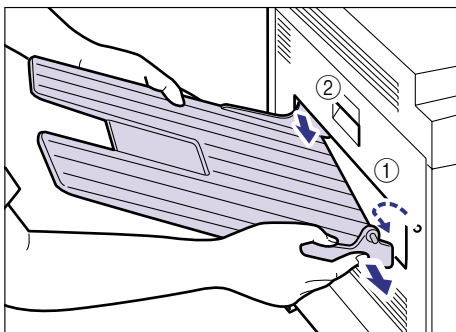
- ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

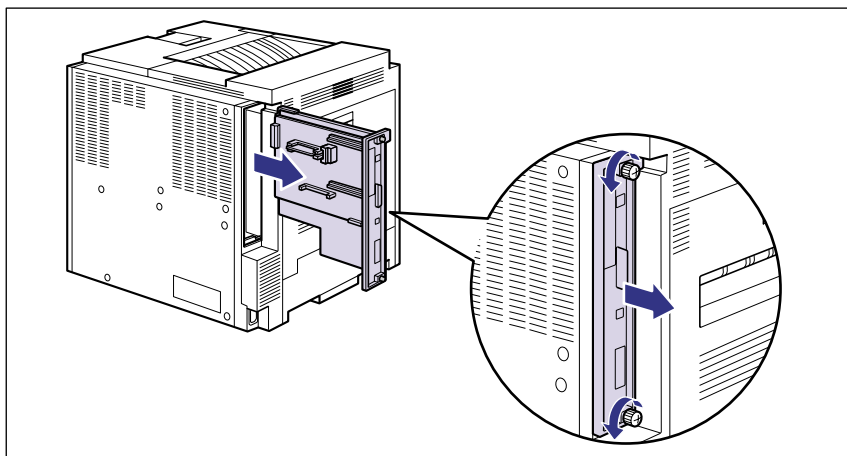
ネットワークの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード（工場出荷時の設定）	1 2 3 4 ON OFF
10BASE-T/半二重モードに固定する場合	1 2 3 4 ON OFF
10BASE-T/全二重モードに固定する場合	1 2 3 4 ON OFF
100BASE-TX/半二重モードに固定する場合	1 2 3 4 ON OFF
100BASE-TX/全二重モードに固定する場合	1 2 3 4 ON OFF

1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

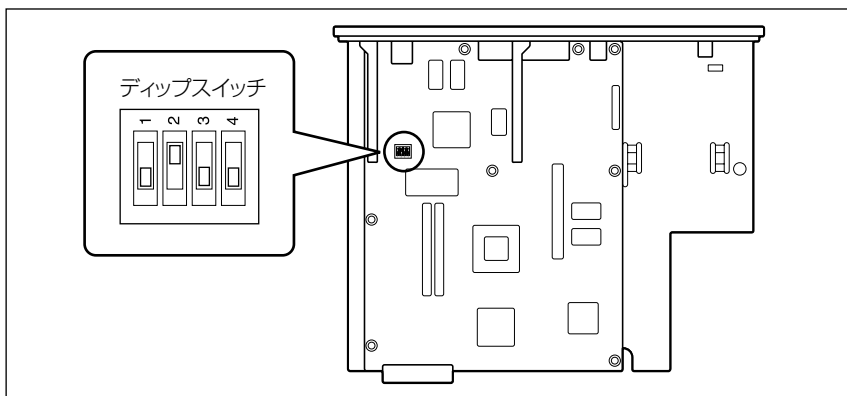
サブ排紙トレイの右側面を押して、右側の突起をプリンタ本体のスロットから外し ①、サブ排紙トレイを右側にスライドさせて左側の突起を外します ②。

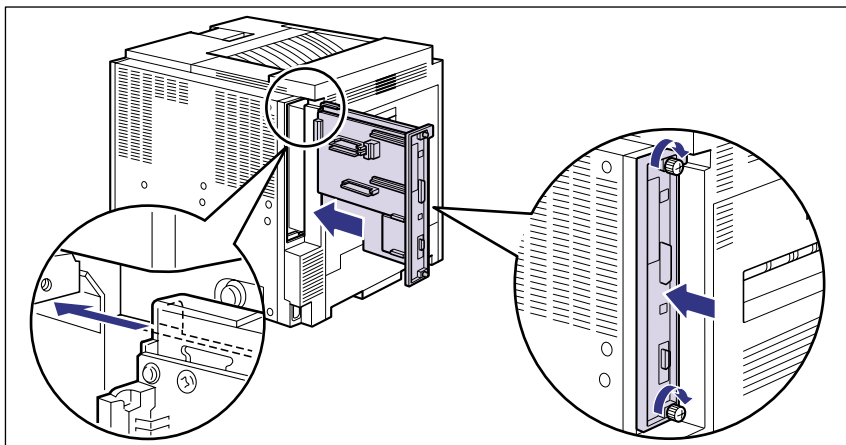
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4 メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置きます。

注意 ● メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き抜くと、メインボードを落としてけがの原因になることがあります。

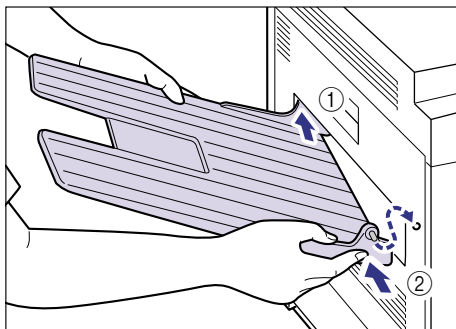
重要 ● メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。

5 プリントサーバのディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.4-7 の表を参照してください。

6 メインボードを両手で持ち、プリンタ本体に取り付けます。

メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）をプリンタ本体のメインボードスロット上部のレールに載せてまっすぐに押し込み、上下のネジを締めて固定します。

重要 • メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7 サブ排紙トレイを取り付け、すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

サブ排紙トレイは、左側の突起を本体のスロットに入れ ①、右側の突起を内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて ②、取り付けます。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

付録

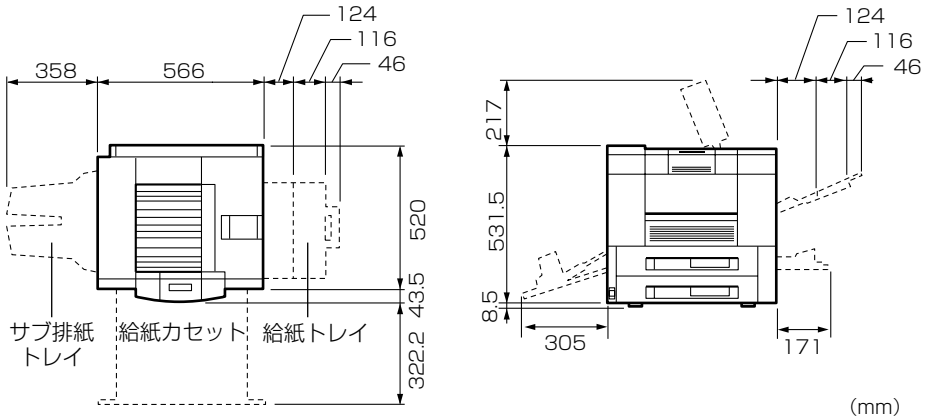
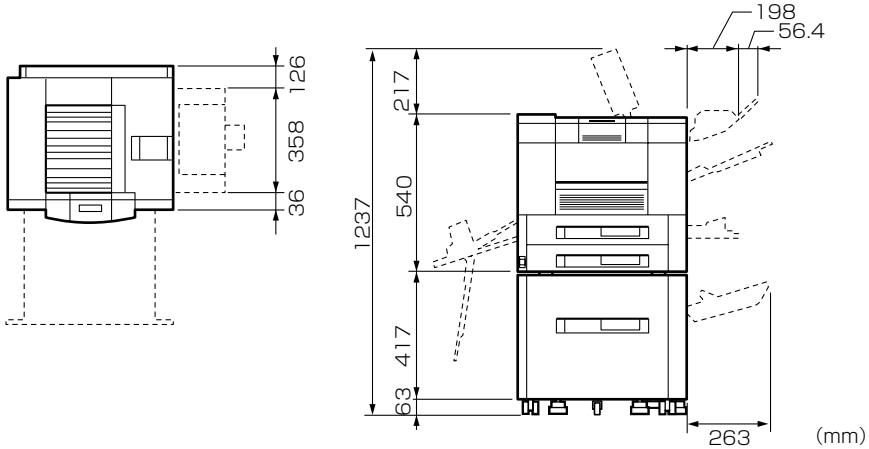
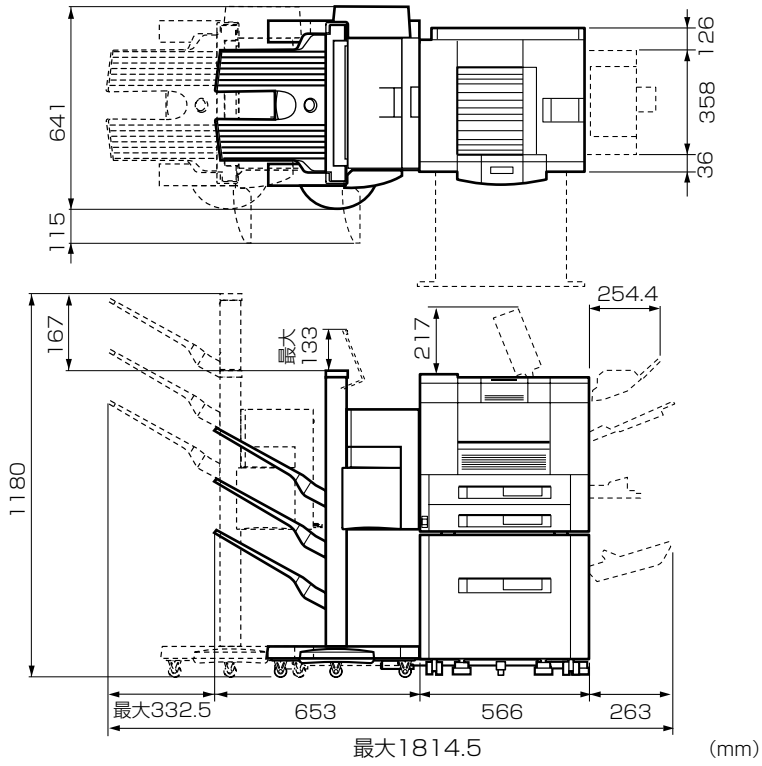
5
CHAPTER

この章では、各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを記載しています。

各部の寸法

5
付録

■ プリンタ本体

- 標準仕様

- 2000 枚ペーパーデッキ＋封筒フィーダ装備仕様

- ステイプルスタッカ＋封筒フィーダ装備仕様

• 7 ビンソータ＋封筒フィーダ装備仕様

■ 2000枚ペーパーデッキ-N1

■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1

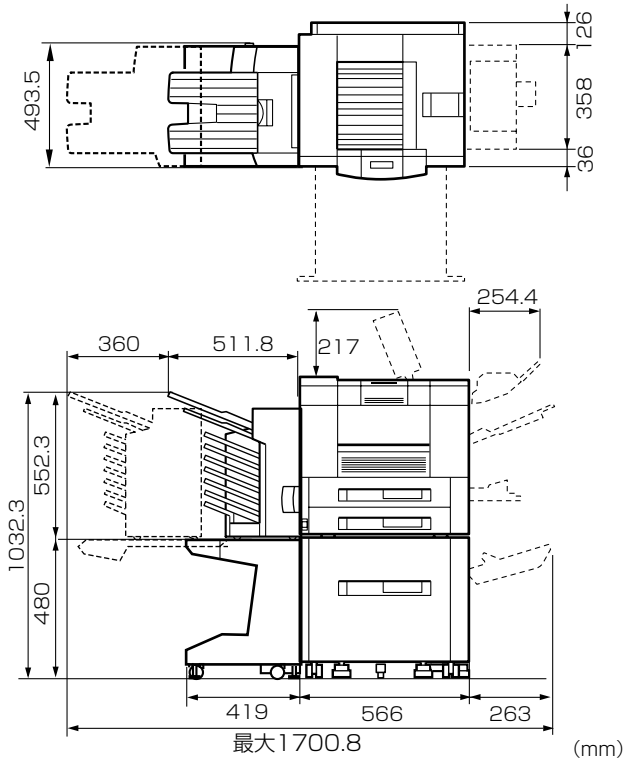
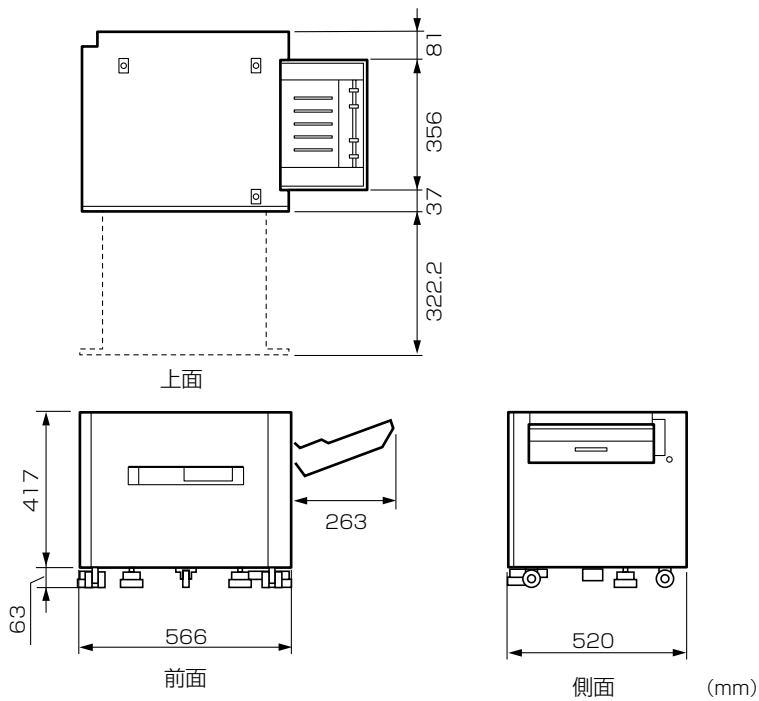
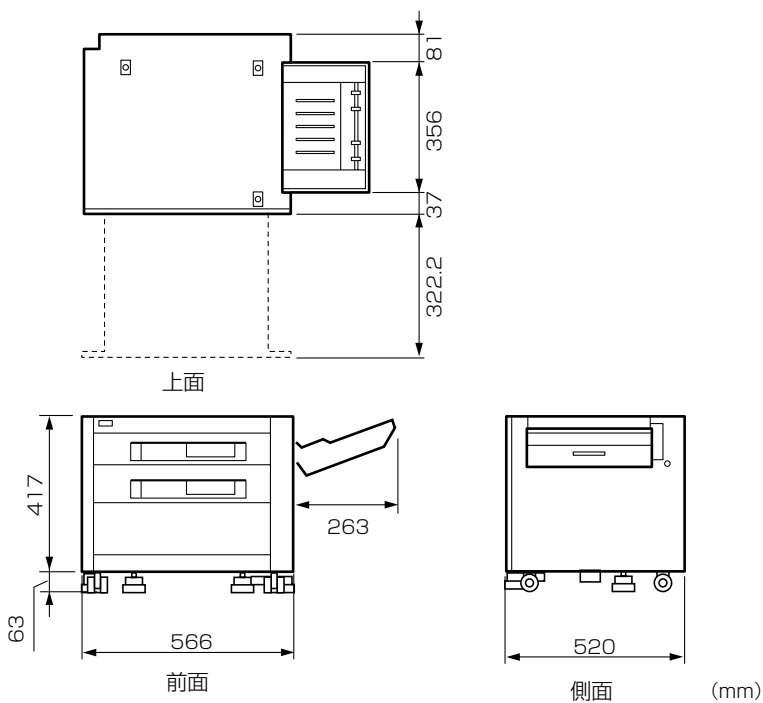
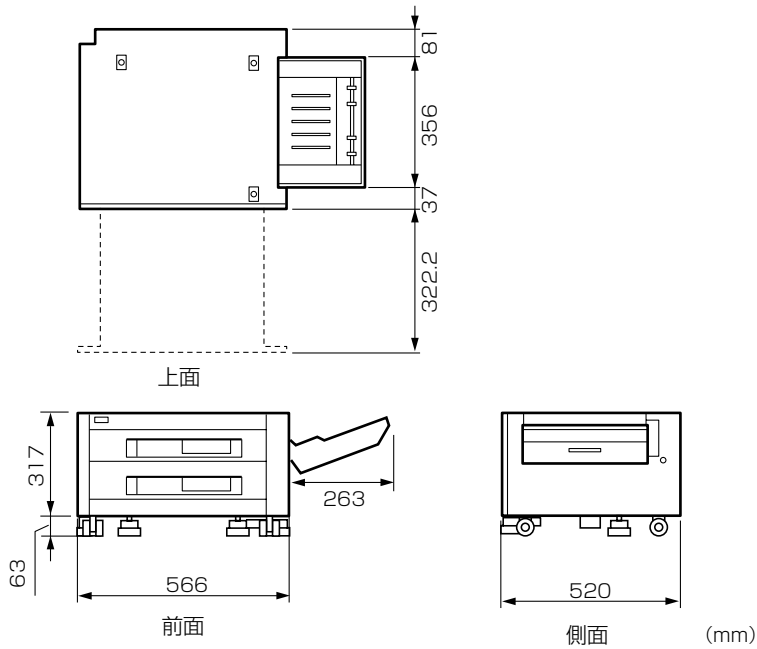
上面

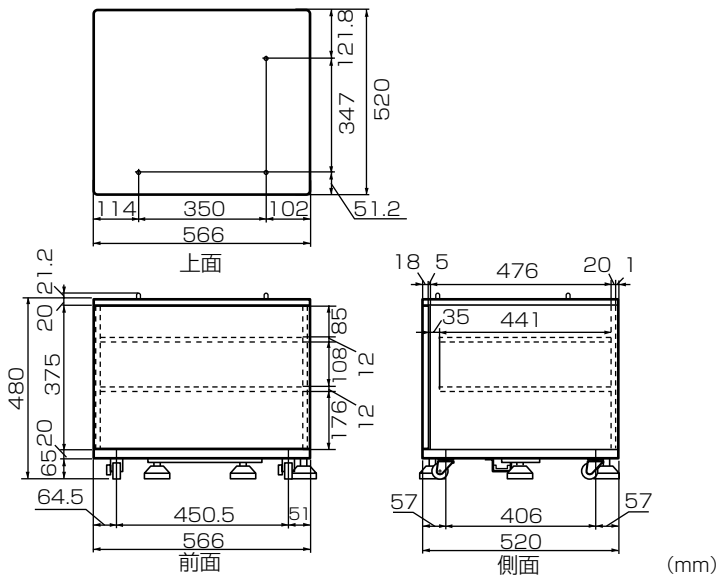
前面

側面

（mm）

5

付録

■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L

■ ペディスタル（ボックスタイプ）

■ ペディスタル（キャスタタイプ）

■ ステイプルスタッカ SS-72

■ 7 ビンソータ -H1

上面

前面

（mm）

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

上面

前面

（mm）

■ 両面ユニット DU-82

上面

96.5

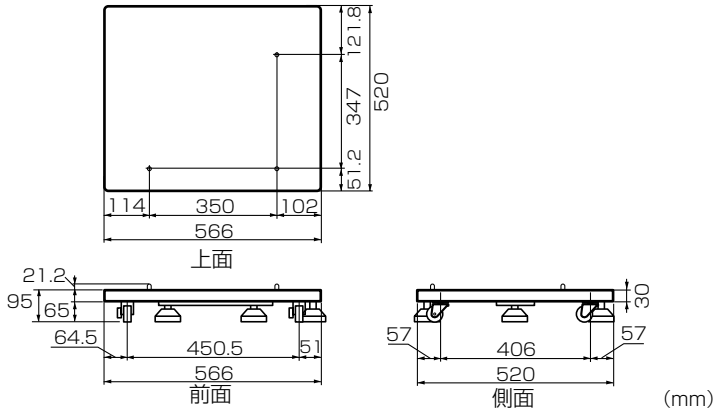
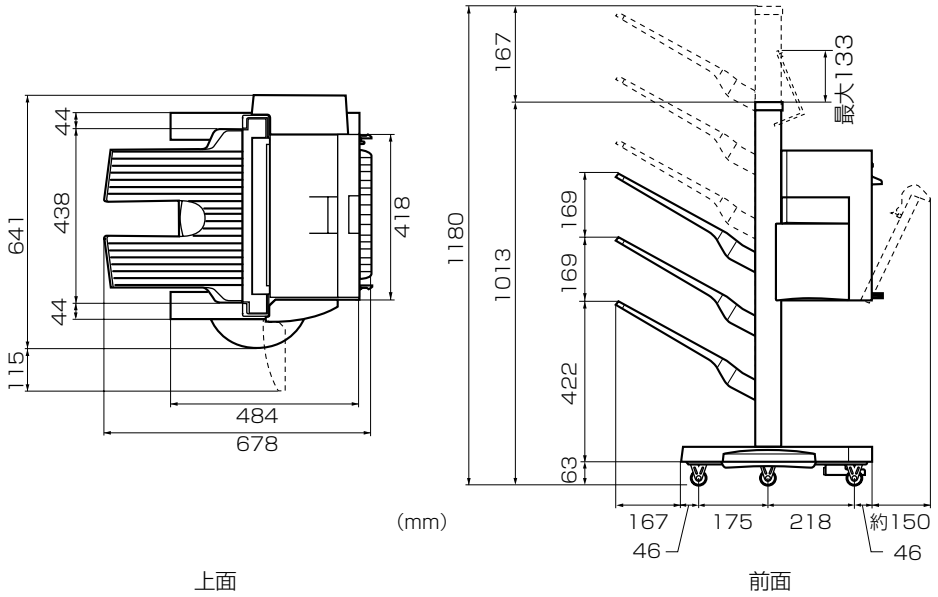
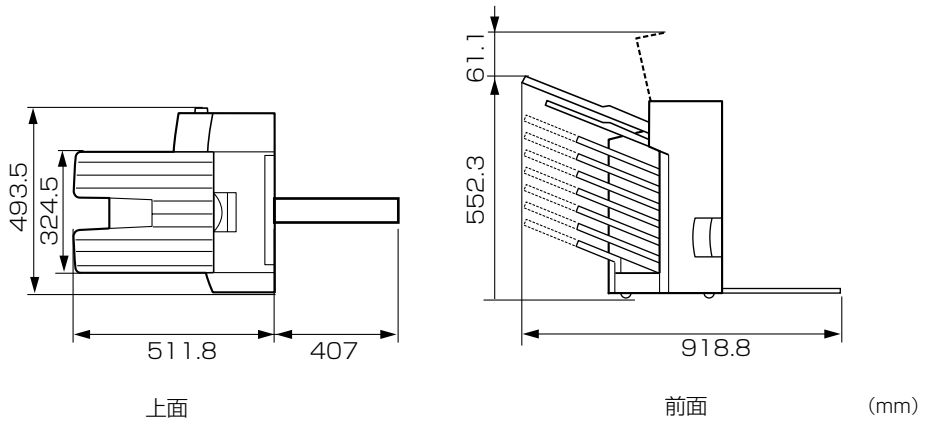
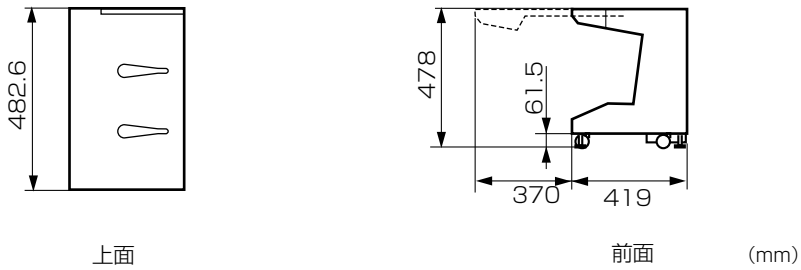
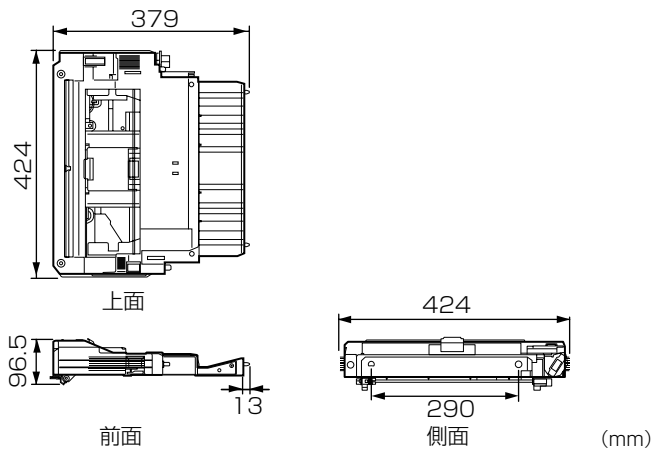
13

前面

側面

（mm）

5

付録

■ 封筒フィーダ EF-9

上面

前面

側面

（mm）

索引

英数字

5
付録

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

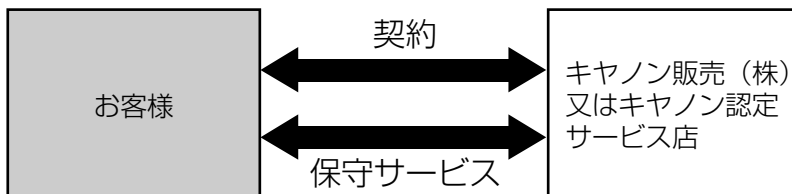
ラ行

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キャノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。
「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

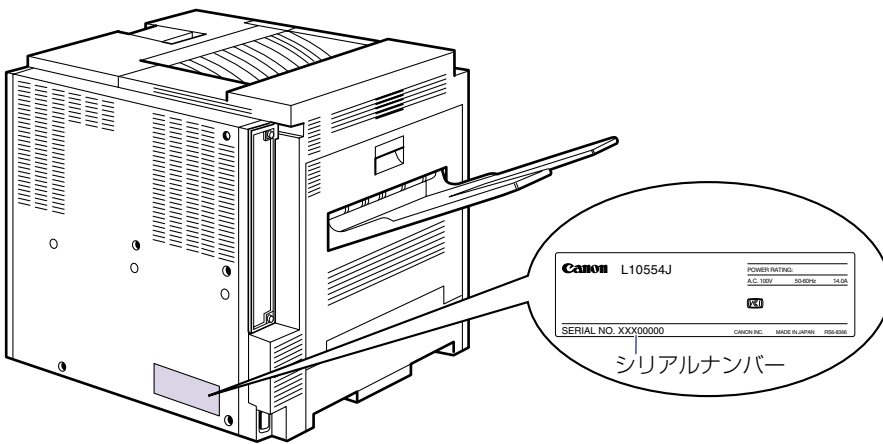
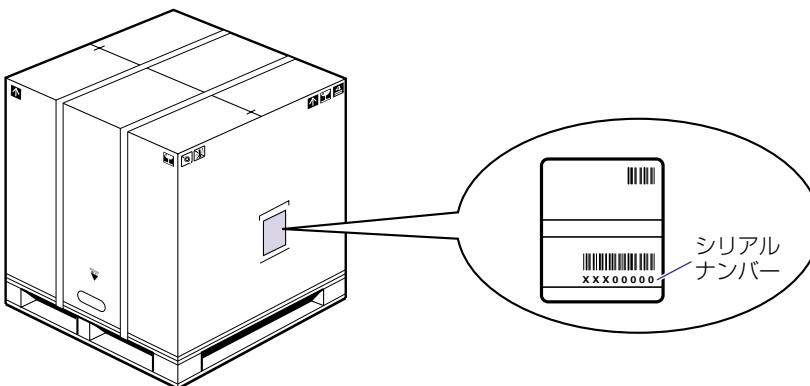
本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

- 定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（→ユーザーズガイド）を参照してください。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (SERIAL NO.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要 ● シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROM の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。

本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。

リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-951AK